

美幌町人口減少対策に関する意向、意見集



美幌町の人口減少対策を考えるうえで参考となる

各種アンケートの結果をとりまとめました

平成27年5月

美幌町

＜この冊子の見方＞

（１）関連グラフについて

- ・第６期美幌町総合計画に係る「町民アンケート（平成 26 年 7 月実施）」
- ・ 〃 「中高生アンケート（平成 26 年 7 月実施）」
- ・子ども・子育て支援に関するアンケート（美幌大谷幼稚園、東陽保育園で実施）
- ・個別計画策定時のアンケート（子ども・子育て支援事業計画策定にかかるアンケート、農業者アンケート）

（２）意見、提案について

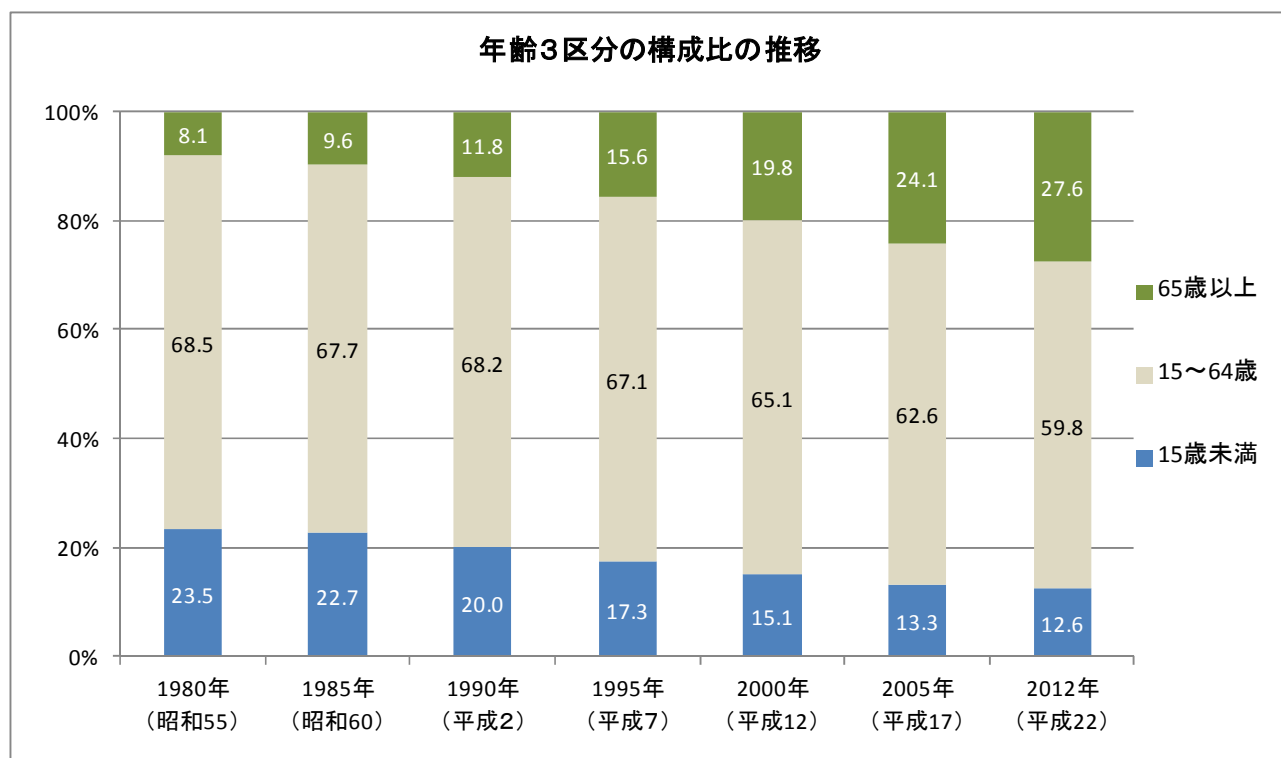
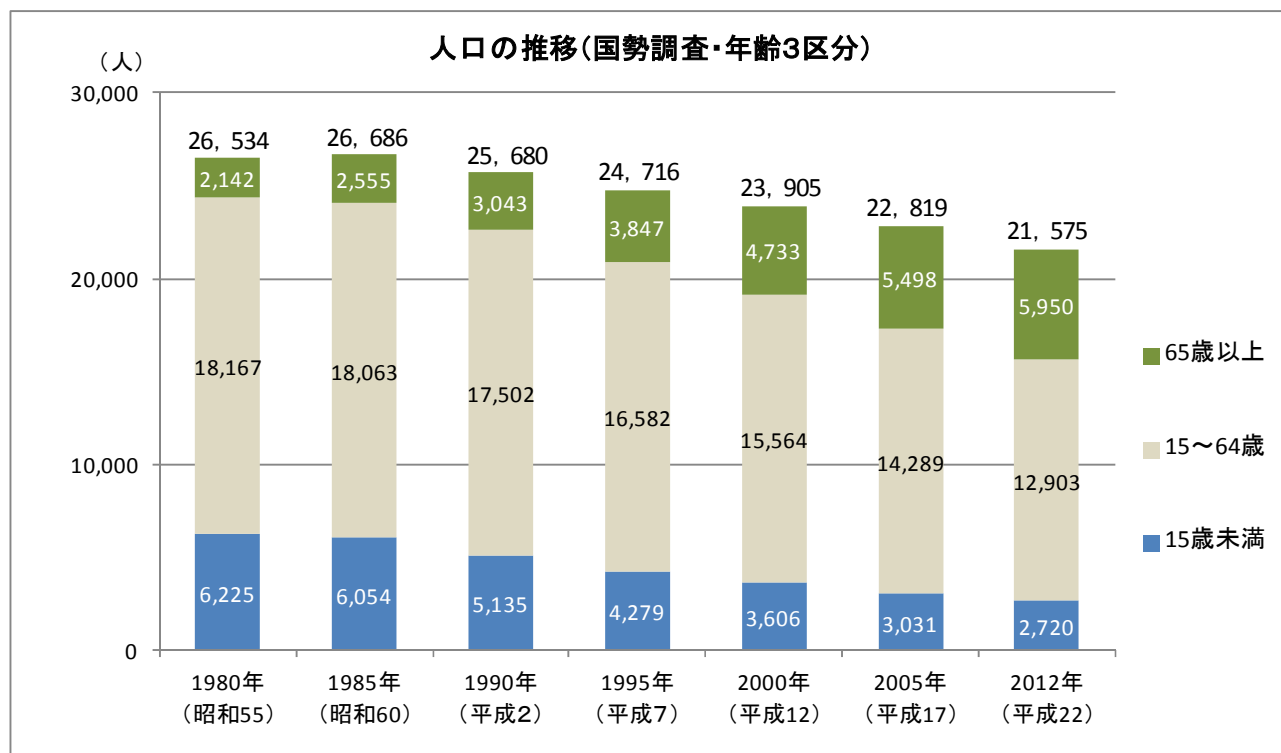
- ：町民アンケートの回答
- ：職員提言シートの回答
- ☺：小学生のみなさん（美幌小学校の５年１組・２組）
 ※【美幌町ですきなもの・こと】【将来なってほしい美幌町の姿】についての回答も掲載しています。
- ♪：中高生アンケートの回答
- ☆：子ども・子育て支援に関するアンケートの回答（東陽保育園、美幌大谷幼稚園）
- ⊕：まちづくりフォーラム（平成 27 年 2 月）でのアンケートの回答
- ⌘：『びほろ』みらいまちづくり会議での意見
- ⊗：子育てサークル「わんぱく広場」のみなさんの意見
- 🏠：自衛隊美幌駐屯地のみなさんの意見
- ◆：個別計画策定時に実施したアンケート（子ども・子育て支援事業計画策定にかかるアンケート、農業者アンケート）の回答

も く じ

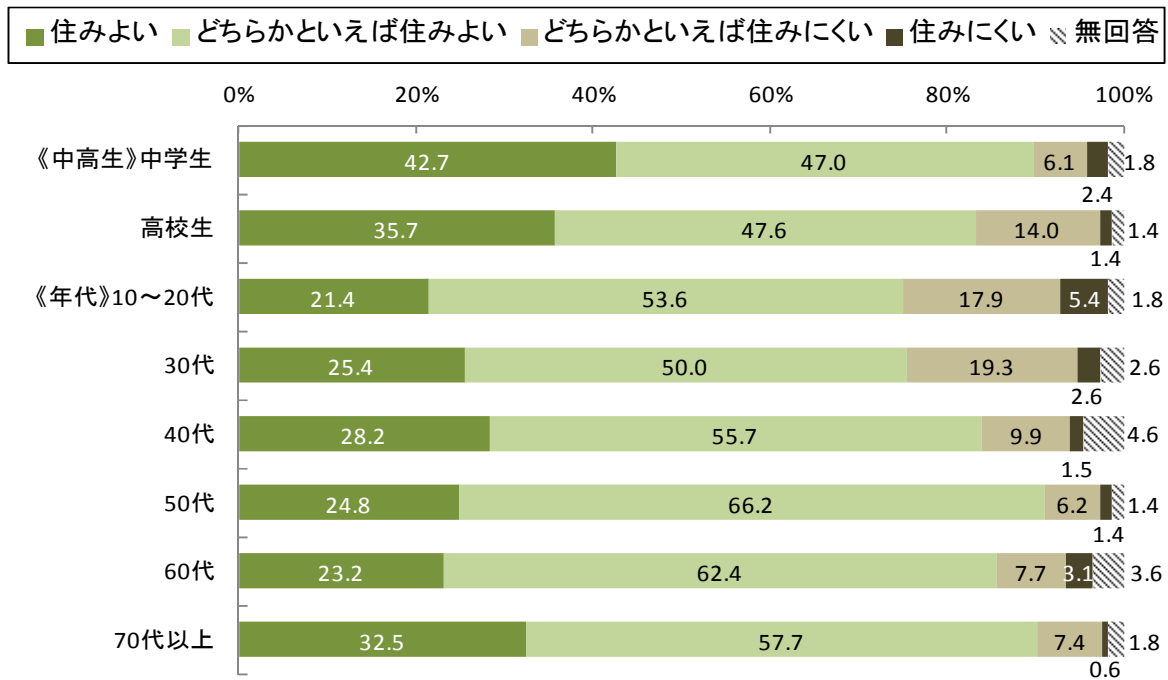
1	少子化対策、移住、定住.....	1
2	子育て支援.....	17
3	農業.....	44
4	林業.....	50
5	商工業.....	52
6	中心市街地.....	57
7	地場産品.....	59
8	観光、交流.....	64
9	雇用、企業誘致、起業支援.....	73
10	高校生ヒアリング.....	80

1 少子化対策、移住、定住

(1) 関連グラフなど

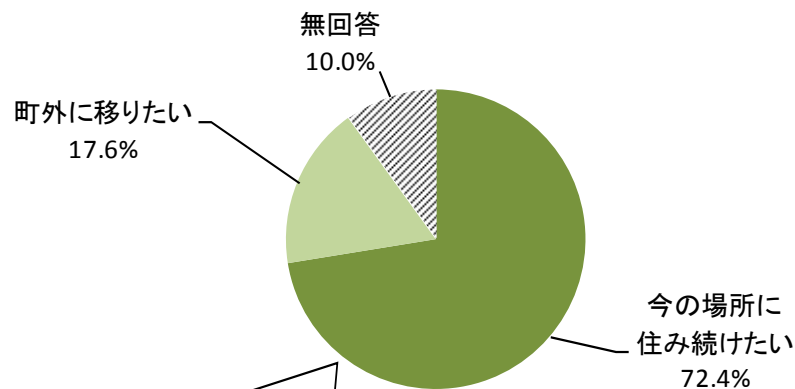


【問1】現在の美幌町の住みごち(町民・中高生)

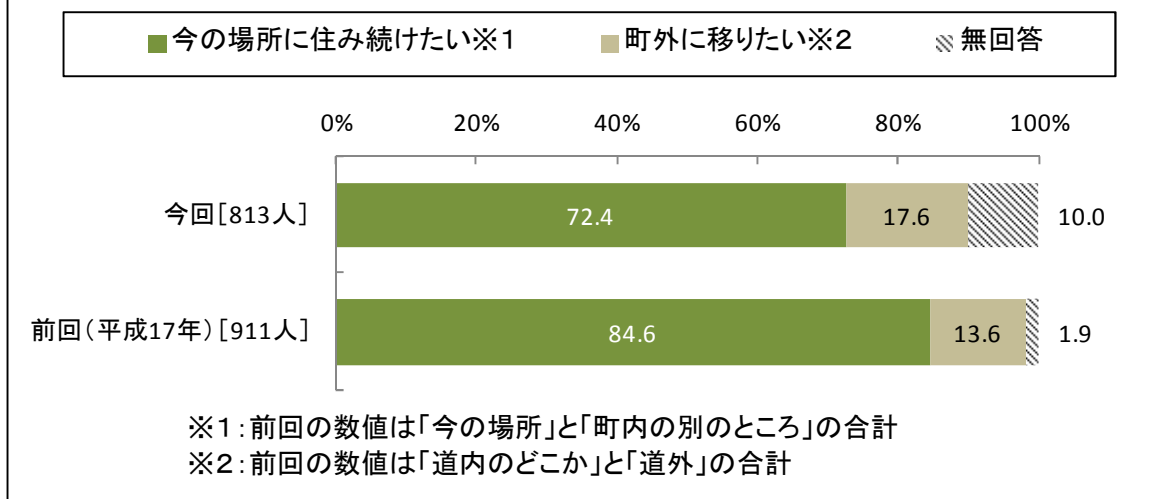


町民

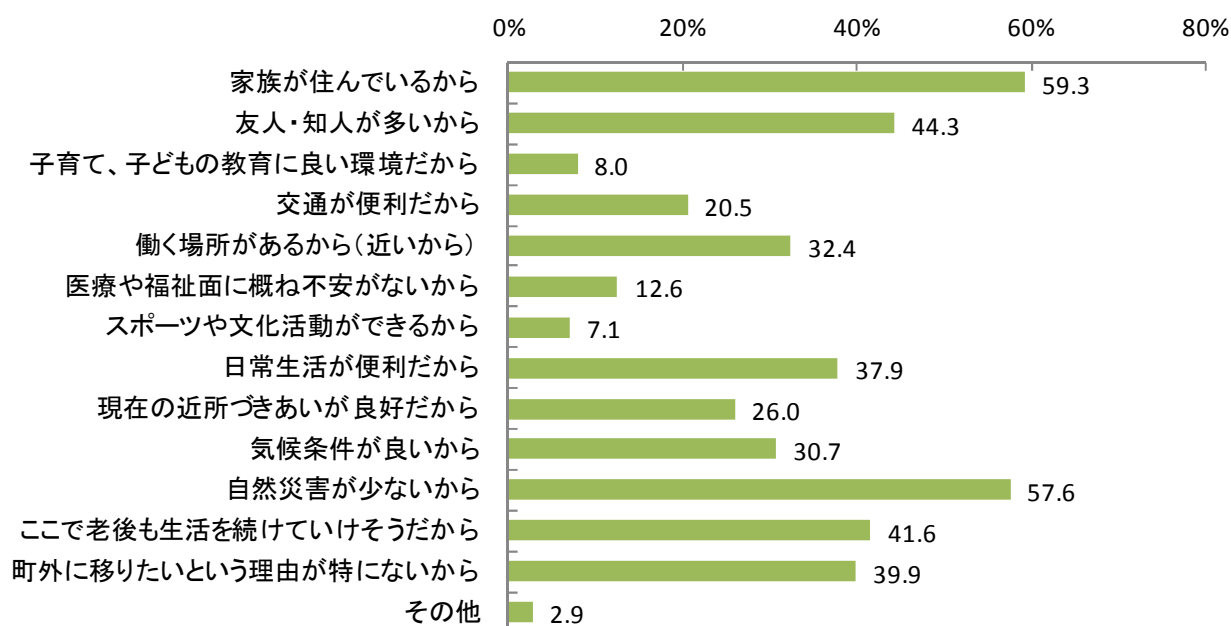
【問4】美幌町に住み続けたいか(813人)



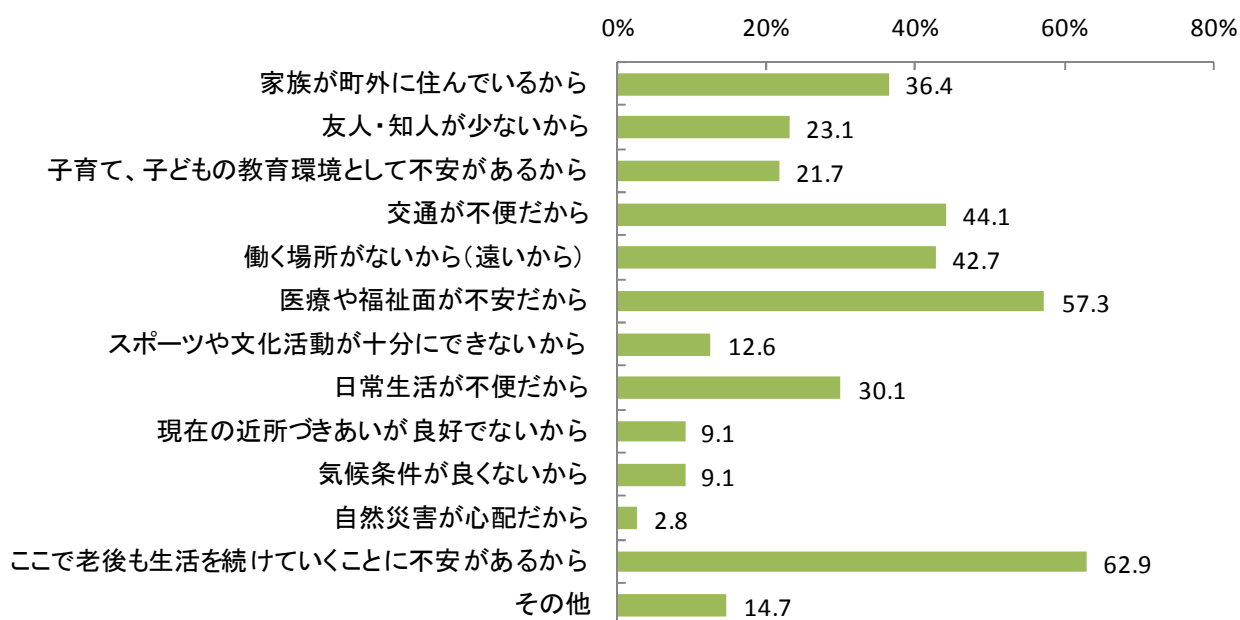
【問4】前回との比較



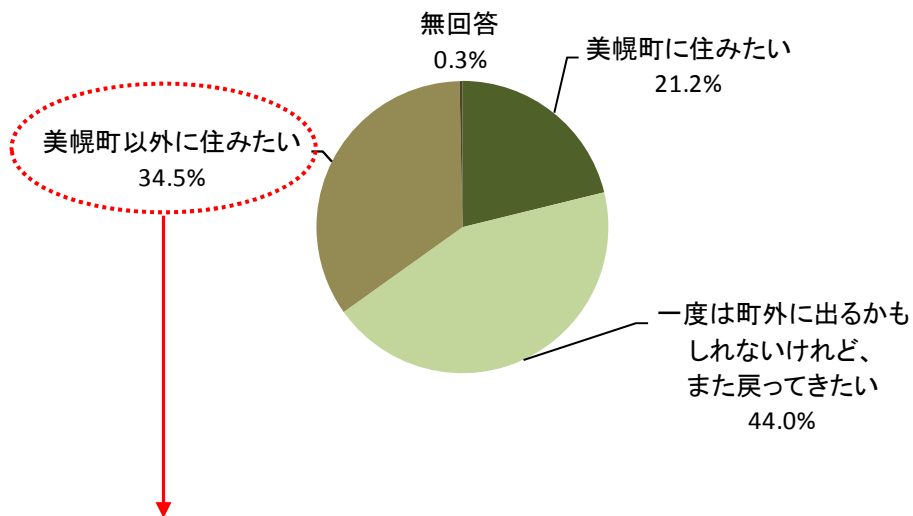
【問4-①】町内に住み続けたい理由(すべて選択/589人)



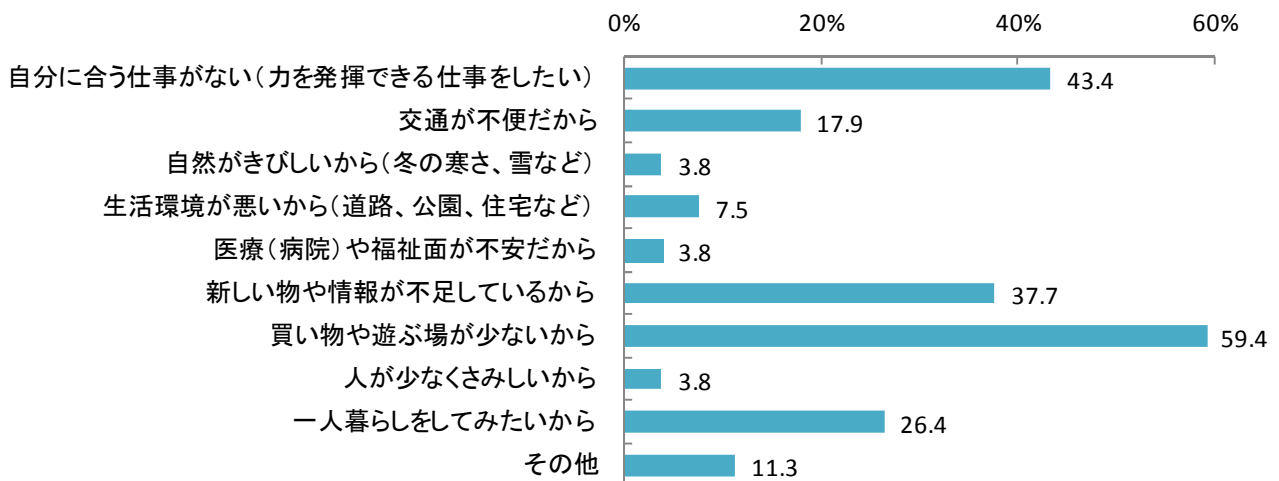
【問4-②】町外に移りたい理由(すべて選択/143人)



中高生 【問3】定住意向(307人)



【問3-①】町外に住みたい理由(あてはまるものすべて選択)



(2) 意見、提案

- ：町民 ○：職員 ☺：小学生 ♪：中高生 ☆：幼稚園・保育園利用者
★：まちづくりフォーラム ⌘：『びほろ』みらいまちづくり会議
☺：子育てサークル ㊦：自衛隊美幌駐屯地
◆：子ども・子育て支援事業計画策定にかかるアンケート、農業者アンケート

<人口増加>

- ★ 人口が増えるまちづくりをしてほしい
- 大好きな美幌にずっと住みたいです。子供達には、元気で、大人になっても美幌で働いて、住んで人口が増えるといいです。(女性・40代)
- 人口減少に歯止めがかかるよう、過疎化しない事を願う。(男性・60代)
- 人口減は必至なのだから、人口規模にあった心豊かなまちづくりの計画になることを望みます。(男性・60代)

<定住促進、住民の満足度>

- ⌘ 若者への定住促進金、定住促進住宅。
- ★ 人口減少を止めるのではなく住んでいる人の満足度が高くなる施策(まちづくり)の実施を。
- ★ 定住化促進の充実。
- ★ 定住意識
- ★ 全ては町民が郷土愛を持てるようにする(押しつけず)。マチを愛さずして取り組めない課題だと感じます。
- ★ みんな口に出して美幌の自慢をする条例をつくる。謙遜はダメ。卑下聞こえる。ネガティブ思考はだめ。
- ★ 小磯先生の基調講演があったうえでは、人口減少を止める、人口を増やすということに一番の重要性を感じるのですが、一番良いのは「美幌の良さを知ってもらう」ことかと思います。美幌は、良い所が伝わりにくい町です。悪く言えば華がありません。が、それを補って、あまりある質実剛健さがあると思います。百聞は一見にしかず、町民発信で結構なので、止まる、食べる、住む、遊ぶ、他の人にさせて見ればよいと思います。言うだけでなく、手を引いて。行動あるのみ。実際連れてくると「いい町！」と皆言います。町民やまちなかを見るには、町民が外へ出て行くことも必要かと。要は、町民が外から人をスカウトしてくれば良いと思います。パネラーの意見にもありましたが、「お試し」はとても大事かと思っています。
- ★ 美幌は札幌ではないので無理。しかし穏やかに暮らせる環境はあります。個々人の満足度をあげるには、それぞれの年代で難しさはありますが、してもらえる社会から、してあげるという姿勢が住みやすさにつながるのかな。
- 対外向けではなく、住んでいる人が満足していれば人が人を呼ぶ。いつも念頭に女性、子供、60代くらいの方の笑顔を思い浮かべて事業を立案し、取り組むことが重要と考える。
- 少ない人数が移住してくることにお金を使うより、今住んでいる人が安心して暮らせて楽

しい町にする施策にお金を使っていれば、必然と町外から人が流入してくる（外交施策より内需拡大！）

- ⌘ 郊外に住んでいる高齢者への、交通費の補助（タクシー代など）。
- ⌘ ひとり暮らしでも安心！！定年後は親と住む。（実家に帰る）。そのためのリフォーム、バリアフリーの費用を補助する。
- ⌘ 高齢者が安心してらせる終末施設をつくる。（ケアハウス、グループホームなど）
- ⌘ 高齢者と子どもと女性が共生できる、支え合える拠点施設をつくる。
- ⌘ 空き家や老朽化による景観悪化。取り壊し費用やリフォームの際外壁の修繕をすれば補助金増額など。北見のように都市化するのではなく現状の景観を向上させて近郊にはない魅力の創出。
- ⌘ 子ども、障がい者、老人の複合型施設。複合型施設にすることで、人材が少なくて済む。

＜移住促進＞

- ⌘ 近隣市町村から美幌町へ仕事に通う人への、美幌への定住支援。引越費用の助成や一定期間の家賃助成。
- ⌘ 仕事を探している人に、就職先と住宅のセット提供。
- ⌘ 子育て世代の地方移住の推進。
- ⌘ 移住促進。（自然の中のいやしをつくる。生活空間。）
- ⌘ （都会の人を移住のターゲットと考えると）IT 環境の整備。（企業移転など）
- ⊕ 外部からの移住者を増やす。
- ⊕ 町で住む人希望、体験の場の提供→住んでもらう手立て。
- ⊕ スローライフによる移住促進。
 - 更なる利便性を追求し、近隣の町村から美幌町に転入してくる様な施策を。（男性・50代）
 - 移住者の受け入れを。交通アクセスの利便性を首都圏にアピール、安価な土地の提供。（5年以内に家を新築する者に補助。）（男性・70代以上）
 - 美幌に住みたいと思う人が増える対策を、もっと早目に考えた方がよいと思います。（女性・40代）
 - 人口減は避けられないが、他地域からの受け入れを幅広く検討することによって、地域の活性化を図れるのではないかと。（男性・40代）
 - 本州から美幌に住んでもらえる様に。（人口を増やす）（女性・60代）
- 町で移住した場合の助成制度を設ける（若年者が移住してきた場合の補助金制度など）
- 空き家の活用。別荘・宿としての利用も含め、青年～中年層に訴求。「移住のすすめ」を提示し、定住化を図る。
- 地域住民の移住者への理解、配慮。移住しやすい町。
- IJU ターン者を受け入れる環境（住宅の提供、仕事の紹介～ワンストップ・サービス）整備や採用企業への支援制度を設ける。
- 町内移住者への補助制度、美幌町へおかえり定住助成金など
- 町おこし隊としての人を雇って、移住対策を行う。
- お試し暮らし体験が好評な町（釧路市や遠軽町など）を視察して取り組み内容を確認したり、地域おこし協力隊を招聘するなどしてノウハウを構築していく。町のイベントにメインで参加してもらえるよう最大限のおもてなしをすることや、来たばかりでも町のことが

わかるようガイドマップ的なものを配付するなど、お試し暮らしをすることで得られる魅力的な「特典」を考えアピールすることも重要だと思います。

<出会い、交流促進>

- ✂ 未だに男女の交流の場がない様子が散見される（ので場をつくる）。昔は地域での青年団活動などがあった。
- ✪ 若い人の交流の場がない（ダンスホールなど）。
- ✂ 結婚相手を探すことを促進する。
- ✂ 結婚形態に関する時代の変化について理解を深める。
- ✂ 行政と民間が共同で「街コン」を毎年4回以上（春夏秋冬で）開催する。
 - まちコンの開催
- ✂ 各自治会会館を開放し、集いの場にする。（料理、ゲーム、会話など）
- ✪ 街中に町内外の人が集まる場所があると良い。
- ✪ 町内で結婚を促進するため、役所や企業団体など横のつながりがある、お節介チームをつくり、情報を交換する。
- ✪ 自治体や学生などみんなで何か一つできるもの、大きな町全体でイベント、みなが集まりやすい場所などを作る（若者を中心に）。
- ☆ 昨年、何度かイベントがあったと思いますが、婚期を逃している方々がたくさんいると思います。それをふまえてイベントを増やし、出会いの場をもうけるなど、ちょっとした配慮を。
- 若者（未婚男女 20 才～35 才）の交流の場を設ける。最近流行の婚活形式ではなく、もっと自然にカップルができるように。例えば、男女混合のソフトボールチームをつくり、年に何度かリーグ戦をやる。北中出身者Aチーム、北中出身者Bチーム、美幌中出身者Aチーム、美幌中出身者Bチームなど。その場だけのチームにしない、監督もいる。（男性・60代）
 - 道外など地方女性に「嫁に来ないか！お見合いイベント」開催。
 - 町でお見合いをするイベントをする。
 - 農業担い手者との出会い等の扶助。町外のシングルマザーが美幌に魅力と将来性、第2の人生を見いだせるようにする。農家の嫁問題と絡める。
 - 未婚者を減らす、婚活パーティー、異性との接し方がわからない人のための講義
 - 結婚相談員活動の充実
- 町外の人を呼ぶ交流会を開催して、人が多く来町すれば、中には将来、ここに住みたいと思う人が自然と増える。（男性・50代）
 - 色んな人が交流出来る様なイベントの開催(8/16 美幌峠のビールパーティのような)
 - 住民が参加しそうな小規模イベント（毎月フリーマーケット、B（美幌）1グランプリなどのコンテスト）を開催し交流の場を多くする。（場所の無償提供、広報びほろや町HPで個人のイベントも広報する）
 - 美幌町に様々な場所から人々を招待し、美幌町の人々と交流する。
 - 季節移住のための民間アパートの活用や住宅補助のために商品券を活用するなど、官民一体となった場を設定し施策の推進や2居住（夏は北海道・冬は道外などの積極的推進やPR）の推進。
 - 交流人口を増やし、美幌町はどういう町なのか知ってもらう。まず、美幌町に足を運んで

もらう事が重要だと思います。

- 道外で定年退職した人がよく北海道に旅行に来ると思うのですが、「このまま美幌に住みたい」と思えるような魅力を発信できれば人口の増加に繋がると思います。
- 人が集まる街にする。人口が減ってもいいが、集めればよいのでは。美幌町は地図をみると主要国道4路線が合流する立地のよい場所。北見、網走に行くのではなく。北見、網走等から来てもらう対策・・・キャンプ施設（美幌峠？）通年型プール？ターゲットはファミリー世代だと思います。また、駅周辺の再開発。人が集まるところに人を集まりやすくすること。

<Uターン促進>

- ✂ 奨学金を活用した学生（卒業後地元で働く学生）の奨学金返還を支援。
- ✪ 社会人の転出を防ぐのは難しいかもしれないが、高校生が町外で勉強し、その後地元に戻ってこないことが一番人口減少を進めている。U・Iターンができるように考えていく。
- 町外へ転出した若者を呼び戻すためにUターン者向けWEBサイトを設置・運営など
- 美幌町出身者のUターン就職を促進、支援。

<若者、若い世代の移住、定住>

- ✪ 若い女性を定住させる。
- ✂ 勤労者世帯（子育て世帯）への支援拡充。（町内学校の制服、指定ジャージの助成、教科書の支給、15歳未満の医療費助成）
- 若者達への定住政策。
- 若者の定住。
- 若者主体のまちづくり。
- 若者に先行投資型のまちづくりをめざして欲しい。
- 高齢者予算を若者定住（結婚、子育て、雇用など）に少し移して美幌町ならではの政策を立案してください。
- 若い人達、若者への暮らしの補助（子育て環境の整備など）
- 若い人が住める町にして下さい。（男性・50代）
- もっと若者が集まる街になる様な工夫をしてほしい！若者が残らぬ街は廃れます。自衛隊の街だなんて云われは古いです。世代交代すら出来ぬほど若者が減っている現実に向き合うには、もっと思考すべき所がいっぱいあると思います。（男性・30代）
- 若い人達がIターン、Uターンできる町であってほしい。町の企業の経営者が、（雇用する）若者が生活でき、家庭を持ち子供が育ち、美幌町に定住出来る様な意識がもっとあると良いと思います。自治会活動にも、普通の若い人達が参加出来る様な町。高齢者社会を支えていただくのには、若い人達の力が必要だと思います。（女性・60代）
- 若者が残れる様な企業誘致が必要。他町村から集まって来る様なイベントが必要。びほーるの有効活用→若者向けのコンサートを行うなど。（男性・40代）
- 町としては環境も悪くなく、人も温かく住みよいと思いますが、町づくりとなると実感すべき事項が私には少なく感じられます。先ず、人口の自然減は避けられないとしても、流出を防ぐための子育ての出来る環境や安定した収入の得られる企業の誘致等、切迫感が行政にあるのでしょうかと感じせずにはいられません。人がいないと町は成り立たないと思います。（女性・50代）

- 今後、若者達が美幌町に住み続けたいと思われる町づくりが必要だと思います。(男性・50代)
- 若年層永住のためにはやはり娯楽施設や就労場所の充実が大切だと思います。
- 長生きを楽しめるまちづくりと言うより若者も楽しめるまちにしないと人口減少は止まらない。

<遊び場、余暇の場など>

- 若者が、仕事が終わってから、または休日に趣味などを楽しむところ(習い事、教室)を。
 ♪ レジャー施設があるといい。旭川や札幌まで行く。雨や雪だと外で遊べないので。
- 子供達若者が健康的に遊べる施設があると、若い人達が美幌に残り、町外からも来るのではないかと思います。例えば、ラウンドワンのような所や映画館(ゲームセンターはいりませんが)、勉強したりおしゃべりしたり集まれる場所など。(よくシティの休憩場所にいる高校生、中学生たちを見かけますが、そういう場所がお店ではなく施設としてあるといいと思います。)←ちょっとした明るいカフェ的な感じで。(女性・40代)
- 大きな商業施設や、ファーストフード店、ゲームセンターなど若い世代が楽しめる施設があれば若い世代の人口流出を防ぎ伸ばしていける
- 夜遅くも利用できる場の提供。若者の流失の一つに、仕事が終わったあとなど夜の時間帯に魅力がないという話が聞かれます。夜も語り合える安全な場所があれば、若者の活性化につながる
- 若者が楽しめるような場所の増加により町外転居者を減らす。

<住宅>

- ✂ 住宅支援。
- ✂ 若い世代の定住支援。家賃補助など。
- ✂ 若いカップル(夫婦)への住居費支援(家賃等助成)。
- ✂ 美幌町での住宅建設・購入、土地購入に対する助成。
- ☆ 賃貸の家賃相場が高い。安くなると良い。一軒家の賃貸がたくさんあると、家族が増えたりしても安心だと思う。
- ☆ 母子家庭で、公営住宅にも入れず、高い家賃を払っています。公営住宅を早く増やしてほしいです。生活が苦しいです。
- 単身者でも入居しやすい家を増やす
- 単身者向けの低賃金アパート・マンションの増設
- 独身者用公営住宅
- 近隣へのアクセスが良いので、住宅地としてのニーズがあるのではないかと
- 若い世代に向けて優先的に公営住宅をあてるなど
- マンション等の共同住宅を増やす
- 低家賃での住居の提供、家賃の安い住宅の提供、
- 住宅地支援事業(町が保有している土地を移住してくる人の無償譲渡)
- 住宅建築費用等の住居取得の助成や提供
- 定住希望者への町所有遊休地の提供と土地取得に対する補助及び固定資産税等の軽減
- 小学生以下の子どもがいる家庭が、住宅建築(又は中古住宅の購入)する場合に奨励金を支給、

既存の町産材活用助成などとパッケージングして利用できるようにしてはどうか？

- 町で所有している住戸を改修し、定住希望者への体験住戸として提供
- 空き家をネット上で簡単に検索できるデータベースを整備し、移住の素地を作る
- 持家を管理しきれない高齢者などや転入者の家賃軽減対策など、需要があれば自衛隊官舎が相当空いていると聞くので活用できないのか
- 自衛隊官舎等を賃貸して空き家を解消する有効活用
- 農家などの空き家を町外者に町で斡旋する

<高齢者の移住>

- 逆転の発想で、高齢者を集めて人口を増やすと、介護福祉系や高齢者の人口増加にともなう仕事が増えるので、若い労働者を誘致できるかもしれないですね。(女性・30代)
- 介護施設を増設し、障害者施設等を設けて(美幌町に受け入れ)、人口増加や雇用の充実に取り組んでほしいと思う。(男性・30代)
- 最近現役引退者の方の離町が目立つ。一町民の方が「美幌は、福祉施設は充実していると思うが、臥床状態や認知症がその対象であり、日常生活に支障が無いがひとり暮らし(夫婦ふたり暮らし)に不安がある者の入所施設が近隣を含め少ない」と話していた。介護保険制度が施行され在宅介護体制が整備されているが、本州とは違い北海道では施設介護に対する思いがより大きいと感じる。第5期総合計画にも「ケアハウス」「高齢者生活支援ハウス」の記載があるが、そのような方々の生活の質を尊重し安心できるものがあれば、現役を退いても美幌町に留まるのでは。
- 現役世代が高齢者を支えるだけの施策は人も金も限界があるので、お互いに支え合うシステムを確立していくことが必要(高齢者が中心となる産業の構築、高齢者が地域の子供を育てる等)
- 高齢化に伴う公共交通、買い物、病院、ボランティア等の充実
- 介護福祉施設の充実。
- 除雪に苦勞し、マンションなどが充実した町へ転出する高齢者もいることから、高齢者の除雪や身の回りのサポートできる体制。
- 町外から高齢者を呼び込み、それらに関連した企業、労働者を増やす
- 寝たきりにならず元気で長生きして楽しめる老後をおくれる町、生きがいを見つけ生活できる町
- 人口減少で生じる人手不足への対策。高齢者の対応をする介護職員、介護施設のスタッフ不足等の対策に取り組まないといけな(介護分野だけではなく様々な職場に対して)

<医療>

- 医療機関が更に充実することで、人口流出を防ぐことができる。
- 医師の過疎手当の高額公費支給や一戸建て住宅の確保などの条件をあげ医師の確保をする。
- 病院内に託児所をつくる

<広域的な視点>

- ㊦ 美幌は交通の便がいいので、北見や網走で職があれば、定住先として選ばれることもあるのでは。
- 定住、移住できるような環境づくりを目指す。北見市のベッドタウン化。(女性・60代)

- 北見・網走市が車で 30 分圏内にある地の利を生かし、勤務地は町外でも居住地を本町とする「定住及び若い世代の転入促進」のために、住宅取得補助、新婚及び転入者家賃補助や子育て世代には出産から教育（地元高校卒業）まで保育・医療・教育費の完全無料化など、近隣市町村が真似できない施策の実施
- 近隣町村に職場があり、在住が美幌町となればと思います。その為には、子育てに少しでもお金がかからないことが大切かと思います。
- 20～30 代の女性が子育てしやすいと思える環境を整えることにより、北見市のベッドタウンとして美幌に定住してもらう。
- まずは中核都市のベッドタウン（魅力ある）を目指すのも手ではないか。
- 美幌町が消滅することはないと信じていますが、人口減少社会の中では、行政の広域化を図るべき
- 若年人口を増やすためには町内での雇用を充実させる（本町だけで企業を誘致するのは困難であると思うので、近隣自治体とタッグを組んで取り組むことも必要ではないか）
- 美幌町だけが人口減少しているわけではないため、オホーツク圏とりわけ北網圏で企業誘致・観光産業の拡充・地場産業の育成等広域的な視野で取り組むべき。
- 地域的に広く考えて、各市町が取り組める可能な分野を選択して、美幌(北見)周辺の地域人口急減に対応すべき。北見市では雇用の場を提供するとして美幌では特に何を力入れるべきか検討していく
- 北見・網走の定住自立圏構想に加わることを前提に、高度専門医療や高等教育等の機関は北見・網走にゆだね、それらの都市へのアクセス改善に予算を集中する
- 北見市のベッドタウンとしての役割も加えて果たせるよう、北見～美幌間の高規格幹線道路早期完成を強く要請する、また先を見据えて P R 活動、区画整理を計画する
- 大通り商店街の見た目を変える（初めて美幌町に来た人やまだ来ていないけどストリートビューなどネットにより美幌町を見た人が来たい、住みたいと思えるような第一印象）
- 空き店舗に多様（主に飲食店）な店を開くことで、外から人が集まり定住につながる
- 街の中には、シャッターが降りたままの建物が目立つが、町は現行では中小企業に対する補助制度はあるが、町外からの起業者等にも町内の雇用が増えるのであれば同様に補助しては。古い建物についても街のイメージは悪くなるので取り壊しの経費に対する補助もあれば
- 商店・飲食店・保養（温泉水を運ぶなど）・遊戯施設（カラオケ・ボーリング場など）を 1 ケ所に集めて複合商業施設を作る

<町の良さを考える、つくる>

- ★ 文化・スポーツ活動の充実（住みたい町）、学力アップ。
- ★ 魅力あるまちづくり（他の自治体の人に自慢できるような）
- ★ 魅力的なふるさと納税のお礼を考える。
- ★ 美幌オリジナルのものを。食べ物でもいいし、自然でもいい。
- 「美幌町」といえば○○○…というようなものが、今のところピンときません。それはそれで構わないのですが、何か物足りない気がするときがあります。全体的にとっても住み良いまちだと思いますが、美幌町ならではのアピールポイントがあっても良いように思うことがあります。それが何なのか？ 10 年以上住んでいますが、思い浮かばないです。（40 代）
- 人口減少の中で、何か魅力あるものがなければ、この町に人は集まらないのではないでし

- ようか。「美幌って、何？」…と聞かれると、う〜ん…となってしまいます。(男性・40代)
- 魅力のある街ってどんな街？魅力の無い街ってどんな街？「美幌って何があるの？」と聞かれた時、何も答えられない…(女性・50代)
 - 海外、国内、道内、各市町村の議員の方々は、視察に行かれ勉強されている事とは思いますが、長年町に住んでいて、その努力の成果が形となって出てこないのが残念に思っています。身近な例で、東藻琴の芝桜、小清水町では企業の誘致、美幌町ではと云う誇れるものが欲しい。(男性・70代以上)
 - 道内で何か一番のものをを見つけ(作り)、推せる何かが必要！！今の美幌は特筆すべきものは何一つ無い。
 - 美幌を知ってもらい、暮らしたいと思ってもらえるように、何か1つメインとなるものが出来ればいいと思います。(男性・10〜20代)
 - 美幌＝スカイスportsが、今イチつながらない。(女性・30代)
 - 特に住みづらいこともなく、特徴のない町だと思います。その“特徴のなさ”をまちづくりに反映できないでしょうか？“ゆるキャラ”ならぬ“ゆるまち”とか…。(男性・30代)
 - 美幌はオホーツク管内で大きな町ですが、イメージが薄い。目玉がない。〇〇といえば美幌だ！というものがほしい。(男性・50代)

<町の良さをPR>

- ✂ (比較的)安全とされる環境地域であることをPRして移住をしてもらう。
- ✂ 地方が集まって、都市で田舎暮らしセミナーを開催&マーケティングする。(地方ブースを都市に置く)
- ★ 町の優れている点は①天候に恵まれている(東京都のよう)と②町の構成がコンパクト(まとまっている)こと。
- ★ 空港に近い点。コンパクトシティである利点を使った移住政策を行う。
- ★ 定住に力を入れるべきではないかと考えています。魅力的なまちづくりが必要だと考えています。雇用に力を入れることや移住等の助成はもちろん必要ですが、外部に美幌町のすばらしさを発信することに力を入れてみたらどうかと考えます。美幌町は魅力的な要素をすでに持っていると思うのでメディアやイベントなどで発信し、多くの方に興味を持っていただくことが、移住や定住につながり、人口の減少を止めることができると思います。
- ★ 魅力的な面がたくさんあるのでアピールをもっとしてほしい。ネットで調べてもひっかからないことが多く、チャンスを逃していると思う。駅前にもっと店があればいいのと思う。移住支援等々情報を見えるようにして、外にアピールが必要だと思う。美幌町大好きです！
- ★ 自然環境も交通の便も良い町なので、もっとアピールして移り住んでくれる人を求めたい。
- ★ 美幌町の魅力の発信、HPなど。
- ★ インターネットの活用。
- ★ 美幌のレトルトカレーのこと、はじめて聞きました。もう少し何かで知らせては？
- ★ 現在の住環境などの長所は絶対に衰退させないようにするべき。
- ㊦ 災害は少ない、ということは良い。
- 住んでみると、教育やスポーツなど、非常に手厚いサービスがあり、都会よりずっと住みやすく便利だと思います。その強みを活かして永住者を増やして欲しい。(女性・40代)
- 美幌は気候が良く、オホーツクでは住みやすい町だと思います。空港も近く、高速バス、

J Rなど、札幌や東京などのアクセスも良いと思いますが、これといった観光、特産物などがないので、通過点のような印象です。ケンミンショーなどでとりあげられるような産業、物産などができると全国的にも有名になり、通過点ではなく滞在、移住などにつながると思います。すぐは難しいと思いますが、10 年後、20 年後、長い時間をかけて取り組んでみることで、次世代が美幌町で安心した生活ができると考えます。(女性・40 代)

- 国道が4本も交錯する町村も珍しいと思うので、その利便性を生かせるようなピーアールを考えてはどうか。また、近隣の環境や観光スポットと連携したピーアールもほしいところです。T P P問題など、農業への大きな影響、打撃も考え、農業中心の産業社会を見直し、観光産業など新しい分野の開拓も必要と考えます。(男性・50 代)
- 国道が交差する町内なので、物流の拠点として企業が集まれる場所だと思う。国道4本と女満別空港、この立地はほかにはない町なので、観光も含めもっと全国にアピールすべきだと思う。また、リリ山、農業博物館、峠の湯、美幌峠、知床などの導線を結び、ちょっと暮しが出き、農業体験などできる施設があればもっと美幌の良さが出ると思う。(男性・40 代)
- 修学旅行の誘致を行う。→将来の美幌町のファンづくりと町の魅力のPR(大人になってから美幌町に住みたい、訪れたいと思うきっかけ。例えば美幌高校での農業体験がメニューとなれば、美幌高校生にとっても貴重な学習機会となる)
- 情報発信(安心感をあたえ、結婚や子育てに魅力があることをつたえる)
- 商工観光のくらすわ美幌のような、北海道の住民でない視点での情報発信をもっと増やすことができれば良いと思いました。読んでいて「本州の人はこんなことに驚くんだ」と新しい発見がある。
- コンパクトシティを推進し、大型スーパーも3店舗有りワンコインバスや公住、アパート、子育て施設、学校公共施設の将来的デザインを描きながら、美幌に永住して近隣市町に出勤してでも住みたいと思える町の良さをアピールしていく。そのためにも若い世代が世帯を持つ方にどう働きかけていくかが政策的な課題であると思う。町のPRボランティアとして、各世代や様々な職種の方に、町の取り組みをフェイスブックなどSNSで発信してもらうようPR隊を指名結成するとか・
- 安心・安全なまちをもっとアピールすべき。美幌町のように災害が少なく、小売店も不便しない程度あり、交通の便にもすぐれた町は多くないと思う。ネットワーク社会において都市と地方の情報の差はほとんど無いと考える。身を助ける安全こそ最大の強みであると考えます。
- 美幌に住み続ける利点などをアピール。
- 実際に住んでみると、住みやすいという声があるので、住みやすさをアピールしていく。(買い物の利便性、町の広さ、公園等)
- 美幌町は特に交通の利便性(空港まで10分)、自然環境(子どもも自然にたくさん触れることができ伸び伸びと)、病院が充実しているなどをアピールすることができます。
- モノ・カネがない美幌町は有名人となるべきヒトを養成し美幌町のPRをして美幌町のセールスしてもらう取り組みに投資したほうが、お金がかからない。人材育成により有名人を養成し、その人を見たさにヒトがあつまると思う。
- 災害が少ない安全な地域であることをアピールする
- 継続して美幌町に居住している方を特集にした記事の作成や表彰など、美幌町に住んでいてよかったと思える制度創設やイベントの開催を行う。
- 口コミ。美幌町民がきちんと発信すれば、意外と多くの人が「へえ、結構いいまち!」というのを聞く。前述、華はない(と思う)ので、じんわりと「良さ」を伝えたい。気長に。

- 美幌が住みやすい町だということを知ってもらう。(オホーツク観光ツアーの開催宿泊は美幌。)
- 美幌町をアピール(特産物や道の駅、イベント等)
- スポーツ活動も盛んな町ですのでどんどん力を入れて色々な種目からオリンピック選手を出して美幌町を有名に!
- 美幌は住んでみると住みやすい(災害少ない、気候がよい、食べ物おいしい、隣町に行けば買い物も便利)のでもっと前向きにPR
- 子育てや子供たちを見守る良い環境にある事など、良い面を沢山PRしていく。

<子どもの時に良さを>

- 子どもから学生世代に地元愛が根付き一旦町を離れてもまた戻ってきたいと思うようなまちづくり
- 将来的にも継続して人口を維持・増加させるには、若者が戻ってくる町であるべき。美幌に住んだらこんないいことがあったとの「おいしい思い出」を子どものうちに刷り込んで
- 田舎町で育った若い子達は、1度は都会に住むことを憧れるため、若い人達が多く減っていますが、その若い人達が何年後かにやっぱり自分の生まれ育った地元の美幌が良いと思って戻って来られるように、就職先の確保や子育てなどがしやすい環境を作ることが必要
- 小さい子どもの時にオホーツク管内の特色である自然を生かした教育を行って、最終的に戻ってきたいと思えるような取り組みが必要だと思います。アイデアとしては、ニセコにあるようなアウトドアアクティビティができる施設、森と水があるので可能。些細な事ですが、みどりの村の高低差を利用してロープを張り自然のジェットコースターのようなものから始めていくのはどうか

<コンパクト化>

- 減少に歯止めが効かないのであれば、いっそのこと諦めて、町の中心に住民を集める。バラバラだと自治会活動も人が少なく、盛り上がらない。
- ある程度の人口減は避けられないものであり、その中で「暮らし勝手がよいコンパクトシティ」

<分析>

- ★ 科学的分析、見える化の原則に沿って策定を進めれば答えが出そうな気がします。
- ★ 転入、転出の理由の調査、分析。→弱い部分の強化対策。
- ★ 子育て世代(女性)が住みたい町の調査、分析。女性が住めば男性も住むようになる。
- 美幌町出身者で現在町外に住んでいる方に「美幌町を離れたきっかけ」や「現在住んでいる地域の魅力的なところ」、「美幌町がこんな環境になったら住みたい」など意見を求めることも必要に思います。
- 美幌町は、国や道に比べて合計特殊出生率が高い。第3子までいる人も多い。なぜなのか。自衛隊があるから?子どもを育てやすい環境が整っているから?この部分を分析すると何らかのヒントが隠されているのかもしれない
- 子育てにかかる負担から、子供が欲しくても2人目、3人目の子づくりに躊躇してしまうことが多いのではないかと。小さな子を持つ親に改めてリサーチを行って、その要因を探る必要がある。

- 特殊出生率が2を下回る現状をどう引き上げていくかが課題である。2で±0であり2以上にならないければ、日本の人口は減少が続くことになる。子育て世代にとって何が要因なのかの把握が必要。

＜住民の意識、行動＞

- ✪ 多くの町民の意識改革→現状の周知、危機感？
- ✪ 町民全体がおもしろがって取り組む町民的な活動。何でもいい。健康づくりでも、「まるまんま醤油」を使った料理自慢でも、自分達がおもしろがれば、よその人の目が向き、まちも活性化する。
- ✪ 美幌町（民）は独特で強いスクラムを組んでいるイメージです。その分強いのですが、「外へ出て行く」力が弱いのかと思います。美幌はある程度完成された町かと思いますので、自信を持って、もうそろそろ「外から吸収する」のは一旦やめて、スクラムを解いて「外へ出て行って」みてはいかがでしょうか。そうして、外から人を連れて来てみてはいかがでしょうか。
- ✪ 地産地消など経済の活性化の取り組みについて、各産業の枠を越えて全町民が積極的に参加する意識改革。
- ✪ 町民一体となって知恵を出し、汗をかき、町の環境を大きく変えること。その情熱が地方に伝わり、地方から人が集まってくれると思う。

＜その他＞

- ✪ 社会の機能を一部地方へ。（リフレッシュする）
- ✪ ポイント制度（ナルク）。若い時ためて老後に使えるなど。個々の活力につながる。
- ✪ 移住、定住には、「美幌に住む理由」が必要。
- ✪ 外国人の呼び込み。
- ✪ 図書館を軸にした町（商店街）づくり。定期的な集客があり、不動産価値を上げる。
- ✪ 結婚で呼び寄せれば社会増、子どもが産まれれば自然増。自然増・社会増の線引きが難しい。
- ✪ まず、社会増があって、自然増につながる。
- ✪ 恩がえしのまちづくり（子育てを手伝ってもらう→その人が年をとったら除雪を手伝う）。
- ✪ 人間は基本的に「生活にゆとりがあるか・ないか、生活できるか・できないか」を考える。「その町で生活できるか」が重要。
- ✪ 他の町ではできない美幌ならではの1つをつくる。
- ✪ 美幌に児童劇団をつくってほしいです。
- ✪ せせらぎ公園の改修とその整備についてまち全体がひとつに大きくなる。
- ✪ 美幌が生んだ人材を大事にすること。山口昌男氏に学ぶことたくさんあり。海軍、自衛隊ほか美幌に関係した人を生かす。子ども、孫、一族とつながるため。
- ✪ ちよろちよろ町職員の異動をやめるべき。プロフェッショナルを作るべき。
- ✪ 今人口が増えているところは「①ベッタタウン」か「②起業家マインドを持った若い人の興味をひく自由度とぶっ飛び感があるところ。」①は期待できないので、②で走って行くことを覚悟する。狭い心を捨てる。
- ✪ 美幌町が「まちづくり」に対して積極的に投資すること（需要を増やすため）。
- ✪ 減少は止まらないと思います。人口減少の中でみなが幸福を実感できるまちづくりが大

切！

- ✪ 人口減少を悲観する論が盛んだが、70 年前産児制度の論があったことを忘れてはいないか。今日の現状は 70 年前に発した 1 つの帰結でしょう。中国も一人っ子政策が今はどんなになっているか。
- 人口減少問題を冷静に受け入れつつ、自主自立のまちづくりを進めるべき。自治基本条例に示す基本理念「安心で住む喜びが実感できる美幌町」の実現に向け、先を見据えた大胆な政策を打ち出す
- 基本的に働く場と住む場所を確保することで、若者流出を防ぐことができる。若者（女性）がいることで地道ながら出産で人口は増えていく。
- 千葉県流山市など、実際に人口増の実績がある自治体の実施している子育て支援、教育環境の整備、工コで自然豊かなまちづくりの取組を参考に実行に移す（「規模が違う」と頭から否定するのではなく、やわらか頭で検討してみる。）
- 子育て支援、雇用の確保、移住定住の促進等ありきたりのことですが、そのありきたりのことを少しずつでも充実、改善していくほかない。
- 美幌で生まれ、美幌で育ち、美幌で働き、美幌で産み育てるというサイクルを確立することが必要。
- 町外から見たときに子供を育てる環境や、老後生活していく環境が充実していれば人口の増加に繋がるのではないかと思う。
- 着々と進む超高齢化にどう取り組むか。現役世代の自分たちが支えられる立場になったときのことを想定した施策の検討が必要。子ども達の負担を少しでも減らすためにも、自分が高齢者になったときにいかに現役世代に負担をかけずに生活していくかという視点で考える必要があるのでは。
- 福祉もさることながら「居心地の良さ」も大事だと思う。美幌は最低限の用を足せる立地には恵まれているので、あとは「意外といいまち」「悪くない」「離れる理由もないかな」程度の気持ちを抱かせたい。（福祉を手厚くするのは必要だが「魚を釣ってあげる」ことにお金を使うより、「魚の釣り方を教えてあげる」ことにお金を使いたい。）
- 他の市町村のまねでいいので成功しているアイデアを参考に。
- 高齢者と子ども達のつながりを強化する
- 人口が減少することが全て悪いことではない。そこに暮ら町民が豊かで幸せと感じるまちを目指す
- 人口の減少はあるが、美幌町として町民にいかに満足した暮らしを提供できるかが大事。

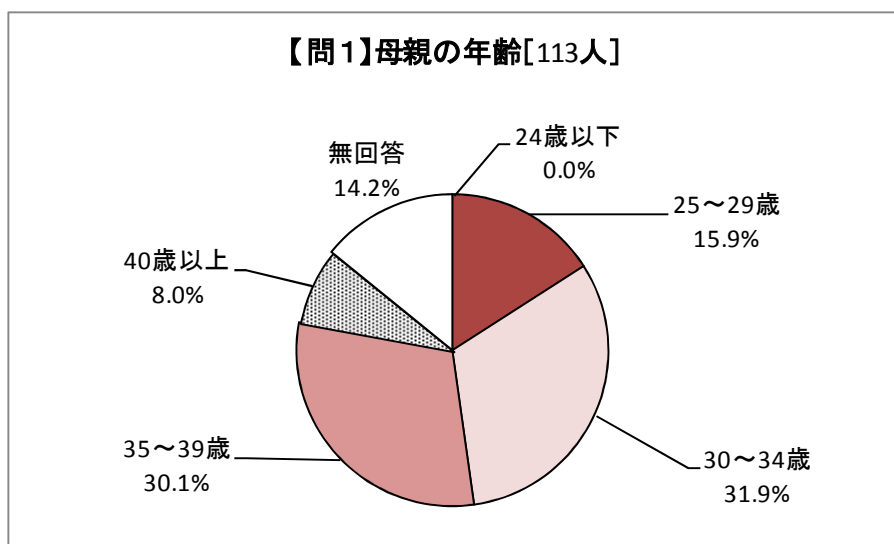
2 子育て支援

(1) 関連グラフなど

回答者（母親）の年齢

平均年齢は、33.94 歳

[子ども・子育て支援に関するアンケート調査（H27.4）]

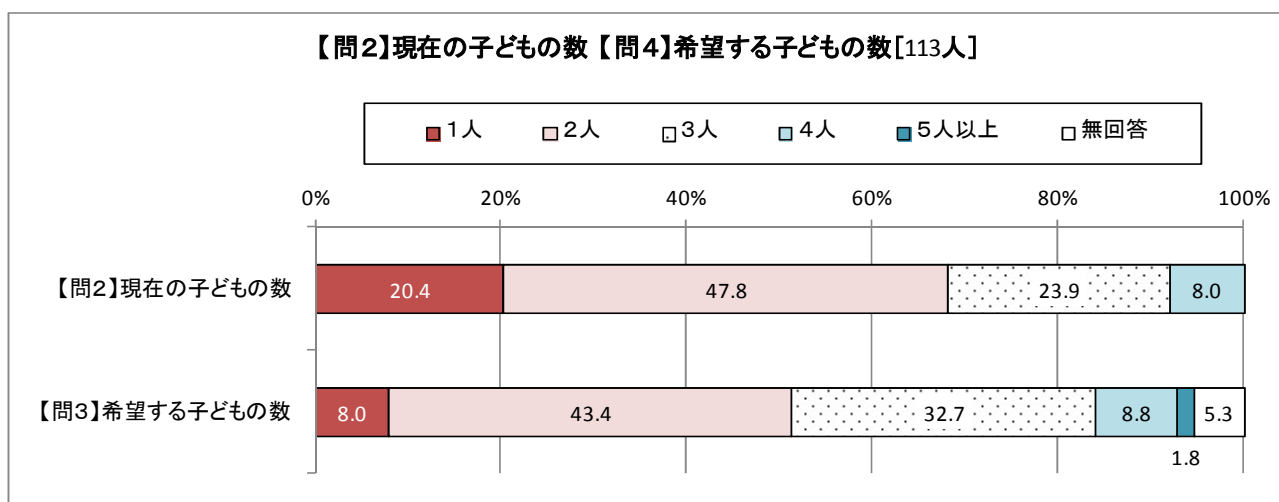


現在の子どもの数と希望する子どもの数

現在の子どもの数の平均人数は、2.19 人

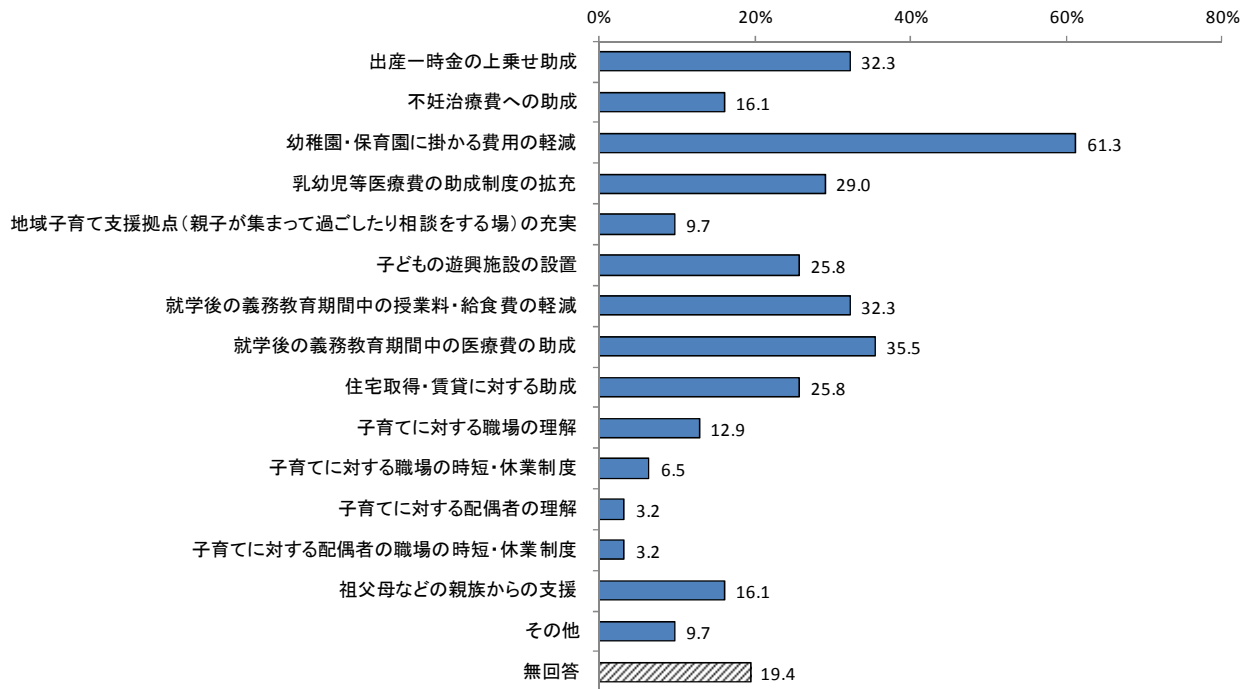
希望する子どもの数の平均人数は、2.50 人

[子ども・子育て支援に関するアンケート調査（H27.4）]



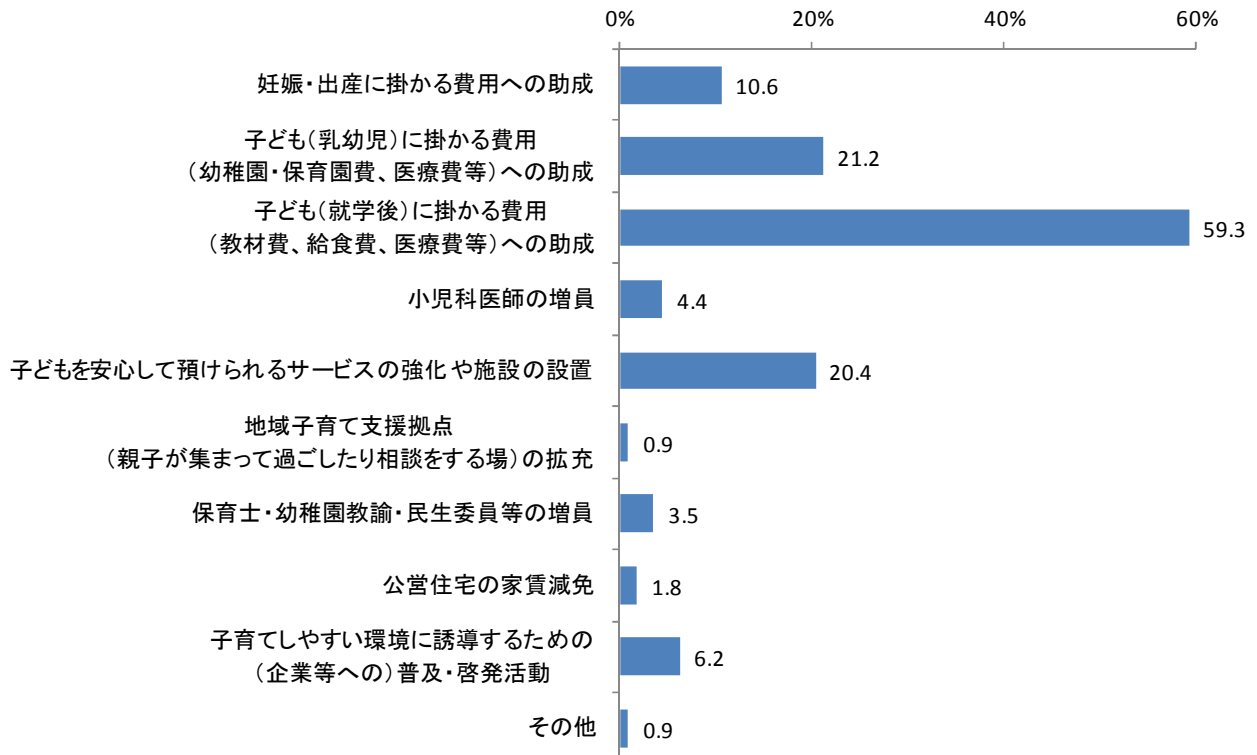
希望する子どもの数に達するために必要なこと
 [子ども・子育て支援に関するアンケート調査（H27.4）]

【問4】希望する子どもの数に達するために必要なこと(希望する子どもの数に達していない方31名)

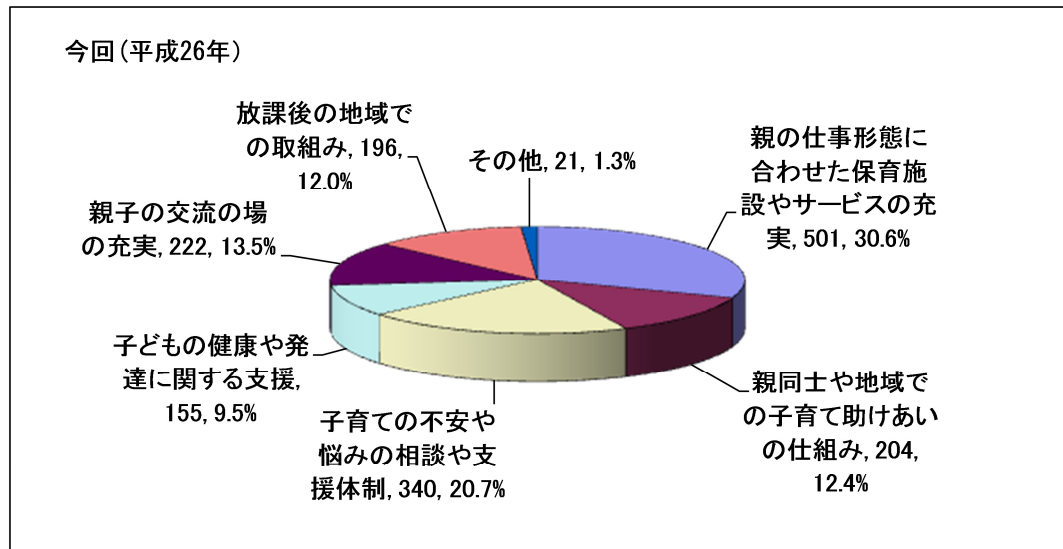


子育て支援で行政に期待すること
 [子ども・子育て支援に関するアンケート調査（H27.4）]

【問5】子育て支援で行政に期待すること[113人]

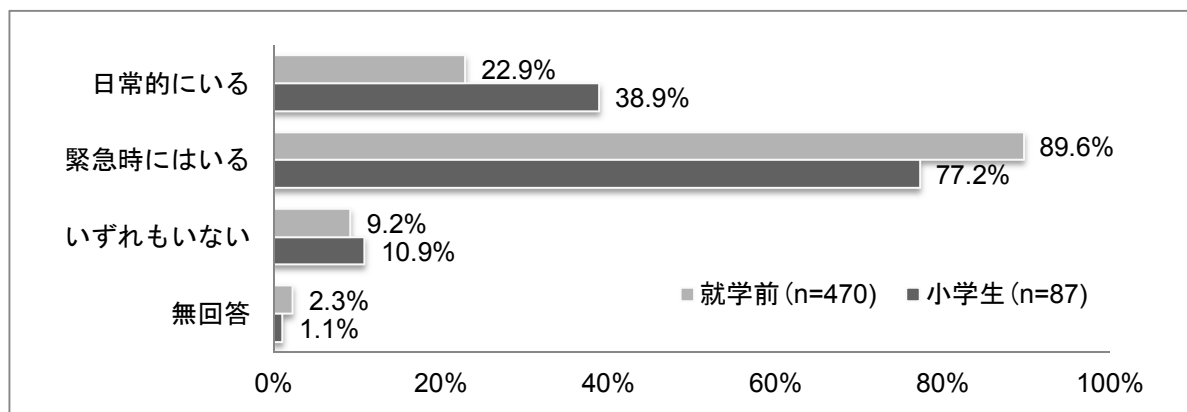


子育て中の家族等へどのような支援が必要だと思いますか
 [地域福祉に関するアンケート調査（H26.5）]



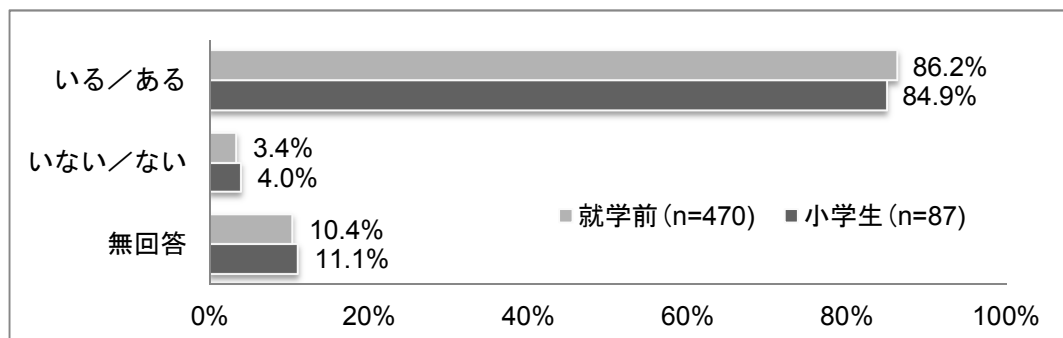
面倒を見てもらえる親戚・知人の有無

[子ども・子育て支援事業計画策定にかかるアンケート調査（H25.4）※保護者が回答者]



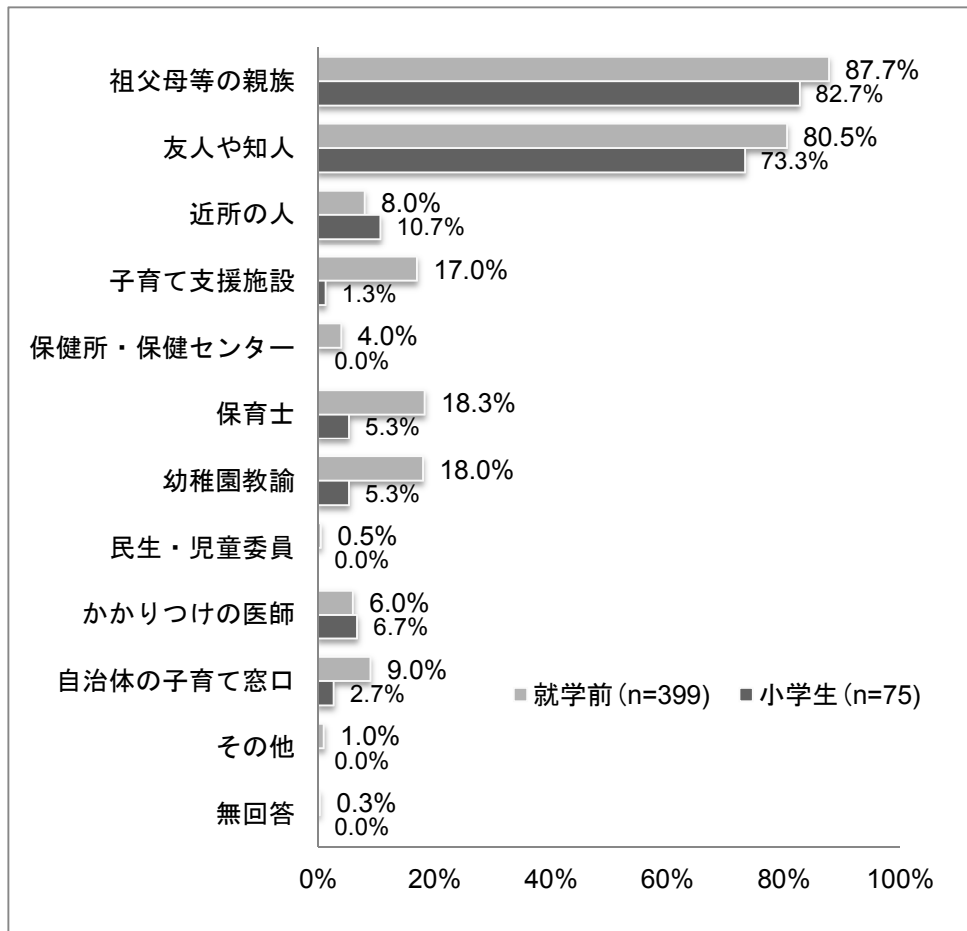
子育てを相談できる人又は場所の有無

[子ども・子育て支援事業計画策定にかかるアンケート調査（H25.4）※保護者が回答者]



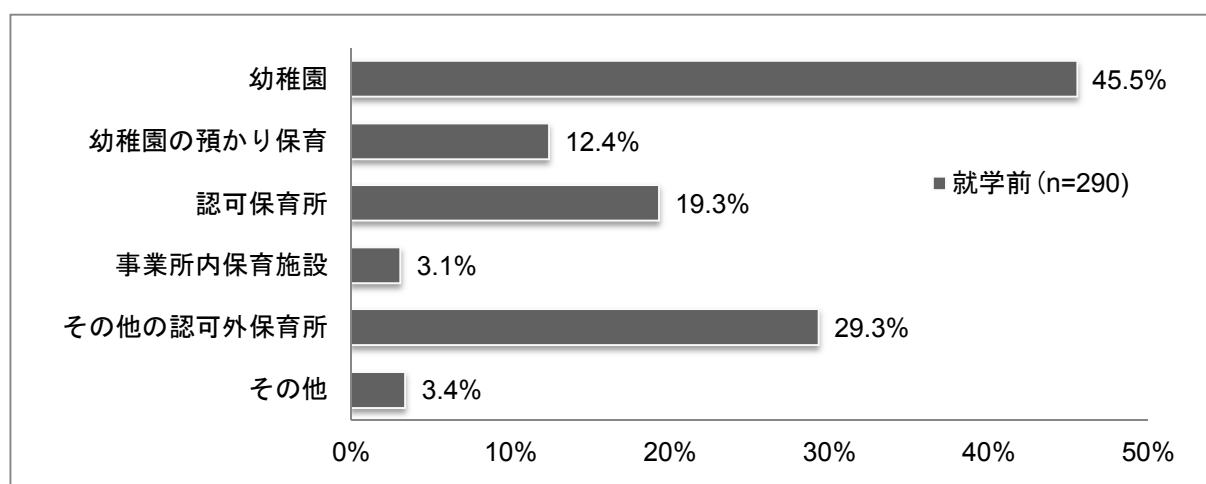
子育てを相談できる相手

[子ども・子育て支援事業計画策定にかかるアンケート調査（H 25.4）※保護者が回答者]



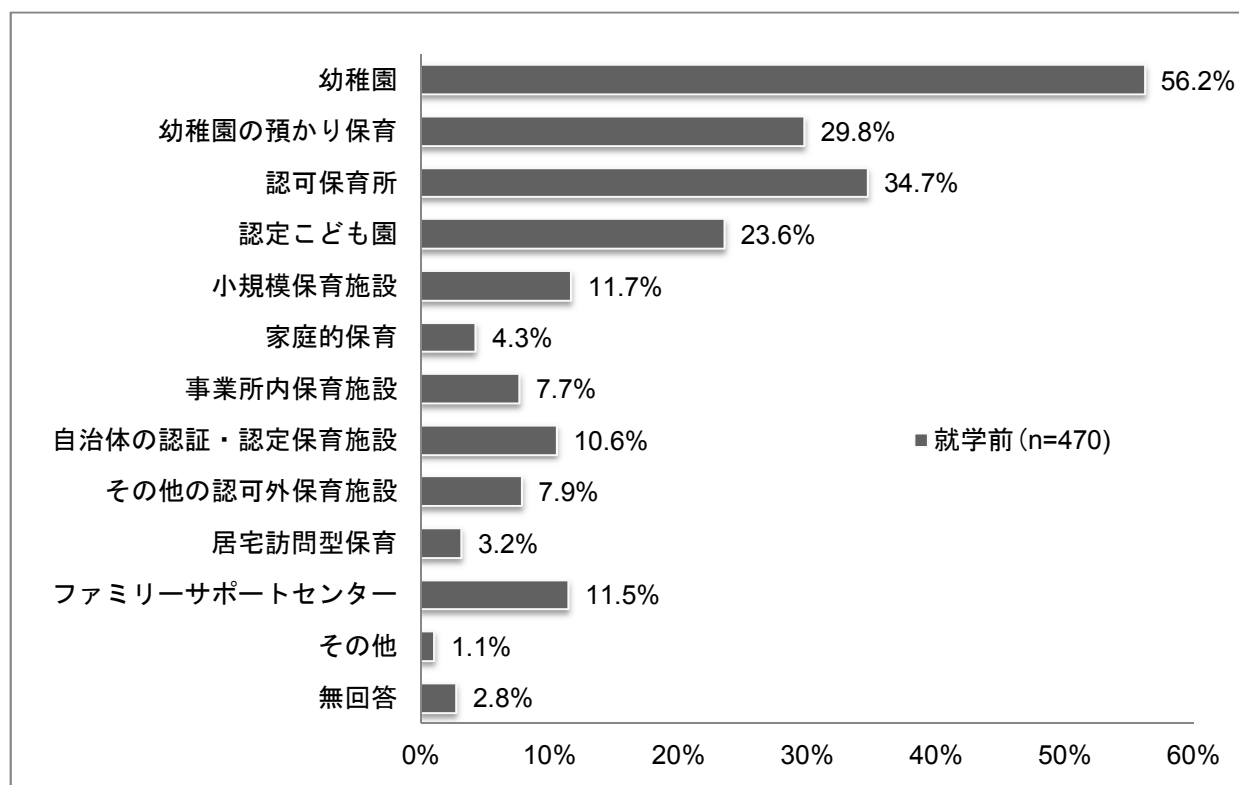
定期的に利用している教育・保育施設

[子ども・子育て支援事業計画策定にかかるアンケート調査（H 25.4）※保護者が回答者]



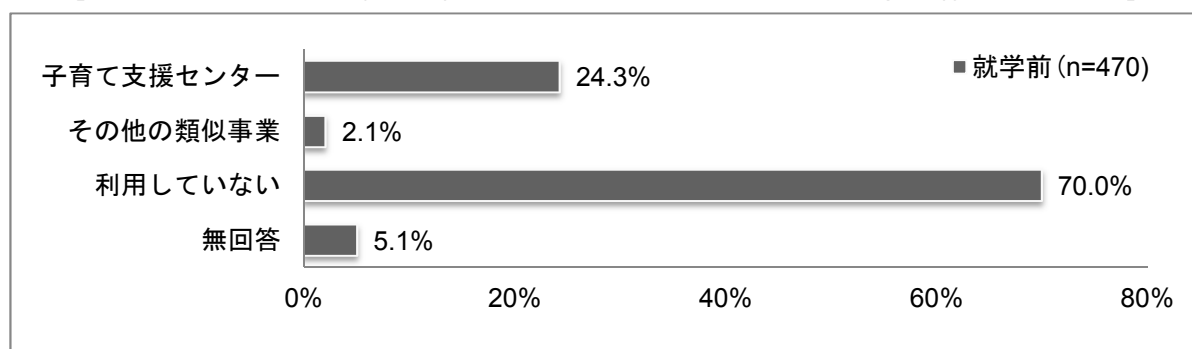
教育・保育施設の利用意向

[子ども・子育て支援事業計画策定にかかるアンケート調査（H 25.4）※保護者が回答者]



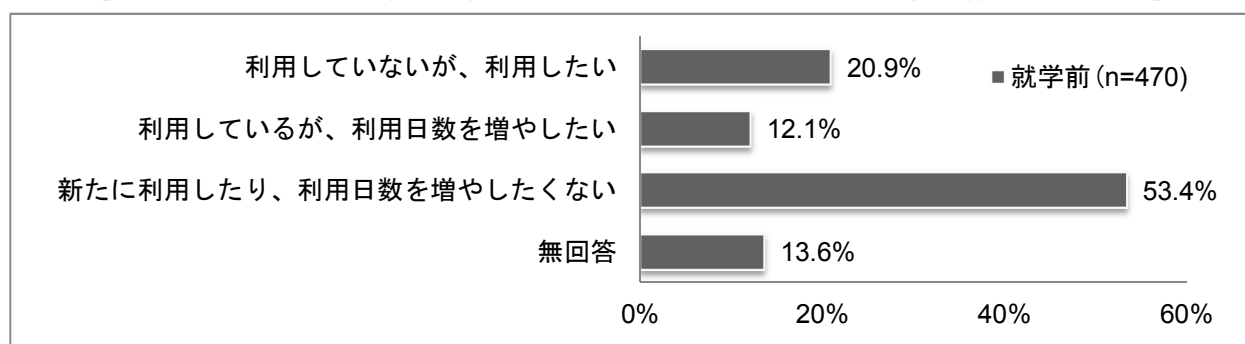
子育て支援センターの利用の有無(就学前)

[子ども・子育て支援事業計画策定にかかるアンケート調査（H 25.4）※保護者が回答者]

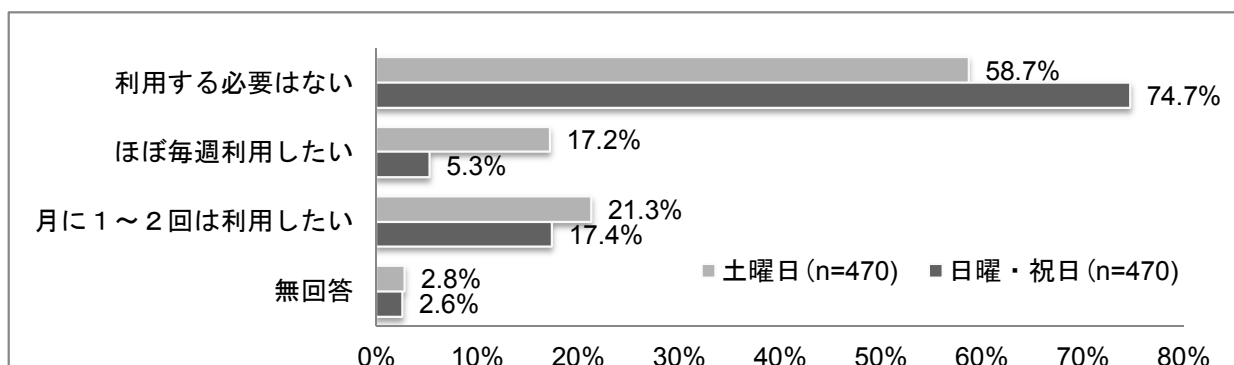


子育て支援センターの今後の利用意向(就学前)

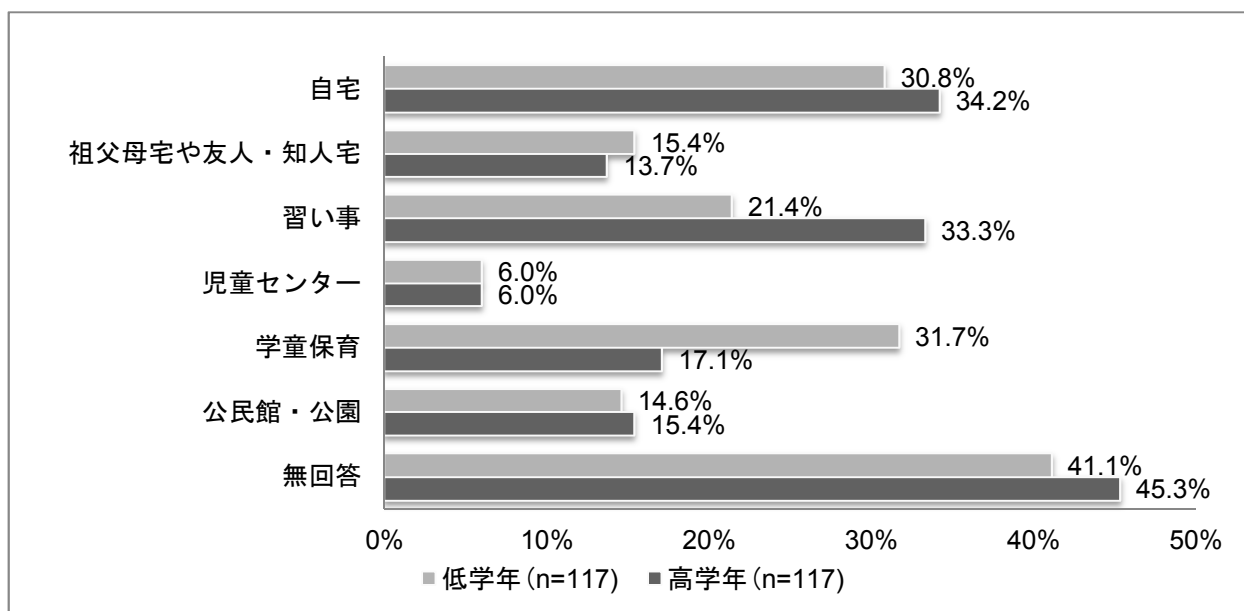
[子ども・子育て支援事業計画策定にかかるアンケート調査（H 25.4）※保護者が回答者]



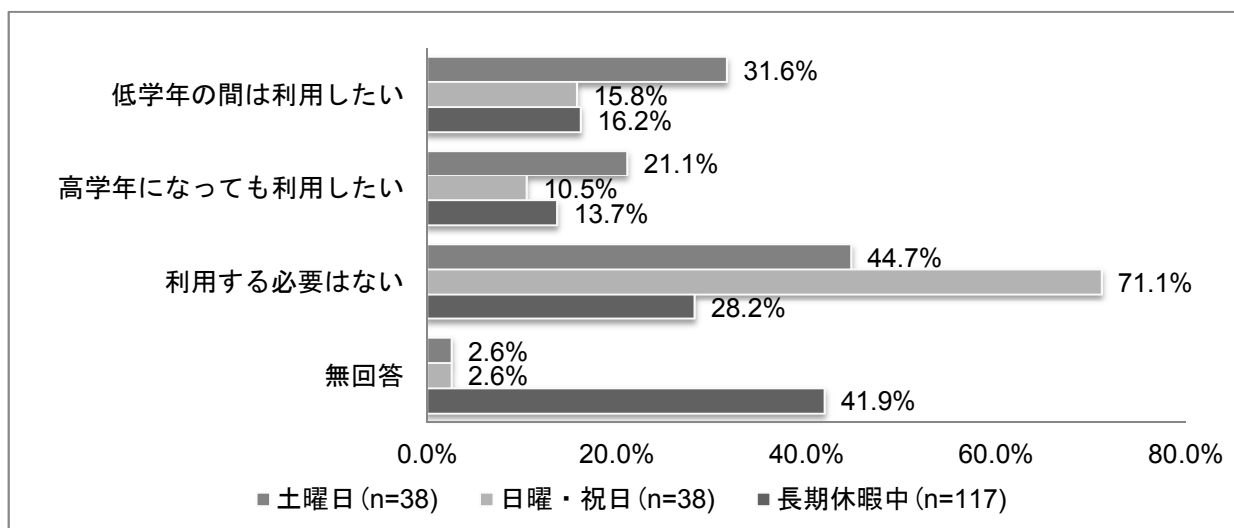
土曜日、日曜・祝日の「定期的」な教育・保育事業の**利用希望**(就学前)
 [子ども・子育て支援事業計画策定にかかるアンケート調査（H 25.4）※保護者が回答者]



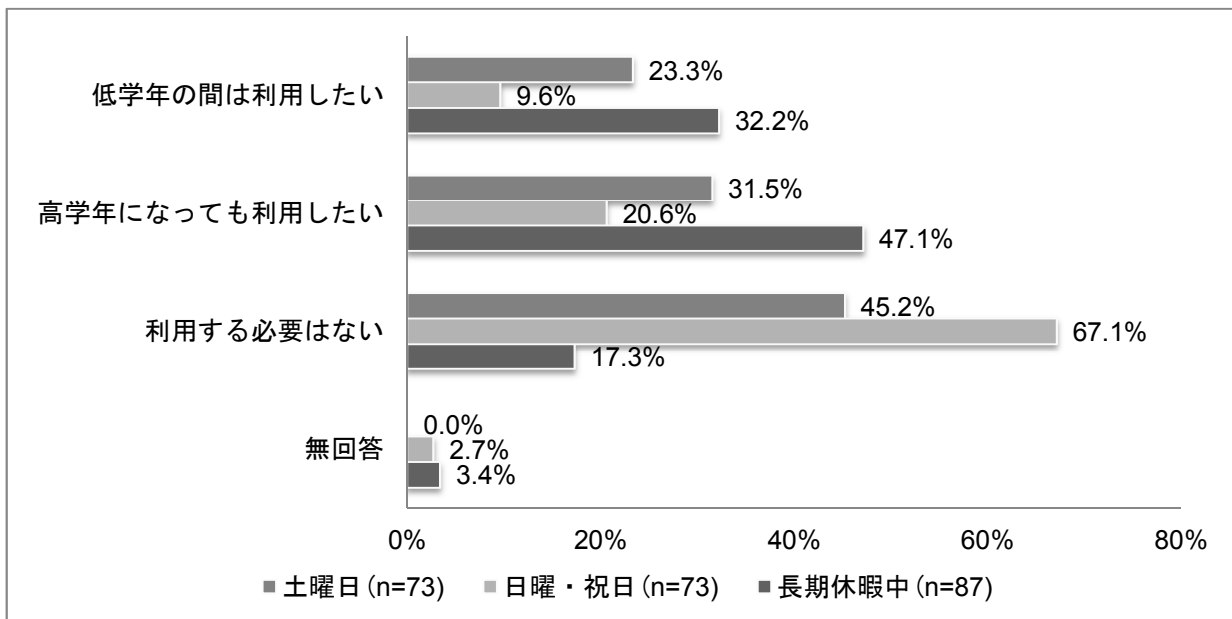
小学校就学後の放課後の過ごし方(就学前)
 [子ども・子育て支援事業計画策定にかかるアンケート調査（H 25.4）※保護者が回答者]



土曜日、日曜・祝日、長期の休みの学童保育の利用希望(就学前)
 [子ども・子育て支援事業計画策定にかかるアンケート調査（H 25.4）※保護者が回答者]

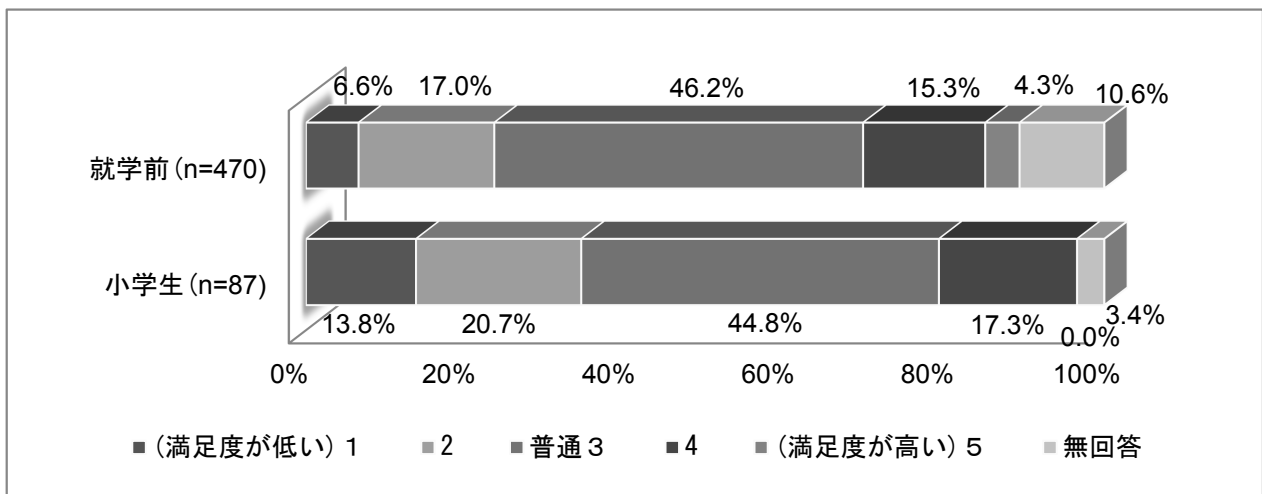


土曜日、日曜・祝日、長期の休みの学童保育の利用希望(学童保育所に通所している小学生)
 [子ども・子育て支援事業計画策定にかかるアンケート調査（H 25.4）※保護者が回答者]



子育ての環境や支援に対する満足度

[子ども・子育て支援事業計画策定にかかるアンケート調査（H 25.4）※保護者が回答者]



(2) 意見、提案

- ：町民 ○：職員 ☺：小学生 ♪：中高生 ☆：幼稚園・保育園利用者
★：まちづくりフォーラム ⌘：『びほろ』みらいまちづくり会議
☼：子育てサークル ㊦：自衛隊美幌駐屯地
◆：子ども・子育て支援事業計画策定にかかるアンケート、農業者アンケート

<子育て支援全般>

- ★ 子育て世代が働きやすい環境を整える。母親が子どもを預けて働けるような環境。2人目、3人目を安心して出産、育てられるようにする。
- ★ 子育てに関して厚い支援のある町に。
- ★ 子育て世帯を呼び込むような公共サービスを行う（美幌に住んで仕事は網走、北見など）。
- ★ 子育て支援の充実。
- ★ 子育て支援、高齢者とのつながりを強化してみては。
- ★ 3人以上の子どもをしっかりと、ゆったり、楽しく育てる支援を！！（子育て世代の支援をより強く）
- ★ 人口減、死亡者数が今後増加するので、出生率を下げないようにする。
- ★ 美幌で子どもを産み育てる環境を整える。出産一時金、乳幼児医療、保育、幼稚園、保育料補助等の充実、病院の充実、雇用の充実、生活環境の充実。
- ★ 子育てに手厚い補助を。
- ★ 子ども、子育て時代の人への手厚い政策。
- ★ 町独自の子育て支援（お金をかける）。
- ★ 子育て支援、出産支援など低所得者への支援。保育料の負担を少し町でしてあげる。
- ★ 結婚し子どもを産み育てるために良い環境をつくること。
- ★ 若者達が産まない（結婚しない）理由はなんだろう。どこに不安があるのだろう。新しいことに一緒に踏み出す勇気をどこでもつことができるのだろう。結婚して何が変わるのか。産んで何が変わるのか。安心して産めるだけでなく育てられる環境、産んでも仕事ができる（企業の協力）、引きこもらない育児（サークル、グループ）、大家族では祖父母も巻き込んで育てられた。それにかわるしくみ（高齢者の活用）ができないか。良い出会いから始まる（地元で働ける場、地元で学べる場、地元に戻れる場、地元の居場所）
- 子育て支援の充実（女性・30代）
- 子育て支援の充実（室内遊具、特に土日も利用できる施設、預かり保育、地域内の相談員の増加、公園内の遊具の老朽化の改善）（女性・30代）
- 町の繁栄には、次世代（若い人、子供）がいかに住み易いかにあると思うが、残念ながら離れていく現状が見られる。子供を産みやすい環境の整備、美幌町独自の政策を…。日本全体に言えるが、少子化対策のための子育て支援と手当等拡充が必要と思う。（男性・40代）
- 未来のまちづくりを担う子ども達の育成に、財源を含めて力を入れてほしい。言葉が悪いかもしれないが、先行投資をすることで、将来美幌町に何かしらの形で返ってくると思います。（男性・40代）

- 「子供を産みたい、産みやすい環境」として医療費助成の拡充、子供の遊び場の整備、教育費の助成など子育て世代の住環境の充実。福祉施策の多くが高齢者対策に向けられている現状を再考。
- 子育て世代の若者が、住みやすい・子育てがしやすい街づくりをすることが人口増加に繋がると思うので、住居や公園などの充実や整備、子育て支援体制の整備が必要。
- 町全体で子育てを応援できるような制度づくり
- 子どもをたくさん産めるよう、財政的な支援はもちろん、精神的支援を充実させる。(安心して預けられる場、相談する場の充実、学校での活動、給食の安全など)
- 子育て支援(出前支援)、親育ち支援(親子教室)、堕胎させない(特別養子縁組)
- 人口減少対策が成功している自治体は、高校生まで医療費無料、3人目からの出産に対し出産祝金の支給等、子育て世帯にやさしい環境が整えています。オホーツク管内で先駆けて導入し、子育てをするなら美幌町というイメージを定着させる。

<経済的支援全般>

👉 おむつ用の袋をまとめてもらえるのは有り難かった。

⌘ 子育て世代への経済的支援。(第3子以降のお祝い金、医療費助成の拡大)

⌘ 子育て&出生費用のさらなる援助。

⌘ 出産や子育てへの特別祝金。

⌘ 出産費用は支援があるが、育てるための費用の支援を。

⌘ 子育て納税で経済的支援。

⌘ 若い世代、子育て世代はお金がかかる。経済的支援をすることで、若い世代、子育て世代が「自分達も美幌に貢献しよう」と思う。

⌘ お金をかけた分だけ、美幌町に良い後継者が残る。

☆ 産まれてから中学生卒業まではすべて無料化。

☆ おむつ、ミルク代等の給付金。

☆ 結局は金銭面だと思います。どんな形にしても金銭面での助成が多ければ助かります。

☆ 子どもが多い家庭に養育費を出す。

☆ 子どもが大きくなるにつれて、お金もかかってくる。高校より上にかかる費用の助成、制服や教科書などなど。何にしてもお金がかかるので、就業先の給料、賃金の値上げ、保育料の値下げなどが一番だと思います。経済的なことが理由で子どもの出生数が少ないのでは。

☆ 子どもにかかる費用(教材費、給食費、医療費など)への助成、これは本当にどうにかしてほしい。病院や歯医者などに行くことも厳しい時が多い。

☆ 子どもにかかる費用のすべてを軽減して頂ければ、何人でも産むと思います。育てるためには食費、医療はどうして無くせません。ですから、育児・医療・保育・学校すべての費用を助成あるいは軽減して頂けると助かります。

☆ 何よりも養育費の助成。もう1人子どもがほしいと思っても、家庭の収入などを考えると厳しいので。

◆ 子供手当の増額。

○ 児童手当の独自増額

◆ 母子家庭で親と同居だと手当がもらえない。特に援助してもらっていないのに親の収入で審査されても困る。

- ◆ 子育て支援、手当等の金銭面のサポートがあれば嬉しいです。
- ◆ 学童保育の開始・終了時間延長、北見市のように児童センター利用しやすくして、経済的負担を減らしたい。インフルエンザワクチンの無償化、スクールバスの便を増やしてほしい。
- 給食の無料化や高校生までの児童手当など…（女性・40代）
- 子育てのしづらさを10年前から感じています。保育園、幼稚園等の費用が高い。後で補助が出るなら、初めから前年所得で引くとかできないものか。水ぼうそう、おたふく、インフルエンザ等々ワクチンの補助も必要。また、小学生の学年費（これは本当に必要なのかギモン）や絵の具セット、ハーモニカ等々の購入費が大きい。（女性・30代）
- もっと子供を育てるのに力を入れて欲しい。育児や仕事に力を入れるように町で協力して欲しい。保育料の一定や、年末に金額が戻ってくるのではなく、毎月の負担を減らしてもらわないと、毎月が大変な家がゴロゴロあります！！年末にどーんと戻されて嬉しいけれど、1ヶ月1ヶ月がきつきつなので意味がないです。そこら辺の解決をして頂きたいです！！（女性・10～20代）
- 美幌町は少子高齢化がどんどん進んで、人口がどんどん減っています。フランスのような税金は払えませんが、少子化政策を少し取り入れて、3人目を出産したら、通院費や学校に関わる費用などの補助が手厚くなるなどのことをするといったのではないかと思います。（女性・30代）
- 少子化対策をしないと美幌の子供達が減り、美幌の将来が不安なので、子育てしやすい対策を早めに考えた方がよいと思います。税金や物価が上がり給料がアップしないので、小6までか中3まで医療費を無料にするとか、インフルエンザワクチン接種料金を無料にするとか、他の市町村のよいところを少し取り入れた方がよいと思います。（女性・40代）
- “愛するふるさと”を作ることが、まちづくりだと思います。子育て（の費用）は、小さい時より大きくなってからの方がかかります。小さい時にお金をバラまいても、親世代は低収入なので、生活費の一部となり消えてしまいます。小さい時にバラまかないで、高校生の時に何かで補助をするとか、親世代に低金利で奨学金を貸し付けるとか…。わがふるさとが私を支えてくれた、という気持ちや感謝があれば、この町に帰りたい、恩返ししたいと思うのでは？（女性・50代）
- 基幹産業がしっかりしている地域は僻地でも出生率が高いと聞いている。若い人が定職に就き一定以上の収入を得ていれば結婚、出産に向くと思う。ただ、0歳保育は民間頼みで公立の保育所も高い。共働きで収入のある家庭の方が支援さえ厚ければ第2子第3子と育てていく力があるのでは。学童、障害児・者対応の充実も必要。

<不妊治療助成>

- ☆ 不妊治療の助成。
- 不妊に悩む人が増えている。子どもが欲しくても、人工授精に1回60万など高額。出会いの場も大切ですが、不妊治療に対する補助などもあれば、子どもが欲しい夫婦などはもしかしたら美幌町に転入して来たり、また今いる美幌町民の人口増にもつながる。

<産婦人科、小児科>

- ⌘ 産みやすい環境の充実。（産婦人科、婦人科の充実）
- ⌘ 美幌町で安心して出産、子育てができる環境をつくってほしい。
- ⌘ 産婦人科医の確保。
- ⌘ 産婦人科をもうける

- ☆ 安心して出産できるよう、各地域にも産婦人科を増やしてほしい。
- ☆ 産婦人科がないのが大きな不安です。
- ☆ 産婦人科がないのは、通院する側からすると結構な負担になっています。
- ☆ 町外まで出産のために通うのが大変です。産科が町内にあれば（特に上の子がいる場合）安心して産めると思います。まだ授乳児の子を預けて町外で産むのは本当に不安でしたし、子どももしばらく不安定で可哀想なことをしたなと感じました。また同じ思いをしてまで3人目を産もうとは思えなくなっていました。
- ☆ 町内に産婦人科を作ってほしいです。
- ☆ 美幌町に病院があるけど産科がなくなり不便です。私は1人目切迫で妊娠していることがわかり、その時は北見に住んでいたので無事でしたが2人目は美幌に産科ができてから産みたいです。
- ☆ 美幌に産婦人科を。北見や網走まで行くのは、妊婦にとって負担です。
- 子供を産んだ後の支援体制は、今まで色々な所に住んできた中でも上位だと思うが、やはり美幌町内で子供を産めない。（産科の）入院環境がない為、出産時の入院等で上の子をあずける、または短期ステイを受け入れてくれる所が無いというのは、身内がいない人にとって大変辛いところであると感じた。そういった面では、妊娠出産の際には大変な面があると思う。（女性・30代）
- 美幌町に安全な産婦人科があればいい。せつかく発達支援、子育て支援、療育病院と子どもに恵まれた環境にあるのだから連携強化し子どもを育てやすいまちとしてPRしていく。
- 民間の産婦人科を作ってほしい。
- ☆ 産婦人科の常勤医師の配置。
- 町立病院の産婦人科は休診状態であり、医師の退職などが見受けられる。必要な医療を身近に受けられる環境づくり。
- 小児科の数が少なく安心して通院できる病院が美幌にはない。

<出生人数に応じた支援>

- もっと子供に対する支援が必要。高齢化していて福祉関係の支援が充実しても、子供に対する支援がないとますます高齢化になると思います。例えば、美幌在住で子供を出産したら5,000円、2人目は1万円、3人目以降は3万円。また、美幌町内の企業に就職したら5,000円等、子供が住みやすい町にした方がいいと思います。金額が少なくても、やらないよりはやった方が他の地域と差ができますし、何か他の地域がやらない事をやっていかないと、町としても衰退していきただけだと思う。（男性・10～20代）
- 結婚祝い金のようなものなど人口増加に係るものに対しての助成があってもいいのでは。
- 子どもが産まれた家庭には出生人数に比例した奨励金をあげて人口を増やす
- 子供たちへの助成金等の支給（第2子～50万円、第3子100万円の支給）
- 子供が2人以上いる家庭の教育費、医療費等の手厚いサポートを充実させて職場は美幌町でなくても、美幌町で子育てしようと思わせることが重要
- 医療費等の免除などの経済対策を実施するのであれば、よくある第3子無料ではなく、第3子がいる家庭は第2子（又は第1子）から無料など。とする方が2人いれば、3人目も産もうとつながる。
- 子ども3人目が産まれた家族については、医療費、学費等、高校卒業まで免除するといったような町独自の取り組みをする。1家族当たり子ども2人だと人口はプラスになっては

いかないので、3人目というところに注目している。

- 3人目を出産した家庭に、2人目分から補助制度や助成制度を活用できるようにするなど、2人子どもがいる世帯が3人目にトライしやすい環境をつくる。
- 子ども3人目以降祝い金などの創設。
- 第3子以降出生報償金。夫婦二人で二人の子供を育てて±0、3人目以降は社会に多大な貢献となる現代、100万円程度の報償金を出しても良いのでは。
- 子ども4人目からの世帯に対する助成。(保育料減免、給食費減免、公営住宅家賃減免など)
- 子ども4人目からの世帯に対する施策(保育料減免、給食費減免、公営住宅家賃減免などあらゆるサービスに対して減免措置などを実施する。)
- 子だくさん家庭に毎月お米を5キロ支給。子どもが4人以上いる家庭に支給。子どもがたくさんいる家はお米がすぐなくなるので、すこしでも家計を応援する。
- 高学歴社会が現実である中、日本の高校を超える教育費は多額であり、保護者の負担感は相当なものであるため、負担軽減策を講じることによって少子化対策になるのではないか。

<子育てを学ぶ、意識啓発>

- ◆ 子供のイベント等楽しく利用しています。とても子育てしやすい町だと思います。教育・子育て等で有名な人を講演でよんで下さい。
- 学校では保健体育はあるが育児の仕方、楽しさについては教えてくれない。育児が大変だという意識ばかり広まっている。若い世代に育児は楽しいことだと知ってほしい。赤ちゃんの扱いについても学べる場がほしい。
- 親子関係が希薄になってきたり親子の時間が少なくなっているので、大切さや関係を築けるような講演やイベント、授業内容などしていく。

<仕事と子育ての両立>

- ☆ 親の仕事場からの助けも必要。仕事をしていない人の方が少ないのだから、各会社へ国が子を持つ親のために(支援、働きかけなどを)してほしい。
- ☆ 子どもを育てるために両親ともに働ける環境があるといいと思います。小さい子どもを預けるところがあれば、数時間だけでも働ける人はいると思います。お金があれば子どもが多くてもと思っている人もいると思います。企業内保育が理想だと思います。
- ☆ 仕事と子育てが両立できるよう、職場に育児休暇や産休制度、幼稚園など預かってもらう施設への費用が少なければいいと思います。
- ☆ 美幌は多いほうだと思いますが、働きたいママさんのサポートがもっと充実していれば有難いと思います。
- ◆ いつも子供たちをみて頂き感謝しています。もしわがママを言えば、もっと働きやすい環境を作って頂きたいです。
- ◆ 旦那の勤務時間が長く子育ての負担は大きい。男性も子育て参加しやすい労働環境にしていきたい。
- ◆ 男親も女親も育児休業は取りにくい。
- ◆ 産休、育休を取得することに対して「子供が出来ることは良いことだ」といいながら2人目、3人目の取得になると「また休むんだ」という声を聞くことがある。(特に男性から)制度の創設だけではなく、職場などの考え方など意識改革も必要では？
- 働く女性でも子供を産みやすい・育てやすい環境をつくるために、日曜・祝日の託児を無

料もしくは低価格で受けられるようにする。

- 母親が働きやすい環境を整備するための長時間保育の実施
- 残業の廃止（家庭時間の充実）
- 共働きしやすい環境づくり。（児童館・託児施設・企業も赤ちゃん同伴出勤体制など）
- 男性の育児休暇をもっと活用できる雇用形態へ。
- 父親が育児に参加し、母親を育児から一時的にでも解放する施策として、「おかあさんも休みたい日」を制定し、その日に子どもと父親と一緒に遊べるイベントを実施。

<母子保健>

㊦ 保健師さんは親身になってくれるので有り難い。「お兄ちゃんは元気ですか」と声をかけられるなど、きょうだいのこと覚えていてくれて嬉しい。

❀ 父子手帳をつくってはどうか。

- ◆ 希望する母親だけでも良いのですが、母親にも健康診断を受けられる機会があればいいなと思います。子どもの健康ばかり考えていて自分自身の健康はないがしろです。

<子どもの医療費>

⌘ 子どもに対する医療費控除年齢を上げる（現在は3歳までとなっている）。せめて小学校入学前位までにしてほしい。

☆ 小学校に入学するまでは医療費全額負担にしてほしいです。

☆ とても良い町だと思うのですが医療費は小学生まで（無料で）お願いしたいです。空港も近く便利なので良くなりそう。

◆ 小学生になったとたん医療費の負担が大きくなる。小学卒業までは0.5割負担にならないものでしょうか。

◆ 小学校6年生まで医療免除してほしい。中央保育所などの季節保育所を通年にしてほしい。保育料をもっと下げてほしい（保育園）。

◆ 医療費が小学生から3割になるの、少し高いかなと（他の地域が違ったことがあったので）。

◆ 医療費免除、せめて小学校6年生まで1割とか負担を少なくしてほしい。

⌘ 子どもの医療費を中学三年生まで無償化し、子どもを産み育てやすい町にする。

⌘ 出産から義務教育終了までの医療費無償化。

☆ 医療費は中学生まで無料にしてほしい。

☆ 他の町のように、中学生まで医療費がかからないなどしてほしいです。

☆ 津別町や大空町と比べて保育料や医療費の助成が少なく、子育てにお金がかかると思います。せめて医療費だけでも中学生くらいまで無料になってくれると助かるのですが。

☆ 津別などのように、中学校卒業まで医療費無料になると少しは安心して子育てできると思います。

● 中学までの子供の医療費の無料化を考慮して頂きたいです。（女性・50代）

● 中学生（義務教育）まで医療費の無料化など思い切った施策をすべき。（男性・70代以上）

○ 中学3年生まで医療費助成。

⌘ 高校生までの医療費無料化。

❀ 高校までの学費無料。

- ◆ 生活のために就労していますが、一定の収入があるため様々な手当を受けることができなくなりました。子どもの病気のため、毎月の病院受診は欠かせない状況で、医療費の負担も大きいです。子どもの医療費助成の拡大には様々な課題もあるようですが、美幌町でも検討を、お願いしたいです。
- ◆ 小学校へ入ると、大人と同じだけ病院代がかかるのが辛い。本当に辛いです。具合が悪くても病院に行かず周りに感染したり悪化しているという小学生をよくみます。教育とはまったく関係ありませんが、これは本当にどうにかならないものか。学童にいつか高学年の子も入るということでしょうか？ 1～6年までの子が同じ空間にいるのはキツいと思いますが・・・先生の目も行き届かなくなるのでは？
- ◆ 水痘やおたふくかぜ、インフルエンザワクチン等予防接種の無償化。
- 近隣の町では、子供（小学生）の医療費が助成されるようになったと聞きました。美幌町でもぜひ、取り組んでほしいと思います。（女性・30代）
- 少し前まで違う町に住んでいました。そこは子育て支援が充実していて医療費が中学生まで無料でした。保育料は美幌の方が1万円以上も高く、子どもにお金がたくさんかかるようになりました。大きな町だから子育てもきっと充実しているんだろうなあ～と期待を持って転入してきましたが、期待はずれでした↓（女性・10～20代）
- 予防接種の「おたふく」「水痘」のワクチン代を町で負担してほしい。今は自費なので。（女性・30代）
- 子供の医療費を中学校くらいまで免除。人口が減少しているので、子供を育てやすい環境づくりに力を入れてほしい。（男性・40代）
- ✪ 魅力ある町。医療の負担を少なく、他の地域にないことがある。
 - 出産、子どもの医療費に対する助成
 - 子ども医療費の年齢要件の拡大など
 - 医療費を高校生まで無料化など、この世代に最大限の投資をしてもよいのでは
 - 乳幼児医療の対象年齢の引き上げが全国的に行われている。先行自治体の施策の目的等に準じ実施することにより定住促進効果も考えられる。また、財源は福祉施策の充実として消費税の地方配分を活用できるのではないかな？
 - 子どもにかかる医療費助成の充実を図るため、地域の医療機関と連携をして取り組みを行っていく。

<保育料>

- ✪ 保育料を安くして、経済的負担を援助する。
- 保育料が高く、子供も沢山ほしいが、経済的にもムリ。（女性・30代）
- 子育てに関しては保育料が高い。都市ならともかく…という額。自衛隊を基準にしないでほしい。（女性・10～20代）
- 毎月幼稚園費用の負担が大きすぎる。（大空町は月々5,000円）（男性・40代）
- 保育料の免除。何人目以降免除など。
- ◆ 保育園の保育料が高い。
- ◆ 保育料が高すぎる。兄弟がいる場合など免除を考えてほしい。
- ◆ 幼稚園の料金が安い
- ◆ 子どもの年齢に関係なく人数で保育料を減額

- ◆ 認可外保育施設の助成金。働く母親としてとても助かりますが、2歳までではなく3歳以上も助成金があれば助かります。
- 保育所の増設や保育料を下げる（所得に応じてだが、幼稚園に比べて高すぎると感じる）
- 0歳から子供を預けて働けるように、更に預ける費用負担も軽減できると共働きも助かると思う。
- 保育料の無償化
- 保育料や教育費の援助、助成
- 保育料の減額など、この世代に最大限の投資をしてもよいのでは
- 保育費負担軽減。共働き夫婦で保育園に子供を預ける場合、保育料の負担が大きすぎる

<保育園、幼稚園>

- ◆ 先生達は皆さんしっかりされていて、とても安心して預けさせて頂いています。
- ◆ 保育園が少ないと思います。
- ◆ 保育施設を増やしてほしい（認定こども園等）。
- ◆ 待機児童が多すぎる。多すぎてなかなか入れないと、仕事だって見つからない。美幌は季節保育園が多く、冬期の間、休みなので仕事できない。町立の保育園を増やして欲しい。
- ◆ 土曜日も 18:00 までにしてほしい。
- 町の保育園の終了時間が 18 時までで、延長保育がないのがありえない。働いている夫婦にとっては住みづらい町。小学校の学童も時間が早すぎる。延長してほしい。北見では児童館で 19 時までみてくれるから、親も安心して働ける。改善してほしい。（女性・40 代）
- 以前住んでいた町は保育所の時間が 7:30~19:00 で、女性が働きやすく、保育所が拡大し幼稚園が減少という状態でしたが、美幌は逆です。美幌では、小さい子がいる親は、フルタイムの正職員で働くことはとても難しいです。もっともっと子育てを充実させていけば、子どもが増えて若いパワーがたくさん実る美幌町になると思います。（女性・10~20 代）
- 開始時間を 7:00 から
- 保育所の時間延長
- 24 時間保育園の設置
- ☆ 休日保育をしてくれる施設があれば、働いている親にとってはとても助かると思う。
- ◆ 休日の開所
- ◆ 保護者が体調不良時の送迎のサポート、時間を 16:00 までにしてほしい。
- ◆ 季節・へき地保育所を通年にしてほしい。
- ◆ 町で 0 歳児保育
- 0 歳、1 歳児の保育所利用の枠を広げる、リフレッシュでも託児をしてもらえる。（子育てにイライラするという保護者がいるため）
- ◆ 保育所では、ほとんど教育的な事がなく、少ないので、スポーツや英語、体操など地域での気軽に参加できるような催しなどに期待したいです。
- ◆ 結婚する前は他町に居ました。その保育所は給食でしたので、美幌町の保育所も給食になればいいなと思います。
- ◆ 保育所のお弁当について、主食（ごはん）だけ持参にはならないのでしょうか。へき地保育所は、お弁当持参と聞いたので。
- 保育所の充実など仕事を持った親も育てやすい仕組み作り

⌘ 保育士の賃金を上げ、保育士を増やすことにより、保育園が足りない状況を改善する。

- 臨時保育士の賃金アップ。臨時保育士の賃金を毎年又は、3年に1回とか少しずつでも上げてほしい。臨時保育士がいないと保育園が運営出来ないのが実態なので。臨時保育士という言葉が、一般的にはお手伝いの聞こえる所もあるので、仕事とのギャップは大きいとも思われます。

⌘ 町所有の空施設、活用されていない施設を利用して、あるいは民間施設を借り上げて保育園とし、待機児童をなくし、両親が安心して仕事、暮らし、子育てできるような支援をする。

- 就職先確保にあわせた保育施設の整備

- 保育園施設の改修。総合計画に0歳児保育の推進とあるが、現在の施設では実施することができない。未満児保育のニーズの高まりもあるので、定員増も視野に入れた改修を検討してみても。0～3歳児保育を充実させれば、子育て世代の若者も暮らしやすく、人口増にも繋がると思われる。課題は、改修に当たっての予算的な面と、保育士の人員確保など。

◆ 親が病気等で保育所に送り迎え出来ない時に有料で良いので送迎バスがあるとすごくありがたいです。

◆ 町立の幼稚園があれば良いと思います。保育所や保育園は働いている人の為、そうでない人は利用料の高い幼稚園（私立の）しかないのも、もう少し気軽に保育（教育）できる町立の幼稚園をまた作って頂きたいです。

- 町外出身者同士の夫婦も多く、子供を預ける場所が少なく、安心して子育て出来ないため、町外出身者への優遇処置を図り、町外からの人口の流入を図ることも考慮すべき。

☆ 夫婦共働きを助ける保育

<学童保育など>

⌘ 放課後児童クラブの設置。

⌘ 子どもを預けられる年齢を幅広くする。

⌘ 学童支援を高学年まで支援。

☆ 学童が小3までなのが負担です。特に子どもがやりたいものでもなく、無理に何か習い事に通わさなければならぬというえ、兄弟で学童と一緒に迎えに行けないため、仕事側の調整をしなければならないのが今後の悩みです。

◆ 高学年になっても学童保育が利用出来たらいいなと感じています。

◆ 共働きなので4年生になったら放課後が心配。高学年も学童が利用できるようにしてほしい。

- 学童保育を小学校6年生までにする。

◆ 学童が月額ではなく、月数回でも利用できるようなになればいいと思います。

◆ 学童利用時間をもう少し遅くまで伸ばして欲しい。スクールバスの地域を検討して欲しい（美濃地区）。

◆ 学童保育は8:30からではなく8:00前から預かってほしい。会社がある時は困る。保育園は夜6:00までなのに学童は5:30迎え時間が早いと思う。

◆ 開所時間を延長してほしい（主にAM8:00～18:00）。

◆ 土日祝日も開所してほしい。

- 学童保育を18:00までにする。

◆ 学童の時間を18:00までにのばしてほしい。

- ◆ フルタイムで働くとなると、17:30 までに迎えに行くことが難しく、小学校低学年時から、17:00 に徒歩で帰宅させていました。おかげで本人は成長できたかもしれません。しかし、悪天候のことになれば、冬は暗くなるのが早く、15:00～15:30 に学童から出ることも多いため、親の心配、待ち時間（家での）が長いことによる子供の不安感は尽きることがありません。学童保育が 18:30 まで利用できれば（せめて 18 時）ありがたいのにとの気持ちでこの数年を過ごしました。全てとは言わなくとも、大きな街の良い所を少しでも取り入れてもらえば、と勝手ながら望んでいます。
- ◆ 学童も保育園と同じく 18:00 まで開所してほしい。17:30 までだと間に合わないので、いつも遅れるのが申し訳ない。夏季・冬季休みの間も、8:30～ではなく、8:00～にしてほしい。土曜日も 8:00～だと子供を一人で外に置いて出勤しなくてすむのでありがたい。
- ◆ 学童保育所は 8:00 から開けてほしい。祝日も開所してほしい。土・日・祝日が休みではない仕事の人も多くいると思うので。もう小学生になってしまいましたが、保育園についてですが、土曜日も 16:00 までではなく 18:00 までやっていてくれたら助かったかと、今思います。フルタイムで働いている親だと 16:00 以降、預け先を探さないといけません。学童を高学年でも利用可にして頂ければとても安心です。ぜひ検討してほしいです。
- ◆ 仕事の関係で学童保育所の時間を、もう少しのばしてほしい。
- ◆ 学童が 17:30 までというのは、今の時代ありえないと思います。小学校入学を機に、仕事がどうにもならないと町外へ引っ越す方もいるほどだということを町は理解した方が良いと思う。また、どうにもならず暗い中、一人で歩いて帰らせ、一人で待たせていることもあるので、何かあってからでは遅いと思う。
- ◆ 公務員の時間帯ではなく、一般企業の時間帯に合わせた時間の設定、休日の設定が必要。
- ◆ 学童保育の時間を土曜日朝 8:00 からにして頂けると利用しやすくなります。
- ◆ 学童も土曜日の始まる時間が遅く、冬の寒い中、子供が待っているし、終わりが 5 時半だと仕事帰りの迎えに間に合わず、利用しづらい。
- ◆ 休みの日の学童保育の始まる時間が、学校が始まる時間より遅いので、学校が休みの日の朝が困ります。
- ◆ 学童保育所の利用希望内容は、母親の就労場所や勤務時間によって変わる。
- ◆ 学童は低学年だけと聞いている。できれば高学年になってからも、みてもらえればと思います。土日祝日、休みとはかぎらない職についているためカレンダーどおりの休みでないようにならないか？とも思っています。
- ◆ 学童保育所の平日閉所時間、また長期休暇期間の開所時間について、ご検討頂きたいです。特に実家が町内にない場合、家庭の負担が大きいです。
- ◆ 夏休み、冬休みの学童の始まる時間を 8:00～とか早めてほしい。仕事をしているので 9:00 では間に合わず外に置いて行くことになる。その為の学童では・・・ボランティアならまだしも・・・学童費を払っているのにどうしてなのか、改善できないのですか？
- ◆ 学童保育所は、母の 17:30 迎えが難しい時が多いので、もう少し遅い時間までを希望します。現状では、4 年生からは児童センターの利用を考えていますが、振替休日で月曜休みとなった時、学童保育所を利用できたら助かるなあと思います。他市であったのですが「子供の帰宅時間に音楽が市内に流れる」というのがあり（愛の鐘）外で遊ぶ子供達（小中学生）が一斉に帰宅しているのを見て、良いなあと思いました。
- ◆ 祝日利用をしてほしい。
- ◆ 他の市町村では学童保育は無料のところもあるようですが、美幌町は無料ではない。働いているから預けているのに、保育時間が短い。利用日数により減額というのは、続けて何日ではなく、月の利用日数で半分しか利用していないなら半額にするべきだと思う。子供

の学年が大きくなるにつれ利用したがないことが多いようだが、子供が楽しめるように工夫して充実して過ごせるように取り組んでほしい。

<児童センターなど>

- ◆ 児童センターが遠くて利用しづらい。町内の中心又は各学区内にあればいい。
- ◆ 上の子が小学校3年までの学童利用、その後力ギっ子です。コミセンの方に足を伸ばし放課後を過ごしていますが、遠い！各学校くらいに児童館必要！冬なんて行けない。
- ◆ 児童館で持参したお弁当が食べられる日が増えるといいなあと思います。昼 12:00 の送り迎えが出来ないので 9:00～15:00 で通してくれると利用可能な日もたくさんあるので。小学生の子供は行きたがるが、送り迎えが出来ず利用出来ない事が多い。
- ◆ 日祝日もやってほしい。
- ◆ 児童センターの内容工夫。自宅や学校からはかなり離れているため、利用したくても難しい。(平日) 一方で社会教育(児童が参加できるイベント)等が充実していると感じます。
- ◆ 児童センターが町の中心部にないので不便。
- ◆ 学童が各学校にある様に、児童センターも各学区内に欲しい。子供が通える距離にない為、利用出来きていない。
- ◆ 子供が楽しく安全に遊べる場所をもっともっと増やして下さい。センターが遠くて行けない子もいます。
- ◆ 児童センターの情報が少ない。もっと小学生に向けて発信するべき。
- ◆ 今まで学童を利用していましたが、子どもが児童センターに行きたいという希望が強く、ほぼ毎日児童センターに通わせていただいています。できれば日曜日や祝日でも、子どもの預かりがあればとても有難いです。又病児の場合、自分が仕事を休むしかないため網走で行っているような、ベビーシッター制度があれば良いのにと常に思っております。
- ◆ 4年生になると学童保育が利用できなくなり、ひとり親の場合、子供を1人で留守番させないとならないので、大人の目の届く施設等があればいいと思います。
- ◆ 夏休みや冬休みなど、主に学校が休みとなる場合の行き先。学童などが通えなくなった年齢の子の集い先が必要。各学校の区域毎にあると、歩いて行ける距離なので望ましい。働く家庭が多く、一緒に居てやりたくても仕事で居てやれない状況のため、ボランティアで子供たちと関わりをもってくれる大人が居てくださると安心できる。学校の教室で体験学習なども期待したい(通いなれた場所での実施)。
- ◆ 子供達が集まって遊ぶ場所が少なすぎるので、センター以外(しゃきプラ)など小学生が遊べる場を増やしてほしい。
- ◆ 仕事をすると学校が終わってからの習いごとや活動をさせたくても送り迎えができない。もし、この送迎があればすごくうれしく思います。
- ◆ 仕事をすると習い事の送り迎えができない。人通りも少ないので夕方の子供の一人歩きも危ない。色々なスポーツや文化的な行事も美幌には多くあるが、子供だけで行ける距離ではない事も多く、親や祖父母の協力が無い家庭の子供はほとんど参加できていない。せっかくの行事が親のサポートなしでも行けると子供も遊ぶチャンスに恵まれるのでは。

<病児、病後児保育>

- ☆ 病児保育をしてくれる施設があれば、働いている親にとってはとても助かると思う。
- ⊗ 病後児保育ができるところが町内にないので、北見まで行かなければならない。
- 保育園や幼稚園などで、障がい者や発達障がい、自閉症などの対策もあれば安心できる親

が増えると思います。この内容があれば町外から来る人もでると思います。(女性・10～20代)

- 病院内託児・保育所。核家族化が進み、子育て世帯では急病の場合の子どもの預かり場所がない。簡単な手続きでとりあえず子どもを預けられる場が必要である。新たな施設を作るのではなく現状でできる場所が無いか検討すると同時に、保育士の雇用拡大が必要。
- ◆ 病児病後児保育は働くことが当たり前になってきた母親たちにとって、必要性はとて高いのではないかと思います。
- ◆ 一時預かり（安価で）、病気の時みてくれる。
- ◆ 病児保育は、本当にあった方がいいと思う。町でも、色々な支援があると思うが、働いていないお母さんや土・日・祝日が休みの人向けのものがほとんどだと、つくづく思う。色んな職種があって、休みもバラバラなのだから、土・日・祝日が休日を中心に物事を決めないでもらいたい。病児保育は、どうしても休めない場合など、あると本当に助かる。色んな人の色んな状況、職種、パターンをもっともっと考えた方がいいと思う。子育て支援って、どんな人に何を基準に決めているのか、私には全然わからない。
- ◆ 病児、病後児保育については、年齢が上がると共にニーズは減ってきていますが、幼児期からそのような場がないことに、とても苦しい思いをしてきました。我が家は特殊なケースかもしれませんが、働くことが当たり前になってきた母親たちにとって、必要性はとて高いのではないかと思います。

<一時預かり等>

- 子育て支援をもっと広げてほしいです。預け先がない（親が離れている為）など困ります。(女性・10～20代)
- 働くお母さん方の子供達を預けられる場所を増やしてほしい。(学童などちょっと高めなので)(女性・30代)
- 預かり保育等の充実。
- ☆ 町によるファミリーサポートセンター。民間のマザーズと似たもので、無理かもしれませんが。以前、砂川でファミリーサポートを利用して便利だった。
- ◆ 子育て支援施設での一時預かり制度に助けられています。月数回利用しています。
- ◆ 急用時に昼夜問わず預けられるところがあると良いと思います。
- ◆ 時間単位で預けられる、託児所があるといい。夜間 21 時位まで預けられる、託児所があると学校保育園の話し合いとか役員の仕事が参加しやすい。
- ◆ 24 時間の保育施設や託児所、ファミリーサポートがあればいい。
- ◆ リフレッシュ等で気軽に子供を預けられる場があると嬉しい。
- ◆ 短時間、低料金で預ける場所がほしい。
- ◆ 簡単な手続きで低額の料金で預かってくれる所があれば良いと思う。1 日の預かりなら、給食が出ると良い。
- ◆ 私は預けられる所があるのでいいですが、預ける人がいない人が美容室や歯医者などの時に、気軽に預けられる所があればいいと思う。
- ◆ 緊急時の無料の託児所。
- ◆ 町で主催している色々な教室やスポーツ、しゃきっとプラザでのプール教室等を利用する時、どうしてもという時の 1～2 時間の一時預かり制度があると助かると思います。今もありますが、少なく利用しにくいです。

- ◆ 子供が小さいうち冬場の雪かきに大変な思いをしました。仕事上、家が大変な時に主人が不在になり、子供達も小さく、雪かきに外へ出る間、誰も子供達を見ている事が出来ないで、昼寝の短い時間でしか雪かきが出来ません。お年寄り家庭の雪かきサポートだけでなく、小さい子供のいる、旦那さんの不在で困る家庭へのサポートも必要だと思います。
- ◆ 予防接種など預けることができない場合、短時間でも一緒に病院に行ってくれたり、買い物につき合ってくれたり、週に1日もしくは2週に1日利用できるチケットというか、クーポンみたいなものがあるといい！と思う。預けるのではなく、自宅で1時間みてくれるなどであれば、普段出来ない所の掃除やゆっくりお風呂に入ったり。買い物も子供2人つれて行くと両方ぐずるとどちらかおいてとかが出来ないで無理してでも運ぶことになる。腕が痛くなったり、肩コリやギックリ腰になる率がふえる！しゃきっとで託児してもらって、しゃきっとで整体が出来るとか、なかなか美容室に行けないから、しゃきっとでカットしてくれるとか！
- ◆ がん検診などでも子育て支援センターの一時預かりが出来ればいいと思います。
- ◆ 病院やスーパーなどに託児室などがあれば嬉しい。
- ◆ 職場に託児所があれば、仕事復帰がもっと早くできるのと思うし、子供が病気になっても近くで見えてくれると思えば預けやすい。
- ◆ 休日も一時預かりをしてほしい。
- ⊗ 土日や夜間に子どもを預かってもらえるところがない。
- ⊗ 町の行事やしゃきっとプラザ、サークルなどに参加したいと思うが、託児がないと難しい。託児があればと思う。
- 休日や夜に子供をあずかってもらえる所がない。緊急時、あずかってもらいたい時に困る。（というか、あずける所がないので行動できずにいる。）（女性・10～20代）
- 転勤などで美幌に来た人達が困らない様に、1時間からでも子供を預けられる場所があればいいなと思います。そういう場所があれば親も助かります。実際、ストレスで病気になってしまった方を見ているので…（女性・30代）
- 3歳未満の子をもつ親が丸1日ゆっくり過ごせるように、無料で月1回預かってくれるサービスがあればいいと思う。（女性・30代）

<親同士の交流、相談窓口>

- ◆ 美幌町では幼児相談など気軽に利用できる場所があるので相談しやすくありがたい。不自由していない。
- ◆ 自分の子育てがこれでよいのか…と常に不安です。子育て経験者や保健師さんに話を聞いてもらえるだけでも気持ちが楽になったりします。
- ◆ 役場やしゃきっとへ行けば話を聞いてくださる方はたくさんいるのかもしれませんが…でもなかなかきっかけや勇気がないと行きにくいところだと思います。母親同士が交流したり仲良くなれるような場の提供があると友だちも増え、なやみを相談できる人も増え、いいような気がします。
- ◆ 定期的に年齢別で相談会などがあると相談に行きやすいと思います。
- ◆ 気軽に相談出来る（愚痴も含む）機会を増やしてほしい。
- ◆ 話を聞いてもらえる環境があれば強力なサポートになると思います。
- ◆ もう少し気軽に相談できるスペースを確保してほしい。
- ◆ 保健師さんや役場の人が声かけ（家を訪問、電話等）して欲しいです。

- ◆ 病院に行くほどでも無いけど何か気になる・・・って時に気軽に電話して相談出来る専門の所があれば助かる。
- ◆ 積極的な声かけや集まる場があれば、1人悩んでいる人も自分から相談などしやすくなるのでは。
- 育児・家庭相談窓口の充実
- 子育て支援について保育園や学童保育などでフォローする。
- ◆ 子供を遊ばせながらお茶会など出来る所。遊ばせる所は飲食がダメな所が多いので、中々のんびり友人などと話しながら子供を見られる所が無いので家にこもりがちになってしまう。
- サークルや母親学級など母のふれあいの場を作る
- 育児についての情報、育児の楽しさを広める場が必要
- 子育てする親が集まり相談したりできる場所やイベントを増やす。

<子育て支援センター>

- ℞ 子育て支援センターは有り難い。
- ◆ 子育て支援センターはとてもいい所だと思います。
- ◆ 美幌は子育てに対して支援センターの人もすごくいい人で子供の検診も行きやすく、不安も聞いてくれたり心強い。
- ◆ 週に開放する回数をもう少し増やしてほしい。
- ◆ 土日祝日の子育て支援センターの利用できる日が、月に1度の週のみでは少ない。ハイキング等の行事に参加してみたいが、仕事をしているため参加できない。
- ◆ イベントの定員の増加、いつも同じ時間帯のため時間が合わない人はほぼ利用出来ないの
で時間帯を少し変えてみるといいと思う。
- ◆ 子育て支援センターが古くて汚い印象を受けるので、子供を連れて行きにくいので、もっと
広くてきれいな施設があると嬉しい。双子だと親が一人で見ているのが大変で連れて行き
にくいので、先生をもっと増やしてもっとサポートしてもらいたい。
- 子育て支援センターの建設。既存の施設はコミセンに併設されていて狭いし、休日開放が
月1回と利用しづらいので。

<地域での支援>

- ◆ 親族、友人、知人等、少し話す事は可能だが、全てを話す事が出来る環境ではないので（小
さい町でつながりが近く密な為）町内と関係の薄い方が客観的な指導が出来る様な環境が
あると助かります。
- 子育てや教育のための地域組織の構築。地域とのつながりが希薄化していると感じます。
育児不安を解消するために、子育てサークル活動を充実させる必要があると思います。身
近な地域の助け合いの精神に基づいた相談、情報提供が必要だと感じます。
- 子どもの預かりボランティアなど
- ご近所ベビーシッター制度（休日等にも仕事がある親が近所の方に子供を預けられるよう
な制度。預かる方にも町から手当を支給する。）ご近所付き合いが希薄な時代だと感じるの
でそのきっかけになるような制度が必要。中高年層の子育て経験を活かせることが出来ま
すし、子どもも地域の方との交流が増えます。ただ近所の方が信頼のおける方なのか判断
するのも難しいですし、手当を町がどこから捻出するのかなど課題はあるかと思っています。

- 一時預かりや託児ママさん、幼稚園・保育園・学童保育のニーズは高いが人材や場所が少ない。ボランティアや専門職の育成や採用、専門職のアイデアを生かした新しい施設設置や既存施設の利用などしていく。
- 保育園、一時預かり保育（ファミリーサポートセンター）、保健師事業等育児家庭に関わる機関が互いの情報を共有しながら、育児家庭に関わっていくことが大切。
- 広報や回覧板などでどんな町民がいるかを周知し、声を掛け合ったり、顔見知りを増やしたり、協力しあえる環境作りをしていく。また、身内や近所から始めたり広げていく事で職場にも理解・協力してもらえるようになれば良いと思う。
- 働きたいけど保育園や幼稚園に子どもを預けることができない、短期間でいいから気軽に子どもを預けたいという方もいるので、そういう子育て中の親を応援できる制度があればと考えている。たとえば、退職されて時間に余裕のあるご高齢の方々を集めて、託児についてレクチャーし、ボランティアという形で託児を引き受けてもらえるような取組ができたらと思う。ご高齢であっても女性の方は育児のプロなので、お母さんたちも安心して子どもを預けることができると思うし、また子どももご高齢の方と関わる機会が増えていろんなことを学ぶこともあるのではと思います。

＜公園、子どもの遊び場＞

- ◆ 美幌は子供が集まって遊べる所があるので良いと思います。子育て支援センター、児童センター、しゃきとプラザなど。
- ✂ 巨大な公園。小さな公園をポツポツつくるよりも、大きな魅力的な公園をつくる。
- ☆ 雨天でも子どもたちが身体を使って遊べる施設がない。みどりの村などの施設、敷地があれば、中標津の夢の森公園的な施設をつくることは可能ではないでしょうか。
- ☆ 子どもが休みの日でも遊べる場があれば、わざわざ遠くに時間をかけて行かなくてすむ。子育て中のママさんがたまにゆっくり休めるように、子どもを預ける施設があればいい。子どもが遊ぶ大きな施設や気軽に預けられる施設があれば、安心して出産・育児できると思う。
- ☆ 中標津や紋別のように道立公園など施設があるとうれしい。
- ㊦ 子供や若者が遊べる場が少ない。
- ✂ 雨が降った時に遊べる場所がほしい。博物館は小さな子どもにはちょっと難しい。（町外だと、北見にある「オホーツク木のプラザ」や網走にある「道立オホーツク公園」、津別にある「道立津別 21 世紀の森」、中標津にある「道立夢の森公園」のような）
- ◆ 室内遊具施設（雨天でも公園のように遊ぶことのできる施設）の設立。
- ◆ 安心安全に子どもが遊べる場所を増やしてほしい。
- ◆ 公園の設備が悪い。
- ◆ きれいな公園（明るい）が少ない。
- ◆ 近くの公園がボロボロだったり、公園なのに何も遊ぶ遊具が無かったりして困っています。家にこもる子供にはなってほしくないので、ぜひ公園を充実させて下さい。
- ◆ 夏、外で水遊び出来る所を作してほしい。青山南公園やみどりの村は坂になっていて小さい子供は危ない。例えば、北見の香りゃんせ公園などのように浅くて平らな所があると嬉しい。公園の設備をもう少しきれいで柏ヶ丘公園みたいなバケット型のブランコを増やしてほしい。
- ◆ 屋外のスポーツする場所をもっとキレイにしてほしいです。小さい子連れでも安心して過ごせる様にしてほしいです。

- 子供達の遊べる所が少ない様に感じます。思い出の無い町に、人は戻って来ないような気がします。(男性・40代)
- 子供が遊べるような屋内施設があると良いと思う。美幌に子供と遊んで過ごす場所がないため、結果町外へ足を運んでしまう。大きな施設があると町外からも美幌へ来ると思う。子供がいる世帯は、子供中心に休日等を過ごすので、より美幌町内でも過ごせる環境があると良いと思う。またそのような施設等は1ヶ所にかためてほしい。(男性・30代)
- 児童施設を作る。(男性・30代)
 - 子どもから大人まで利用できる大きな公園等の施設ができて欲しい
 - 道立の大規模公園の誘致。(近隣では十勝、中標津、紋別にあり、美幌にできれば近隣からの来客が期待できる。)
 - 子どもが天候に左右されず安心してのびのびと遊べる場所を増やすなど
 - 子供や親が安心して遊べる、施設や遊具の整備。
 - 幼児期に通える全天候型の施設整備の検討
 - 町には児童館のような子どもたちが下校後や休日に自由に遊べる場所が無い。遊びを通して、学ぶこともたくさんある。
 - 子どもや家族が休日に遊ぶことができる施設。近隣町村の子ども、家族が、休日遊べるような場所をつくる。休日など、北見市等へ出かけ、美幌で過ごしていないため。
 - しゃきっとプラザのプレイルームのような、簡易な小さい子があそべる場を町内の各地に作る。例えば、林業館の2階に木のおもちゃの遊び場など。
 - 子どもが健全に育つ環境作り。三歳以下向けの遊具設置や安全点検の強化をして親子で遊べる公園を充実させたり、親子で参加出来るイベントを企画して親子が楽しむと共に友達作りも出来るように進める。健やかに育っていく為に関係機関の連携を図り、子どもの成長を共有理解したり発達を見守ったりしていく。

<歩道、除雪>

- ◆ ベビーカーや三輪車などで散歩していると、けっこう歩道の段差など道の悪い所があり、足の悪い人も含め大変だろうと思うことがけっこうある。
- ◆ 道路(歩道)の段差が非常に多く、ベビーカーなど少し大変。
- ◆ 道路の段差が非常に多くベビーカーは大変、除雪で道路が狭くなって危ないので歩行者でも安心して通れるようにしてほしい。
- ◆ 子供が自転車に乗ったり、小さい子をベビーカーにのせて歩けるように、町内の歩道を少し整備してほしい。
- ◆ 子供と通園などで送り迎えをする際、車が無い為、自転車や徒歩での移動となるので、これから雪が降り出すと、道路も狭くなって危ないので、除雪の方を歩行者でも安心して通れる様な環境にして下さい。

<教育、給食>

- ⌘ 子どもの教育の充実。
- ⌘ 子育てする中で教育費の支援。
- ⌘ 家族とのコミュニケーションをとる時間の増加。(残業が少なくなる等)
- ⌘ 高校の間口を維持する。(平成30年～3減)。逆に増やす！！
- ⌘ 教育の充実。専門学校の教育の充実→生徒の増加→職員の増加→経済が潤う。

- ⌘ 学校の誘致。(大学、専門学校など)。英才教育を受けられる、天才児を育てられるまち。
- ⌘ (小学校ぐらいから) 特定分野に特化した教育(IT、観光など。美幌に来たら学べる) → 研究室、塾、寮など。
- ⊕ 教育に力を入れる、お金をかける、夢のある教育(学校、社会、地域)。
- ☆ 中学生などで学力が遅れていると追いつくのが難しい。母子家庭などが増える中、家庭学習に限界があるように思います。地域で学びたいと思っている子どもへの支援があると良いと思う。元教員の方(定年を迎えた方)などが教えるなど。
- ◆ 人とのふれあい、動物とのふれあいなどを教育として取り入れてほしい。
- ◆ 土曜日も小学校・中学校の授業を行ってほしい。学童は親が行ってほしくても、子供があまり行きたがらない。
- 町独自の教育システムを導入することで、この町に住めば教育環境が劇的に変化するなどの魅力をつくる。子育て環境として美幌町が良いと思えること
- 学習環境の整備により他の地域よりも住みたいと思える
- 子どもの教育レベルの向上。ここの学校に行くと子どもの教育に良い、学力が向上するなど良い情報があれば、美幌町に転入してまで通わせたいと思う親がいるのでは。優秀な教職員を美幌町へ赴任させる。又は町が敏腕教師を雇用する。
- 時間はかかりますが、若者の意識改革(教育)に取り組むべき
- 学校(教育分野)の質の向上(北見市の高校に進学するなど、卒業後も地元に残らない)
- 高校のレベルアップ
- 美幌町は、幼稚園、保育園から中学校までの十数年間で、英語をマスターできるようにするなど、美幌で教育を受けた子は、これが優れているといったものを作る。
- 奨学金をもっと出す
- 高校卒業までの教育費助成
- 中学生(義務教育)まで学校給食費の無料化など、思い切った施策をすべき。(男性・70代以上)
- ◆ スクールバス利用地区を拡大してほしい。
- ◆ 豊岡線のスクールバスに美幌地区の子どもも利用出来る様に希望。
- ◆ スクールバスにのれるバス停などをどんどん作り、安心・安全に通学できれば小学校から遠くても仕事にうちこめてよいと思います。美富の団地よりも遠い家は考えてほしいです。
- ◆ 野崎に住んでいますが、結構距離もあります。スクールバスはないので、スクールバスがあると心配じゃない。嵐の日に親に迎えに来よう連絡があったが、けっきょく一人で帰された子がいた。危ないから迎えに来いと言っていたのに、あの嵐の中一人で帰したのは、ものすごく逆に危ない気がしました。その時なぜ体育館等で待たせてあげるなどしなかったのか？これで津波の時の幼児が死亡したように、何かあった時、学校や町は責任がとれるのか？
- 学校施設の充実
- ◆ 特別支援教育を充実してほしい。
- ◆ 小学校(特に美幌小学校)、中学校、高校共に特別支援教育の充実のために外部の専門機関の活用を積極的に利用して欲しい。(特に医療分野の支援)
- ◆ 特別支援教育について～学校に入ると「教育支援計画」の作成があるように、産まれた時からの記録(出生児の様子、乳幼児検診の所見等々)を町と教育が協力し、“育ちの手帳”(教育の母子手帳のようなもの)を作成してほしい(障害関係なく)。幼少中高の引継がスムーズ

ズにいくこと、将来（進路）を考えていく時、社会に出て行く時等々、役に立つ資料となると思います。（うまく書いていませんが・・・）美瑛町に、すとりーむ「美瑛町子育てファイル」というものがあり、それを参考にして頂ければ分かりやすいのかなと思います。

<関連施設>

- ☆ もっと子どもに対する施設にお金をかけるべき。お年寄りの施設が多い。
- 図書館・こども園(又は保育園)等の教育施設の充実。未来を担う子どもたちの環境整備を目的とする。既存施設の跡利用(取り壊しを含めた検討)、私立幼稚園等との協議調整が課題。
- 子育て支援関係の施設の集約。施設が古くなり、在園児が少なくなると保育施設を整理してコンパクトにするか、逆に支援センター等施設をまとめて一つにする。保護者のニーズが複雑または多様過ぎて1箇所では保育士の手が足りなくなってしまうのですぐにお互いを助け合えるようにする。夜間保育に関しては、現状の保育施設では、保育しづらい所もある。

<ひとり親支援>

- ◆ 母子家庭に対する金銭的負担が大きすぎる。保育園も満額、母子手当もなし。将来が不安になり、転居も考えてしまう。もっと優しい市町村はいくらでもある。
- ひとり親家庭に指定のゴミ袋を月に1回支給。
- 母子家庭の支援。すべてカットは大変。もう少し違う支援を。
- 私的な問題のため離婚防止にまで踏み込むことは容易ではないが、相談できる場所を設けるなど対策ができないか。離婚後のひとり親家庭への支援は、扶助費にとどまらず、現実的な子どものサポートが必要である。特に祖父母など親族の援助が受けられない場合は、生活面・学習面いずれにおいても第三者による環境整備の支援が必要

<情報、窓口>

- ✂ 子ども支援をしているがPR不足。
- ✂ 町内にある公園の情報（場所、設置されている遊具、写真など）を集めて地図に掲載した「マップ」をつくってはどうか。子育て支援センターに貼るなど。
- ✂ 子育て支援に関する情報が少なすぎる。子育て広場などを利用できる方は良いが、働いていたら行けない。支援の情報が入らず、一時預かり等、困った。（女性・30代）
- ◆ もう少し町の子育てに関する情報等わかるようにしてほしいです。
- ◆ 毎月の広報にもっと、子育てのサポート利用法など、もう少し書いて欲しい。
- ◆ 子供をつれて利用できる飲食店などわかるものがあると助かる。
- ◆ 行政のサービスやイベント事の連絡があるとうれしい。
- ◆ 緊急時に子どもを預けられる施設、個人があれば教えてほしい。
- ◆ 生後6ヵ月から入れる認可保育所や仕事・通院以外での用事で預けられる施設、発達など子育ての相談窓口を分かりやすくしてくださると助かります。
- ◆ 幼稚園等へ入園させたい場合に受入れがあるか否か、また就学時などの節目が近づいてきた場合の情報提供、障害を持った子を持つ親として経験がないことばかりで何を聞けば良いのかわからない場合のフォローをしていただければ大変助かります。美幌町は幼稚園の数が少ないので自身で調べることができましたが（地元なこともあり）転入してくる家庭のためにも上記のような資料があれば良いのではないかと思います。

- ◆ 年齢別に子供と一緒に参加できる教室、イベントがあると良いと思います。地域で、どの場所でどういったことを行っているのか条件面、時間、内容をもっと詳しく情報提示して欲しいです。
- ◆ 子供が産まれてから、私用も含めて預けられる所がいまいち分からず、1番最初の子の時は特に大変でした。子育て支援センターは預かっていただけるらしいのですが、金額とかも細かくわかるように最初の健診とかで教えていただきたいと思います。
- ◆ ファミリーサポートのような、身近に利用できる場の情報と、また、自分も将来ファミリーサポートになれるように協力できる方法、資格などの情報をもっと知りたいです。
- ◆ 事業がたくさんあって良く分からなくなりそうです。細かく分けすぎと思うので、総合支援センターみたいな形で1本化してもらいたいです。
- ◆ 保育園に入園したいが、就職が先か、保育園の入園が先か、不明だったため、ハローワークに聞いたが、「連携がないからわからない」との回答だった。ハローワークと保育園の入園について連携または入園～就労サポートまでを一本化するとスムーズになるのではないのでしょうか。

<その他>

- ☆ ごみ袋、有難いですが、サイズをもうひとサイズ大きいほうが使える。オムツはすぐいっぱいになってしまうので。
- ◆ 燃えるゴミ収集を週2回来て欲しい（特に夏場）。オムツの処理に困る。
- ☆ 頑張っているのに、何だか貧乏。子育てにはお金が必要です。
- ☆ 子どもを一人前にするまでの経費を考えると、義務教育中の経費を削減されても、その後にかかる金額を考えると難しい。世の中が子どもに与える影響や、現代の親が与える子どもへの教育や品々、やはり、自分の子どもだけが遅れる、持っていない、それを回避するためには、子どもは一人で良いと考える人が多いため、出生数が増えることはないと思う。
- ☆ 他の町での暮らししたことがあります。美幌町は子育て支援がうすくて驚きます。医療費の負担、もう少し気軽に一時保育を頼める場所の確保、子育てサークルの支援など、もう少し踏み込んだ支援をしてほしいです。
- ㊦ 子どもを対象としたスポーツ教室（キッズビート）は子どもが喜んで参加している。
- ◆ 寒い時期が長いので、大人も子どもも含めて、体を動かすことのできる施設（いろんなスポーツが出来る大型のもの）があるとよいと思う。年間を通して、たくさんイベントを用意してくれるので子どもたちも積極的に参加しています。
- ◆ 親子参加行事では、子どもが「小学生以上」の行事が多く、参加したくてもできないものが多く感じる。小学校に通い始めると、子供同志で遊ぶ事が増えるので（それも社会性を身につけるために大切）就学前に親子参加できる行事が増えるとうれしいです。
- ◆ イベントや支援センターの活動等、いつも同じ時間帯でその時間が不都合な人には、ほぼ利用できない状況を少し変えてみると良いのではと思う。
- ⊗ 子どもの身長と体重を量れるものを、公共施設においてほしい。
- ⊗ 子ども2名が乗れるよう、椅子を固定する自転車は限られており、高い。利用する期間は限られているので、貸出をしてくれるところがあると嬉しい。
- ⊗ ベビーカーやベビーベッドの貸出ができる場所があると良い。
- 町の施設は、せめて小中高生は無料にしては（女性・50代）
- ◆ 自治会、学校の役員を免除してほしい。
- ◆ 他の市町村からみても、美幌町は特に子育て支援が行き届いている様に思えます。

- ◆ 美幌は子だくさんの様な気がします。3人4人のお子さんがある家庭も沢山あるし！そう思うと、環境に恵まれているのかなぁと思います。
- ◆ 美幌町の子育て支援は充実している方と思います。利用する側からすれば”もっと、もっと・・・”と欲も出てしましますが、子供が幼稚園に入るまでは大変有難いものでした。ただ、子育て支援センターが月曜日にお休みの時は他施設（図書館など）を利用したかったです。しゃきっとプラザのプレイルームは利用しづらい印象がありました。

3 農業

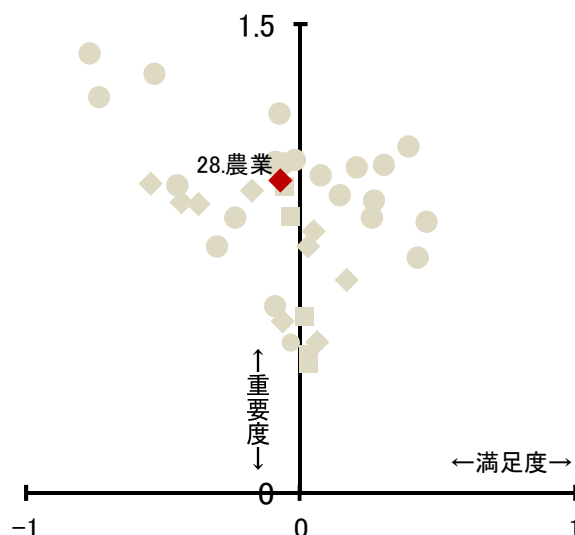
(1) 関連グラフなど

【問2】暮らしの満足度・重要度

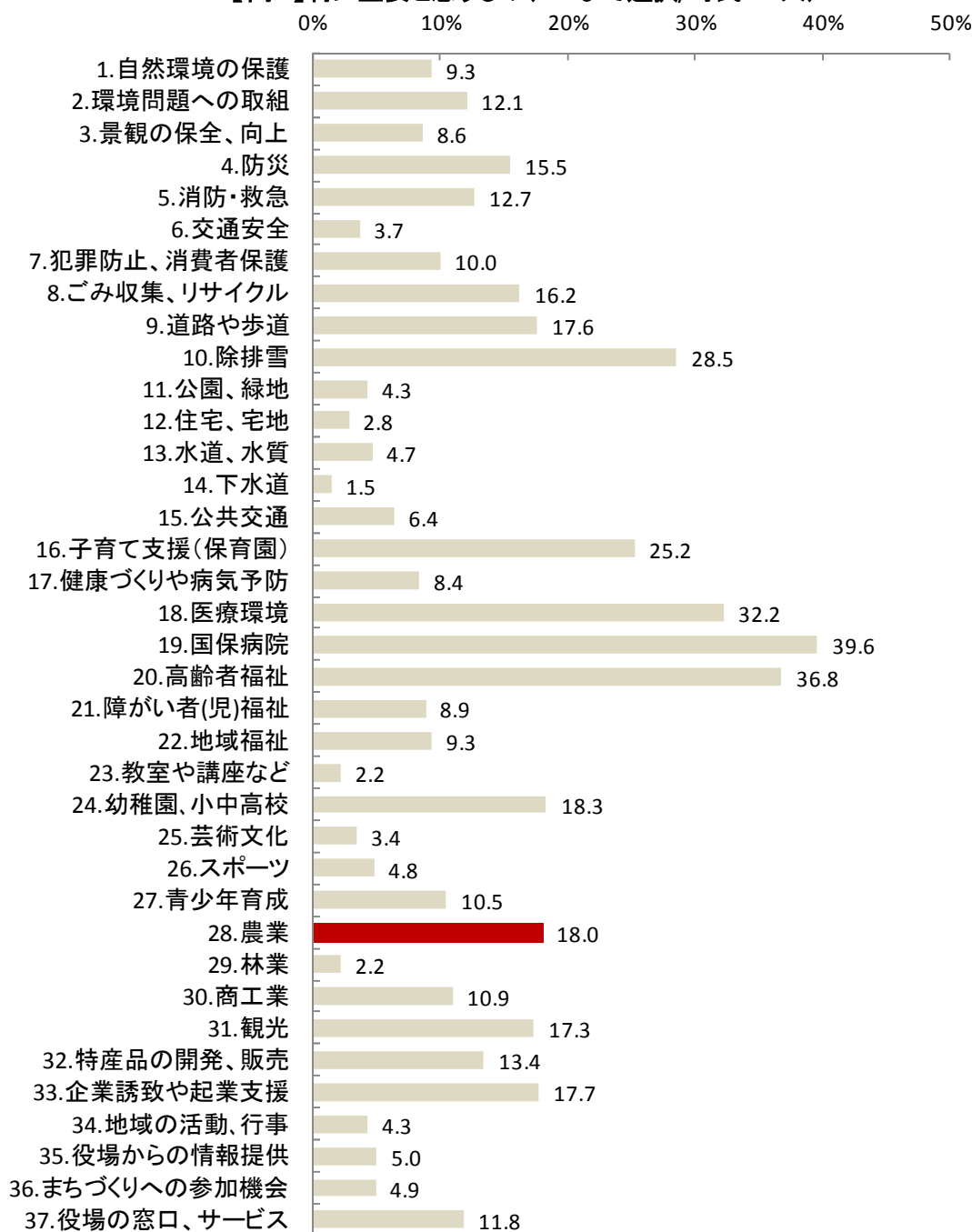
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問3】特に重要なもの

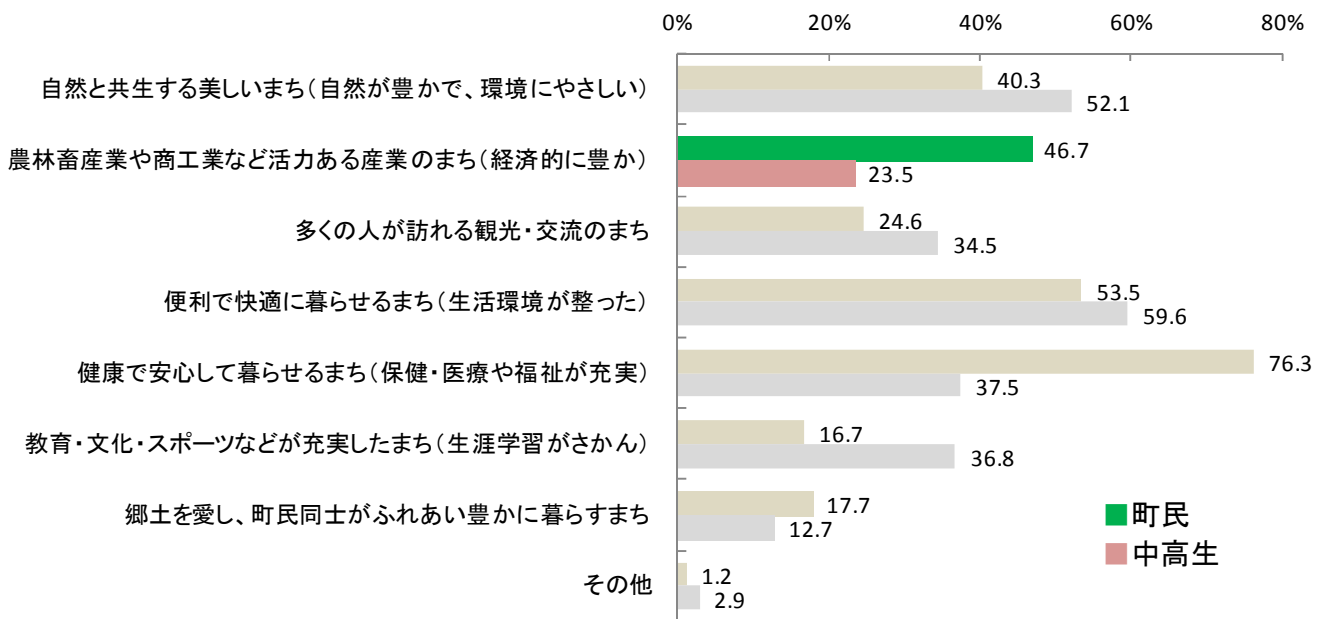
問2と同じ37項目の中から、
特に重要と思う項目を
5つ選んでもらった位置づけです。



【問3】特に重要と思うもの(5つまで選択/町民813人)

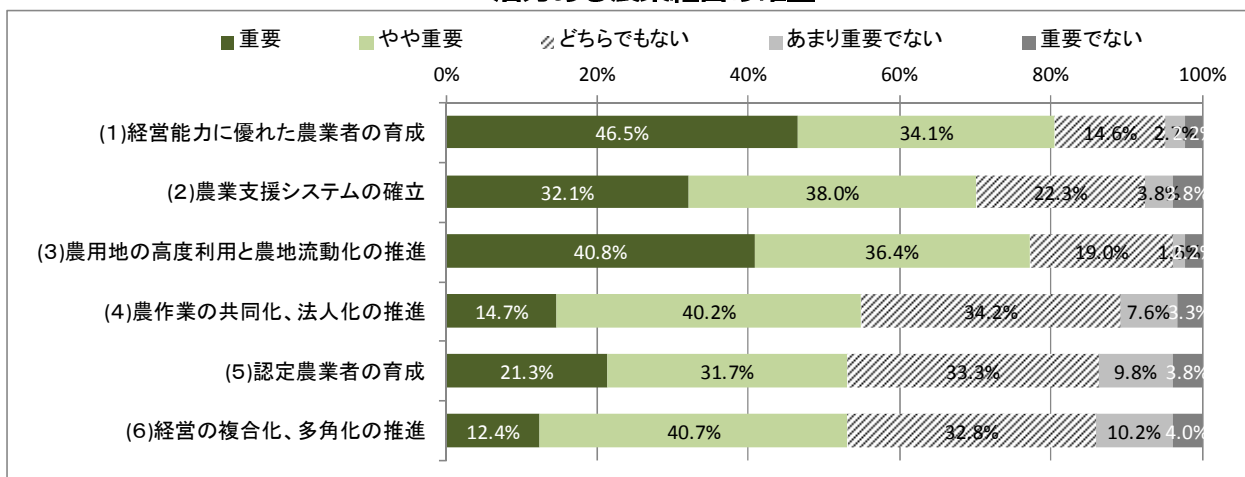


【問6】将来の美幌町に望む姿(3つまで選択/上段:町民、下段:中高生)

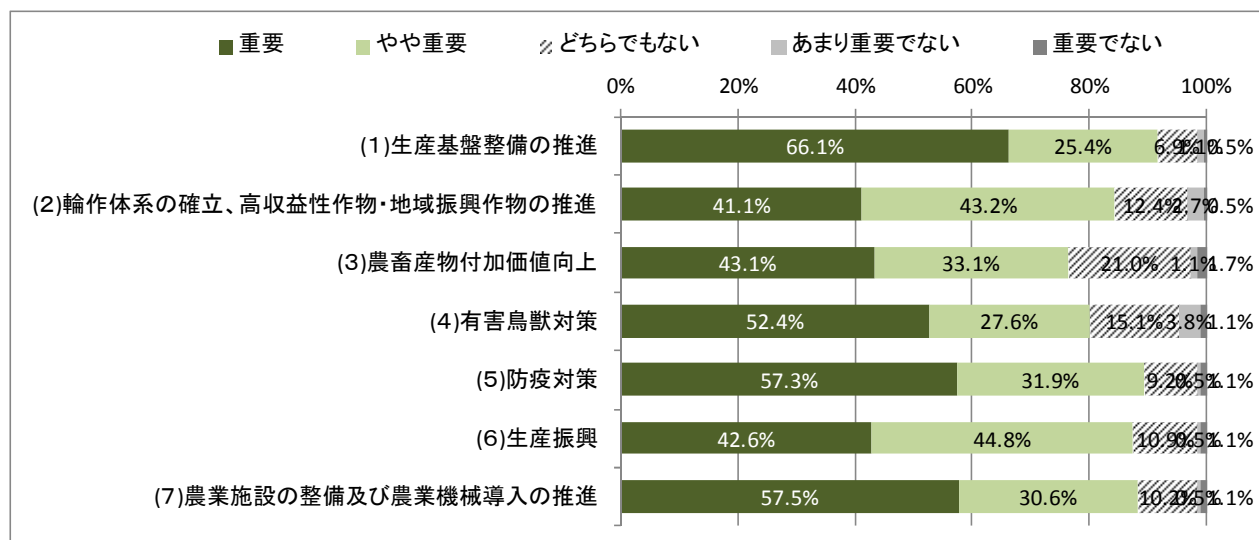


農業者へのアンケートより (H23.10) ○これからの美幌町農業における取り組みの重要度

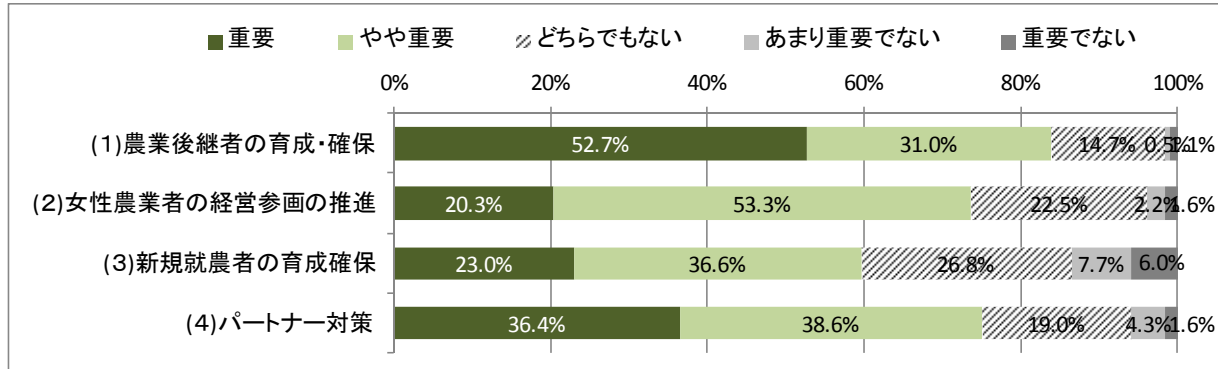
1 活力ある農業経営の確立



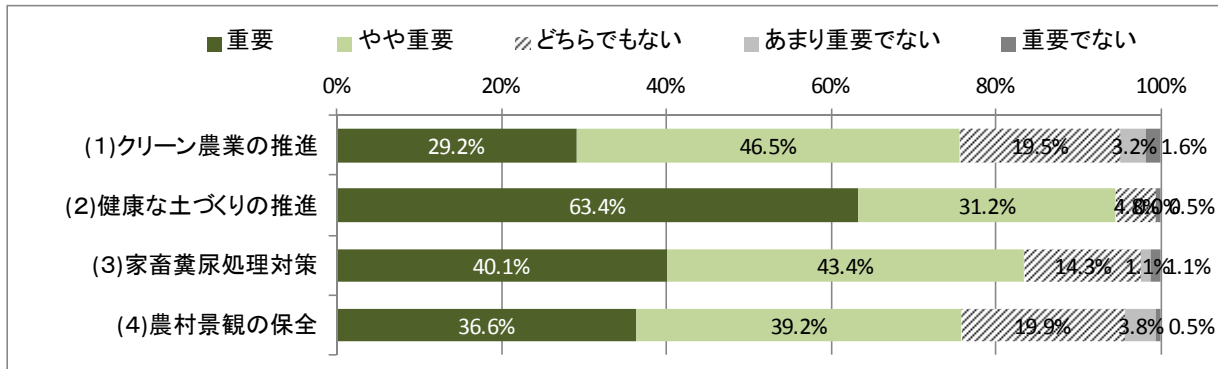
2 生産性の高い農業基盤の確立



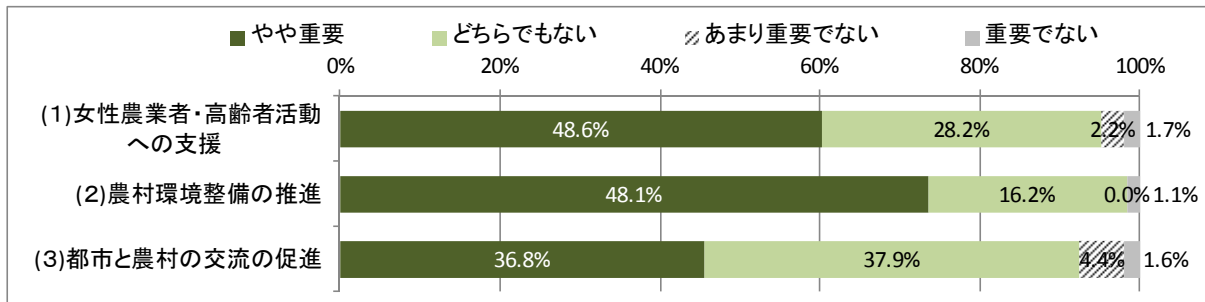
3 農業の担い手の育成・確保



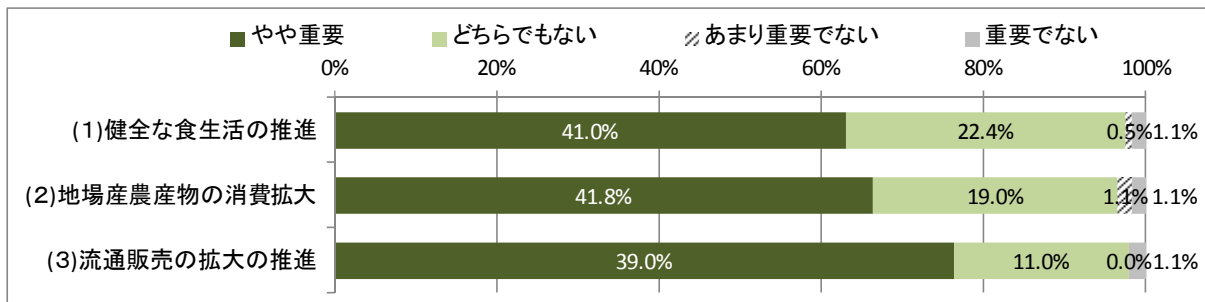
4 環境と調和した安全で安心な農業の推進



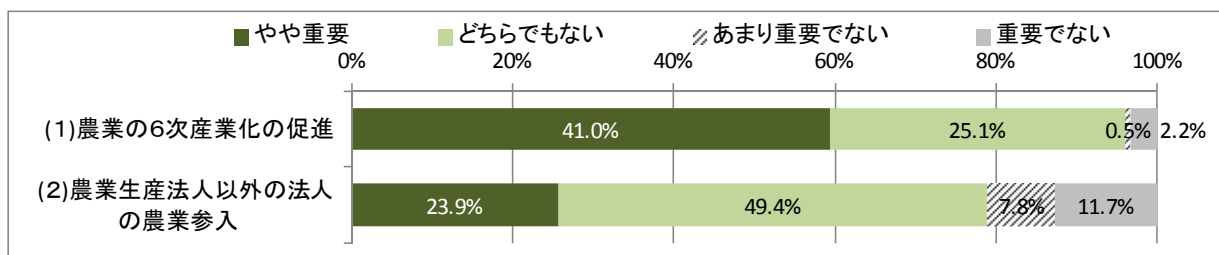
5 快適でゆとりある農村づくり



6 豊かな食生活への対応

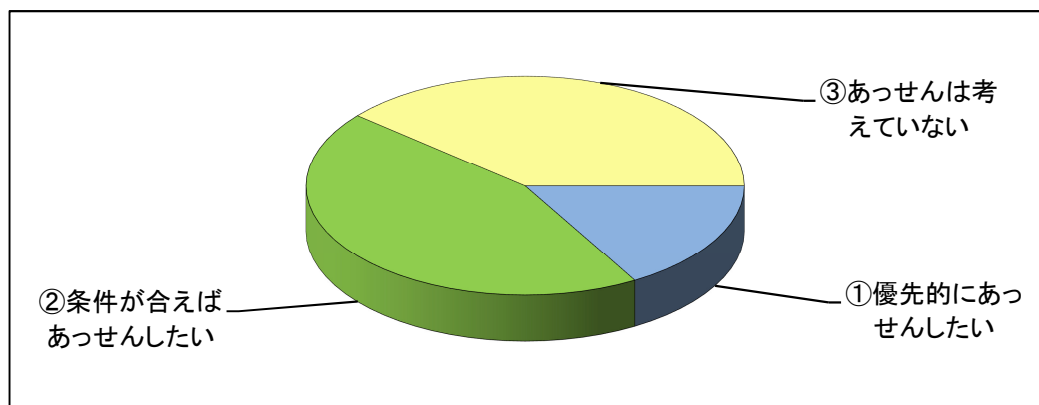


7 農業を核とした新たな産業展開



農外からの新規就農者への農地のあっせんについて、どのように考えていますか
 [農業者へのアンケート（H23.10）※経営を縮小、やめたい（法人の解散）と回答者した経営者 18 名]

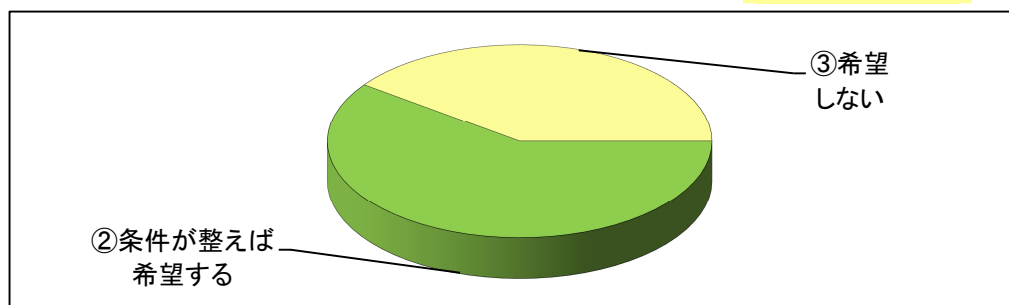
①優先的にあっせんしたい	3 経営体	(16.7%)
②条件が合えばあっせんしたい	8 経営体	(44.4%)
③あっせんは考えていない	7 経営体	(38.9%)



農外からの新規就農者への経営継承（農地・住宅・機械・施設等を一括して引き継ぐ方式）
 について、どのように考えていますか

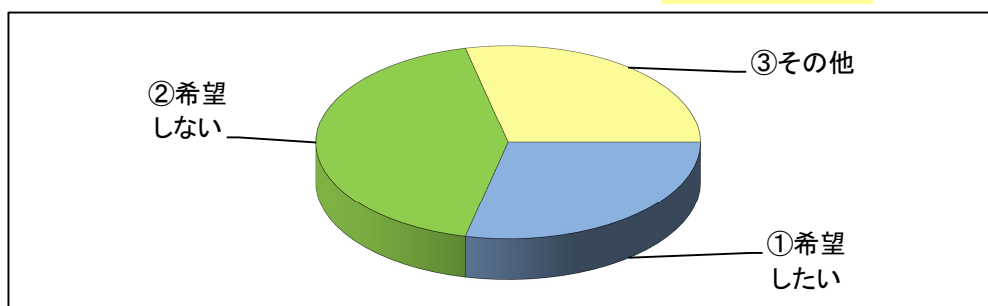
[農業者へのアンケート（H23.10）※経営を縮小、やめたい（法人の解散）と回答者した経営者 15 名]

①希望する	0 経営体	
②条件が整えば希望する	9 経営体	(60.0%)
③希望しない	6 経営体	(40.0%)



経営継承方式について、詳細な説明又は個別相談を受けたい希望はありますか
 [農業者へのアンケート（H23.10）※上記で「条件が整えば希望する」と回答した方 7 名]

①希望したい	2 経営体	(28.6%)
②希望しない	3 経営体	(42.9%)
③その他	2 経営体	(28.6%)



(2) 意見、提案

- ：町民 ○：職員 ☺：小学生 ♪：中高生 ☆：幼稚園・保育園利用者
★：まちづくりフォーラム ⌘：『びほろ』みらいまちづくり会議
☼：子育てサークル ㊦：自衛隊美幌駐屯地
◆：子ども・子育て支援事業計画策定にかかるアンケート、農業者アンケート

<農業の振興>

- ★ 農業人口を増やす！大規模経営の推進ではなく、手間のかかるアスパラなどをどんどん推進し、就業人口を増やす施策を JA、行政と一体となり進める（法人化のあり方を含めて）。
- ★ 基幹産業である農業の積極的な法人化による雇用の創出、農業関連従業者の町内での生活に関する優遇制度の導入、新規就農の積極的な受入れ、地産作物の町外への売り込み（特産品の育成）
- ★ 農業者とつながったまちづくり。個別の取り組みに力のある農業者が必要。農家民宿、特産品の開発。
- ★ 家族経営（農業など）してらっしゃる方の暮らしが潤えば、子どもの数が増えるのかなと思います。
- ◆ 農地の集約化や合理化を進めてほしい。規模拡大や合理化を今の政治では進まず若者に活力ある後継者対策がなされていない。
- ◆ 農業者が将来に計画、希望の持てる、後継者が自分の職業に夢と誇りが持てる農政にしてほしい。
- ◆ 農業生産法人以外の参入については、企業等は採算がとれないなら、すぐに手を引く傾向があるので（例：ユニクロ、オムロン、JT など）信用に欠ける。我々もあぐらをかくつもりは無いが、この情勢に迷走しているのも事実です。食をどうしたいのか？何を求めているのか？どうしたら、ゆとりある生活を送ることができるのか？答えが出ないまま、経営をしている所もある。現在のままでは、後継者にやらせる魅力が無い。
- ◆ 美幌町は農業なしでは、絶対に発展はしない。このままの状態が続くようであれば、美幌町は第2の崩壊の町になってしまい、人口は減少、雇用はもちろん商業関係も駄目になってしまいます。町も、農協も、もっともっと真剣に取り組んでいかなければ町内全体がなくなってしまう。
- ◆ 美幌町の酪農は他地域とくらべてみても規模拡大の点から遅れている。残った酪農後継者にやる気と元気が出る農政を望みたい。
- ◆ 20代、30代で投資を実行し規模をある程度拡大しなければ、道内の他の酪農から取り残されかねないので、行政、農協等関係機関の強い支援をお願いしたい。

<農業の担い手、新規就農>

- ⌘ 就農者への助成、土地などの貸付。
- ★ 農業も後継者を残し、若い人達に夢がもてるような活動ができる場所があればと思います。
- ★ 離農された方の土地や住宅の提供と農業者の育成制度。
- ◆ 農業人口を減らさない政策を。

- ◆ 特に人材育成の面での協力を望んでいます。
- 低農薬、有機肥料で農作物を生産するために、研究費や補助金を捻出。都会から移住する新しい農民に、そうした農業を実行してもらう
- 農業の担い手不足の解消（誘致等）と発展
- 新規就農者支援（みらい農業センターの取り組み）。
- 基幹産業でもある第1次産業の農業後継者・新規就農者の確保
- 基幹産業の「農業」を全面的に打ち出すやはり美幌と言えば「農業」ではないでしょうか。後継者対策、新規就農者対策が必要。

<農業を軸とした雇用の拡大>

- ☆ 6次産業の推進。
- ✂ 農業で若い人の雇用の場をつくる。
- ✂ 1次産業が盛んなので、さらに一歩踏み込んで、移出する前に当町で加工して出荷すれば仕事や経済が潤う。職場も増え、人口が増える。
- ✂ 1次産業から加工施設（いろいろな特産品加工の一元化）。そこで雇用の拡大、世界へアピール。世界の人口70億が加速し100億にすぐなる。
- ✂ 核となる産業の発掘と成長。美幌の特産品を加工する施設と連携。
- ◆ 町内はもとより周辺地域の食品関連企業を6次産業化にまき込み、農家が単独に6次
 - アスパラが日本一（生産量 or 品質）→生産拡大（町補助）→観光名所（直売所・販売所の増設）→生産・販売に必要な雇用確保。
 - 農業政策の充実地域の特産物を使用しての6次産業化。
 - 多少高額でも食の安全に対する需要が見込めるので、美幌町の特徴である1次産業を活かし生産・加工・販売の6次産業化を目指す。

<その他>

- 市街からちょっとだけ車を走らせれば、素晴らしい風景がたくさんあります。（みらい農業センターあたりの空は、朝も昼も夕もとてもきれいです。）そういうスポットを町民の皆さんから募集して、行ってみよう！的な案内をしたり、歩道を整備して、安全に眺められるようにしてはどうでしょうか。生活が大変な人も、お金をかけずに、楽しめる事ができたらいいなと思います。（女性・40代）
- 農道を舗装にして欲しい。隣の線は舗装になったのにずるい。雨が降る前にグレーダーが農道を削りにくるけど、余計に汚くなって車が走れたものではない。（男性・10～20代）
- 農家への働きかけ。農業の発展を町はサポートすべき。（女性・40代）
 - 農業のあり方の再検討農業問題について補助漬けにした現在の姿が正常なものなのか否か。何れは、自由化の波が日本やわが町に多大な影響を及ぼす。そのための抜本的な農業の見直しが必要。欧米の大規模な農業に立ち向かうためには、現在の姿を改め、企業化するべきだと思います。町として、従来からの農業のあり方に何らかの筋道を付けるべきだと思います。「農業はわが町の基幹産業だから守ります。」では通用しない。

4 林業

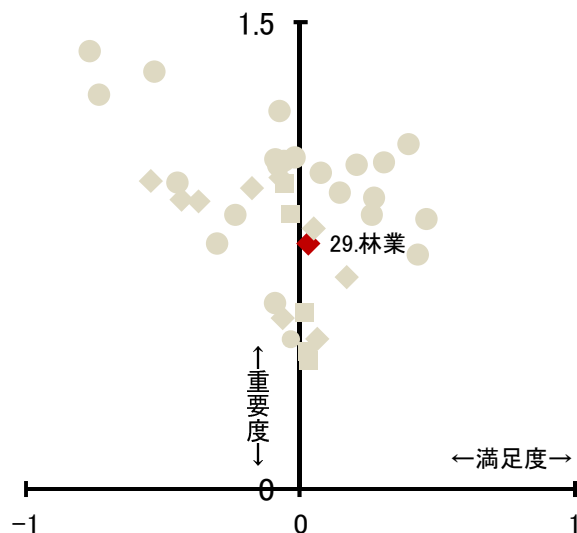
(1) 関連グラフなど

【問2】暮らしの満足度・重要度

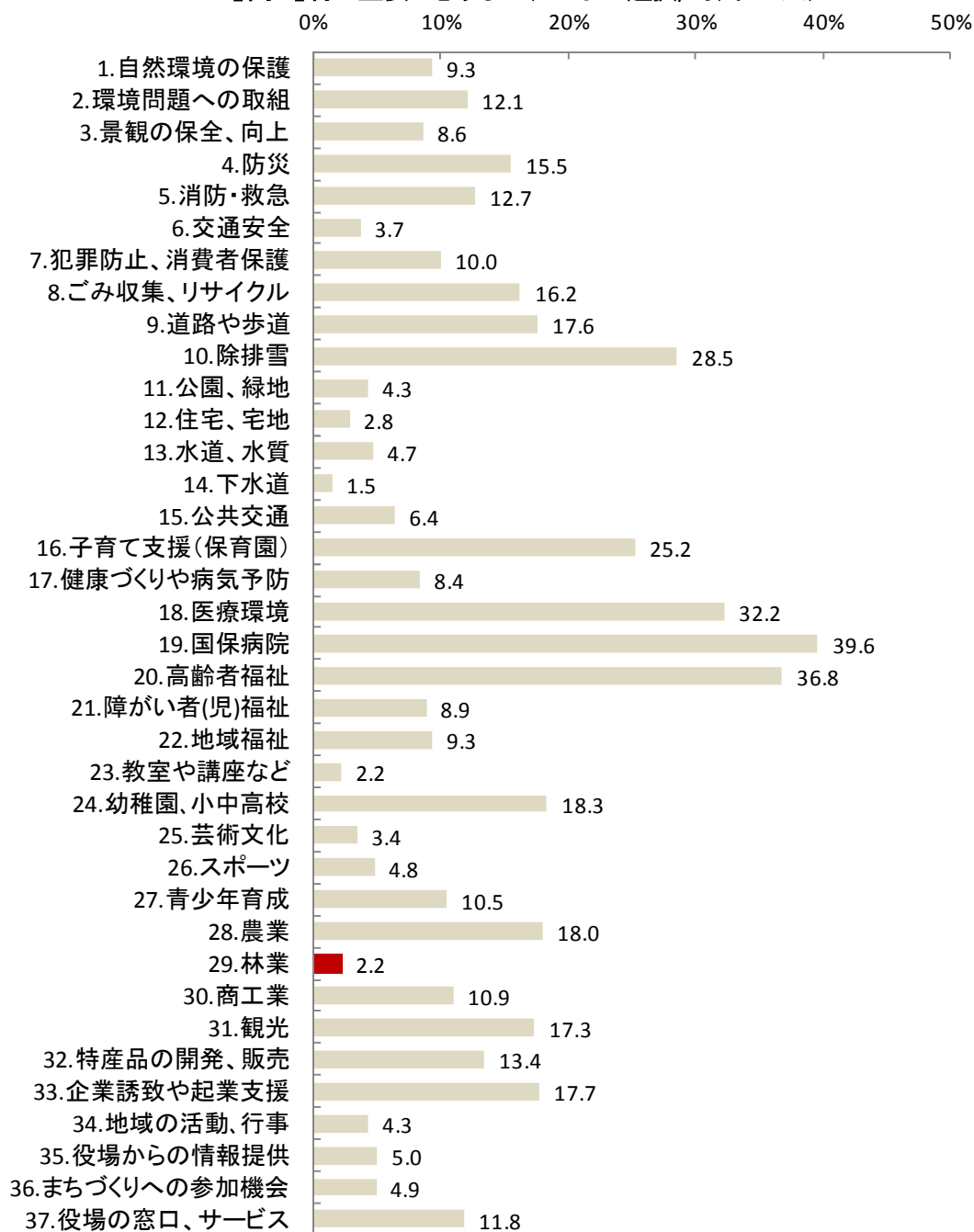
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問3】特に重要なもの

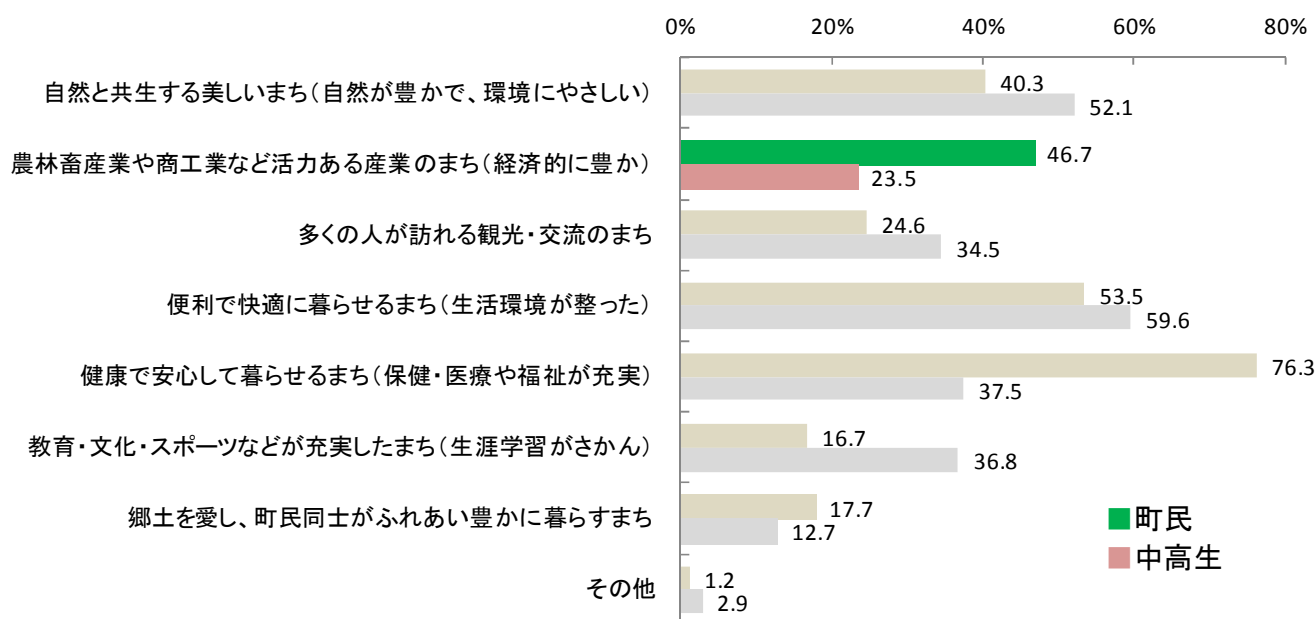
問2と同じ37項目の中から、
特に重要と思う項目を
5つ選んでもらった位置づけです。



【問3】特に重要と思うもの(5つまで選択/町民813人)



【問6】将来の美幌町に望む姿(3つまで選択/上段:町民、下段:中高生)



(2) 意見、提案

- : 町民 ○ : 職員 ☺ : 小学生 ♪ : 中高生 ☆ : 幼稚園・保育園利用者
 ☆ : まちづくりフォーラム ⌘ : 『びほろ』みらいまちづくり会議
 ☺ : 子育てサークル 🏠 : 自衛隊美幌駐屯地
 ◆ : 子ども・子育て支援事業計画策定にかかるアンケート、農業者アンケート

- 認証林普及事業・住宅リフォーム促進事業について。民間住宅以外の店舗や集合住宅（アパート、マンション）などにも範囲を拡大し、利用促進を図ることにより、更なる経済効果があると思われるので検討頂きたい。
- 認証材の活用を民間住宅以外に、店舗及び集合住宅（アパート、マンション）など範囲を拡大し、利用促進を図ることにより、更なる経済効果が現れる。
- 住宅リフォーム促進事業について、民間住宅以外に、店舗及び集合住宅（アパート、マンション）など範囲を拡大し、利用促進を図ることにより、更なる経済効果が現れる。
- 空洞化した大通りに郊外からの既存企業が町産材を使用したオフィスを建設するため、町が取得費や建設費を助成する。企業は町産材建設を推進する立場でもあるため、オープンスペースなどを作ることを要件とし、町民が将来住宅建設のためのきっかけや町産材住宅の魅力を感じることができる。また、見た目含めて大通りに木の温もりが感じられ、初めて美幌町を訪れた方への町のPRにもなり、社員が大通りを歩くことで、賑わい・活気がでてくる。
- 森林(町の 2/3～山づくり)→木資源の付加価値化(住宅・燃料)→働く場所(苗木・施業・運搬・加工・建築)+伐採跡地の植林。農地(1 万ヘクタール～基幹産業)→顔の見える農産物（アスパラ、山わさび、じゃがいもなど）→働く場所(生産・運搬・加工・販売)+耕作放棄地の活用。地域資源の地域内循環→再生エネ（太陽光・木質バイオマス・BDF・小水力）や省エネ(ヒートポンプ)の活用、循環バスの利用促進によるエネルギーマイレージの少ない「低炭素なまちづくり」

5 商工業

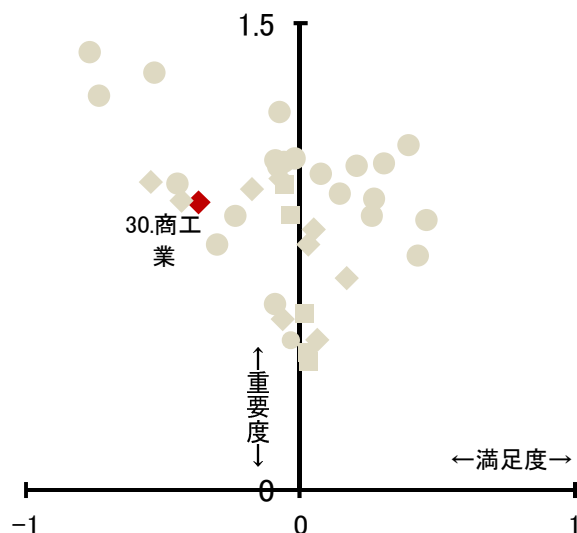
(1) 関連グラフなど

【問2】暮らしの満足度・重要度

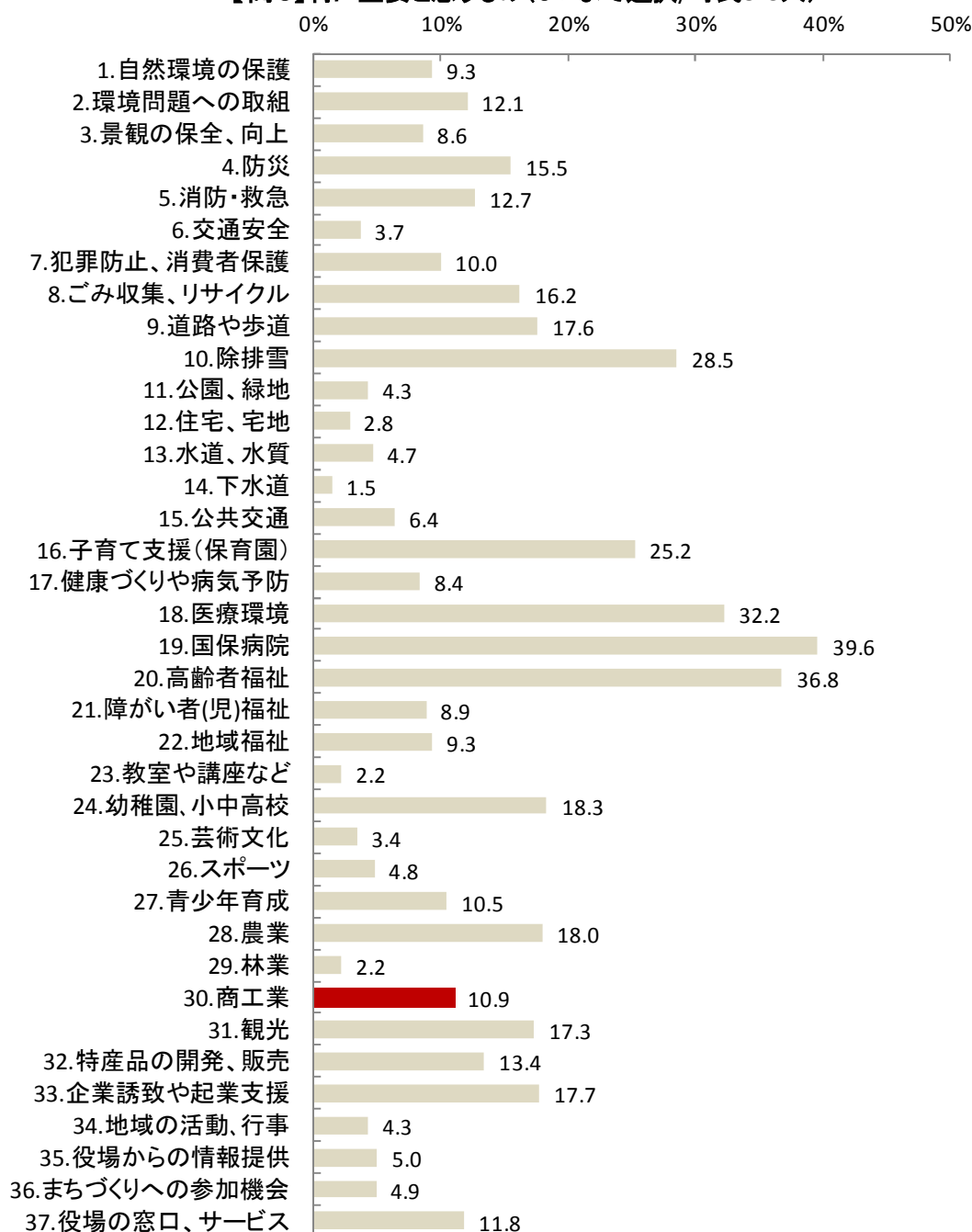
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問3】特に重要なもの

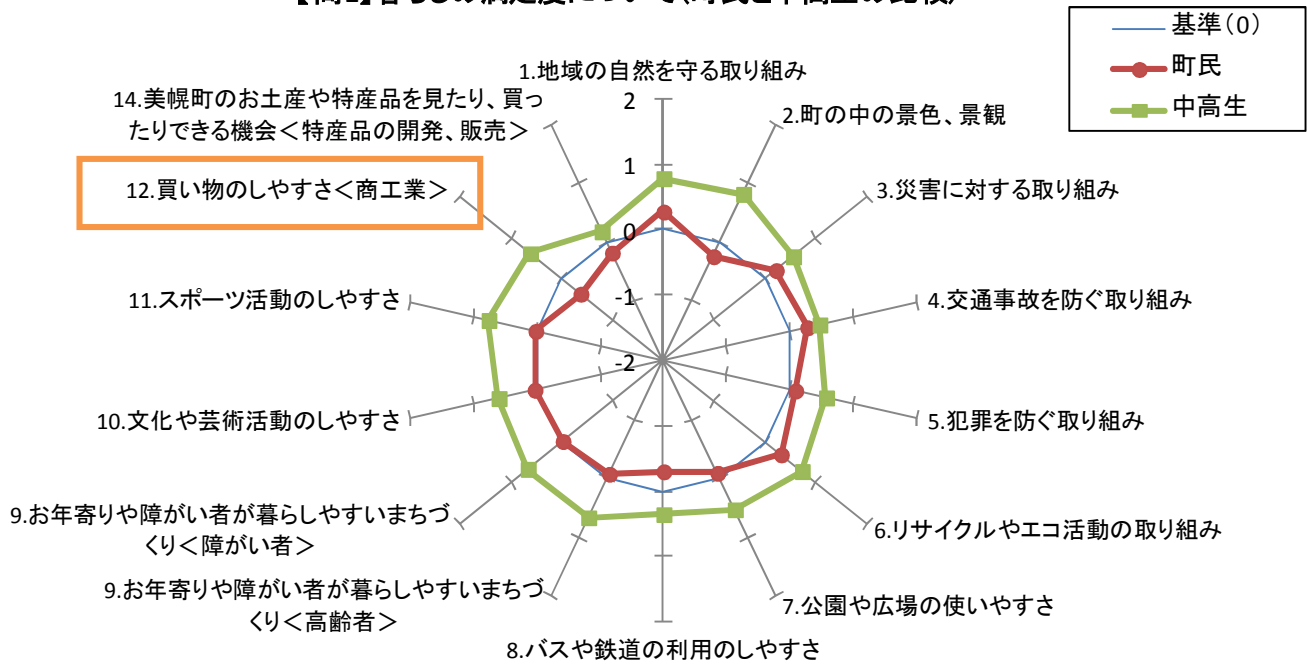
問2と同じ37項目の中から、
特に重要と思う項目を
5つ選んでもらった位置づけです。



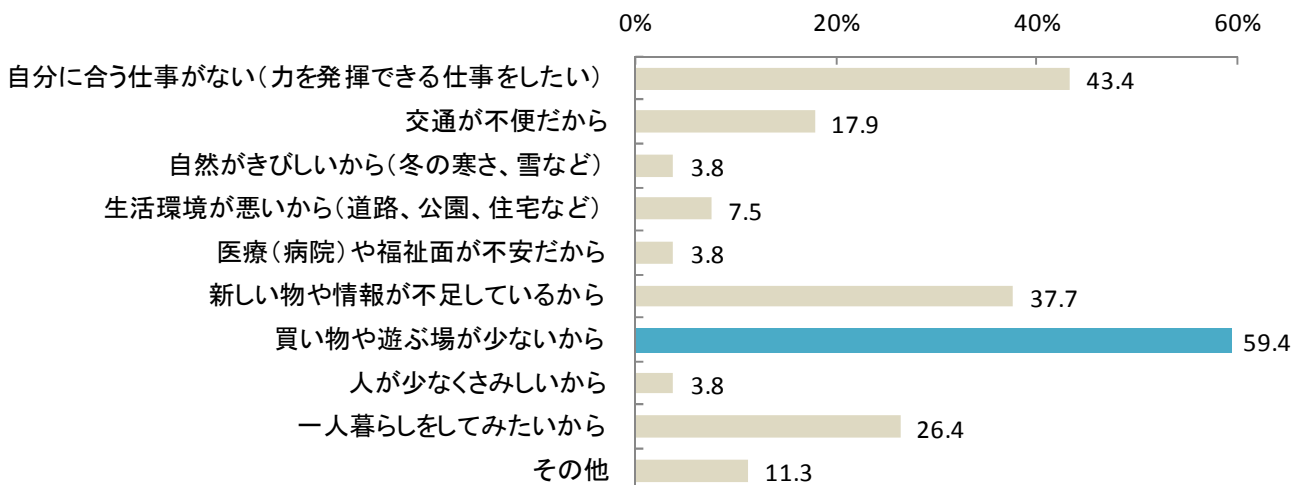
【問3】特に重要と思うもの(5つまで選択/町民813人)



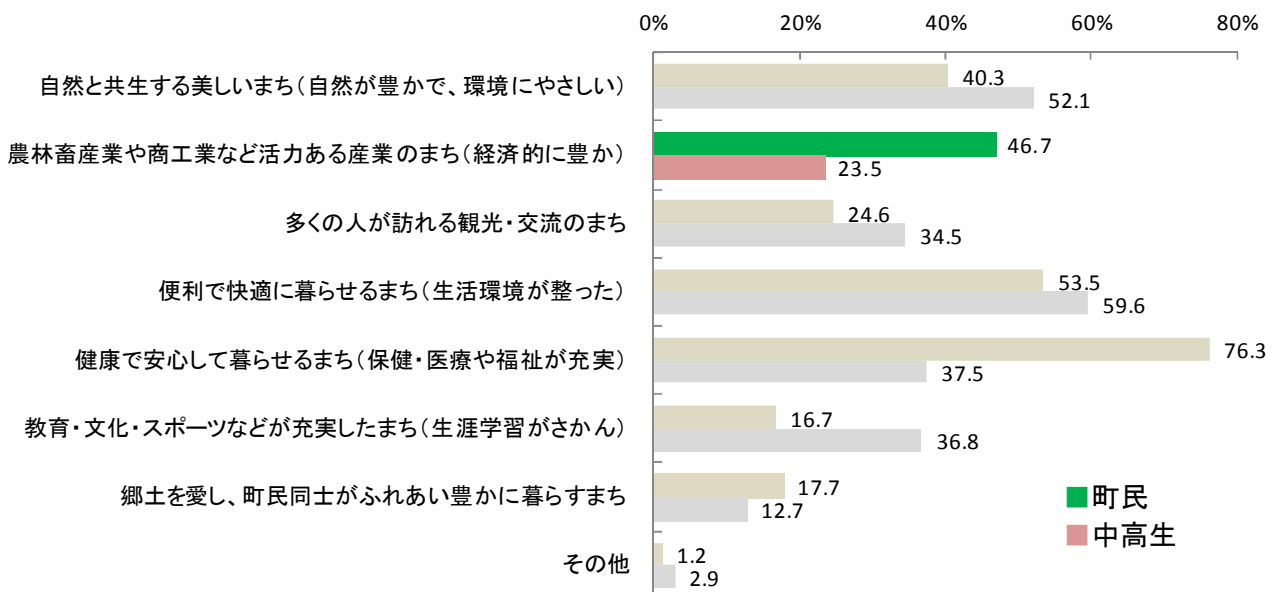
【問2】暮らしの満足度について(町民と中高生の比較)



中高生 【問3-①】町外に住みたい理由(あてはまるものすべて選択)



【問6】将来の美幌町に望む姿(3つまで選択/上段:町民、下段:中高生)



(2) 意見、提案

- ：町民 ○：職員 ☺：小学生 ♪：中高生 ☆：幼稚園・保育園利用者
★：まちづくりフォーラム ⌘：『びほろ』みらいまちづくり会議
☼：子育てサークル 📍：自衛隊美幌駐屯地
◆：子ども・子育て支援事業計画策定にかかるアンケート、農業者アンケート

<商業の振興、域内消費の向上>

- ★ 地産地消で豊かな町に。
- ★ 域内需要アップ
- ★ 道内、オホーツク圏内での域内消費の向上。ワイナリーなどの地域での酒造。

<店、商店>

- 📍 スーパーは近い（衣料や家電などになると北見に行く）ので住みやすい
- ☺ お店が増えているといい
- ♪ 店を増やしてほしい
- ♪ 店を増やして子供達が遊んだり話したり出来る場をつくったらいと思う
- ☺ 大型スーパーがあるといい
- ♪ イオンのようなショッピングモール、デパートがほしい
- ♪ イオンを作れば住みやすいすばらしい町になる
- 商店が1つにまとまってほしいです。（女性・50代）
- ショッピングモールを作ってほしい。フードショップ、コンビニを増やしてほしい。（女性・40代）
- 美幌町内の商店、小さい店の活性化。（男性・60代）

<飲食店>

- ☺ レストランが増えているといい
- ☺ ファーストフードが多くあるといい
- ♪ すき家、マックなどすぐ注文できて食べられるところがあると嬉しい
- ♪ マクドナルド、サーティワンを建ててほしい
- ♪ すき家、ファミリーマートを建ててほしい
- ♪ 小学生でも行ける食べ物屋がいっぱいほしい
- ♪ ミスタードーナツを復活してほしい
- ♪ 食べるところを増やしてほしい
- ♪ マック、すき家を作れば住みやすいすばらしい町になる
- ♪ パンケーキ店などが増えていて良いと思います
- ★ ファーストフード店が必要。若者の流出を防ぐ。町内の外食を増やす。

- 最近の美幌の飲み屋さんの元気が無く、楽しくないです。もっと活気があると若い人達中心に盛り上がるかと。そこで出会い、結婚まで発展すれば人口の増にもつながるのでは。
- 新規の居酒屋や飲み屋にも金銭面等の補助をする飲食店はファミリー層をメインとして行くと思うが、人口減少を食い止めるための重要な若者は、飲食店だけでなく居酒屋や飲み屋も求めている方が多数いると思われる。そのため、まずは、行く店の選択肢の数があればいいなと思ったため。→町内に留まる可能性(要因)が少しでも高くなれば良いと思う。

<娯楽施設、遊び場>

- ☺ 映画館があるといい
- ♪ 映画館をつくってほしい
- ☺ ゲームセンターがあるといい
- ♪ ゲーセンを作れば住みやすいすばらしい町になる
- ♪ ゲームセンター(ゲームコーナー)をつくってほしい
- ♪ 子どもだけで行けるカラオケにしてほしい
- ♪ カラオケ店が増えていて良いと思います
- ♪ 安全を配慮してのことだと思うがカラオケやゲームセンター等への子どもだけの入店を許可してほしい。中学生の時しかできないこともあるのでいろいろな場所で遊んだりしたい
- ♪ バッティングセンターがあれば遊びやすい
- ♪ ラウンドワンをつくってほしい
- ♪ レジャー施設などがあると良いと思います。
- ♪ 遊園地をつくってほしい
- ♪ 遊ぶ所を増やしてほしい
- ♪ 公園以外の場所にも子供達が遊べる場所を作ってほしいです
- ♪ 中学生達が遊べる場所が少なくて困る。もっとそういう場所を増やしてほしい
- ♪ 高校生が遊べるところを増やしてほしい
- ♪ 高校生がいて話できるところ
- ♪ 学校帰りに寄れるところがあれば北見の人が美幌に遊びに来てくれると思います。
- 買い物などは北見に行ってしまいます。東武の中にある様なゲームセンターなどあれば、家族や友達で楽しく遊べて良いと思います。(女性・60代)

<衣料店など>

- ☺ おしゃれなお店(洋服)があるといい
- ♪ しまむら以外に服屋があるといい
- ♪ 服などが売っているところを増やしてほしい
- ♪ 靴屋があると嬉しい
- 生後半年位までの子が着られる服、肌着などを売っている店があって欲しいです。(女性・30代)

<その他の店舗>

- ☺ 美幌町のものが買える店があるといい

- ♪ 楽器屋がほしい
- ♪ ゼビオをつくってほしい
- ♪ ハードオフをつくってほしい
- ♪ 大都市風にならなくていいので、店を増やしてほしい
- ♪ 北見にある店を美幌においてほしい
- ニトリやイエローハットなどの車用品店があって欲しいです。(女性・30代)

<空き店舗>

- ☺ 空き店舗が多い
- ⊕ 商店街のシャッターだらけの所が、少しでもシャッターが少なくなると見栄えもよくなっている
- ⌘ 空き店舗の利用。駐車場の確保。(新しい店舗ができて駐車場が狭い、あるいは店をやりたいけれども駐車場がなく、出店意欲が出ないということがある)
- ⌘ 専門高校。地産地消の料理学校。空き店舗を利用しての実施販売で人材育成。
- 空き店舗等の活用策の工夫検討。(男性・60代)
- 空き店舗を町でもっと考えてほしい。(女性・60代)

<その他>

- ♪ 自販機を多くしてほしい
- ♪ コンビニが多すぎる
- ♪ 車の販売所が多い。そんなに要らない
- ♪ 車屋が無駄に多い。車屋を建てるなら他の店を建ててほしい
- ♪ あちこちにパチンコ店がある気がする。そんなに必要なのかな
- ♪ パチンコばかり作らないでもっと人のためになる施設を作ったらいいと思う
- ♪ パチンコ屋さんの土地をもっと良いことに使ってほしい
- ⊗ おじいちゃんおばあちゃんが来た時に孫と一緒にいく「おもちゃ屋さん」がない。クリスマスも町外のおもちゃ屋さんに行くが、子どもと一緒に行かなければならないので買いにくい。
- 商業施設に子ども用の小さい便器があればいいのにとすることが多々ある。(女性・30代)
- 地元商店が日曜日を休業日にする体質が、コンビニに負ける要因。(男性・30代)
- バイパスができ、交通量も少なくなり、いろいろな商売も始めては数年で消えてしまう。私の経験上、美幌で新しい商業を期待するのは正直ムリです。(女性・30代)
- 小規模事業者への補助金や助成金が充実しているために、競争原理の欠如や経営者の努力不足が見受けられる。単なる延命措置であるだけでなく経済活性化の妨げにもなっている。金融機関の貸渋りを起こさぬよう貸付枠は維持しても、利子等補給は再考の余地がある。
- 大通など商店街の再構築。大通が土日にシャッターが閉じている商店が目立ちます。美幌町のメイン通りとして何か対策はないでしょうか。

6 中心市街地

(2) 意見、提案

- ：町民 ○：職員 ☺：小学生 ♪：中高生 ☆：幼稚園・保育園利用者
★：まちづくりフォーラム ⌘：『びほろ』みらいまちづくり会議
☼：子育てサークル 📍：自衛隊美幌駐屯地
◆：子ども・子育て支援事業計画策定にかかるアンケート、農業者アンケート

【将来なっしてほしい美幌町の姿】

- ☺ 商店街や駅がにぎやかになっている
- ☺ 外に時計があるといい（学校にしかないから）
- ☺ 明るくてトレンドな町

♪ 商店街の活性化をしてほしい

♪ 大きな建物を増やしたらいいと思う。市街地を広くした方がいいと思う

♪ これ以上建物を増やさないでほしい

♪ ベンチを増やしたりしたら嬉しいです

📍 機能が集約している。町がコンパクトに収まっているので住みやすい

📍 まちなかに公衆浴場があるといい。峠の湯は市街地から遠い。高齢者でも歩いて行けるような場所にあるといい。

- 過疎計画で、にぎわいの駅整備の調査と検討と対策が講じられていますが、にぎわいの駅について記述されていないと思うので、是非しっかりと記述して頂きたい。
- 商店街、特に大通りの活気の無さが以前から気になります。空いている建物や土地を有効利用出来ると良いですね。町民手作り作品のギャラリーを眺めながら休憩出来る場所や、空いている土地にあずま屋なり、屋根を作り、急な雨やどりが出来るとか。誰でも利用出来る憩いの場所があっても良いと思います。（女性・50代）
- 駅前の再開発について。まちなみづくりは、外観的には成功しているが、駐車スペースが商店ごとに厳密に分けられていて、他店の用事で駐車するととがめられるなど、オープンさ、「どうぞいろいろ見て回って行って下さい」的な精神が感じられない。電車、バス、自家用車、徒歩、それぞれにメリットのある振興策を考えてほしい。（男性・40代）
- 駅前通りを、もう少し活気のある通りに…。（女性・60代）
- 大通り商店街の空き店舗の利用。（女性・40代）
- 散歩しながら街中を見て、休んで、気軽に出入りできる場所がほしい。また、音楽やイベント紹介などを信号機の側から流す。（女性・50代）
- 商店街の活性化。（女性・40代）
- 駅前から神社までの国道沿いに、あまり人が歩いていないように感じます。シャッターの閉まった店も目につきます。淋しいです。
- どの町に行っても同じですが、その町の中心部が最近はわからなくなってきました。郊外に店などが流れていくのも、土地の関係上仕方ない事ですが、「ここが美幌町の中心だ

よ」とアピールできるものがあると良いといつも思っています。観光が好きなので色々な所へ行っていますが、まとまりのある町はとても心に残ります。(女性・40代)

- 駅をもう少しにぎやかにしてほしい。(男性・30代)
- 子供や孫が帰って来ても、遊びに行く所、ショッピングする所、何か見たり食べたりブラブラする場所がない。ほとんど北見に行ってしまう。もっと美幌町も、街に出て楽しい時間を持てる所があるといいなあ。(女性・60代)
- 他市町村から集客できる店等が少ないと思います。(男性・50代)
- 大通りはシャッター通りになり、寂しくなった様に思います。(女性・60代)
- 大通商店街の充実。(人が歩く町並み)(男性・60代)
- 中心部の活気がない。町民に、しっかり町内でお金を使ってもらえる様な取り組みが必要。北見や網走に行って買い物をする行動を、美幌で済ませられる様に考える必要あり。飲食店が少ない→昼食も、町内であれば「さんばち」「山岡家」などのラーメン屋が中心で、その他の飲食店は入りにくい。(男性・30代)
- 中央大通商店街の活性化。(女性・70代以上)
- 観光を売りにするには、町内には町並みの美しさや、これといった優れたものはないと思います。パチンコ屋さんや飲み屋さんが中心にもあり(パチンコ屋さん、飲み屋さん申し訳ないです！)、スーパーなどの大きな看板も、道外の人から見ると北海道の良いイメージからはかけ離れそうです。(女性・40代)
- 他の街に行くと、区画が整備された街作りがされている様に思います。(女性・60代)
- 大通りを、もっともっと明るくした方が良くと思う。さびれすぎだし、道路がボコボコすぎるし、公園が汚いし、遊具がなさすぎ。(男性・30代)
- 国道・道道沿いに施設を作る。(女性・50代)
- 昼も夜も明るい街づくり。レトロや近未来、他にない街並、観光。(男性・50代)
- 市街地の地名(表示)が有ると幸いと感じる。(男性・70代以上)
- 美幌町に住んで2年弱なので、わからない事が沢山です。転入時に商店街の説明地図があったりすると、他市の大型スーパーへ出かけなくても、町内で購入でき、助かる事もあると思います。(女性・40代)
- 飲食店のタウンフリーペーパーみたいな物を作ってみてはどうか?? 町外からの来客者が増えるかも?(女性・10~20代)
- 中心市街地でのポケットパーク整備。親水公園、屋外音楽会が開けるステージ、物産展等が開催できる広場、ドッグラン。併せて屋内遊具の設置された施設も整備されると良い。
- 中心市街の活性化。生活のしやすい町にし、人口増加を図る
- 中心市街地に大きな会社のビジネスホテルを誘致しても近くの市を利用する方が多いと思います。それは繁華街の賑わいの魅力の差が大きいからです。それであれば、駅前等にある古い建物をおしゃれにリフォームして(古民家まで行かないまでも)古いたたずまいで美幌の美味しいものが食べられる“ゆとり”空間のあるペンション風の民宿が複数ある方が町の特色が出せ、それが他の魅力を圧倒する可能性があるからです。それによって次に町にとって必要な施設や方向がでてくると思います。
- 空店舗が目立ち、商店街に潤いと活気が見受けられない。中心部とは選定しにくいですが、テナントミックスやショッピングモールの機能を有する一つのタウン計画を政策として掲げてはどうか。購入物が手に入らないから郊外に流れるし、企業が少なくて若者の就職先もなく、地元で止まれない。また、主婦等のパート先が無いから家計が苦しい等の諸問題の解決策に通じると考える。

7 地場産品

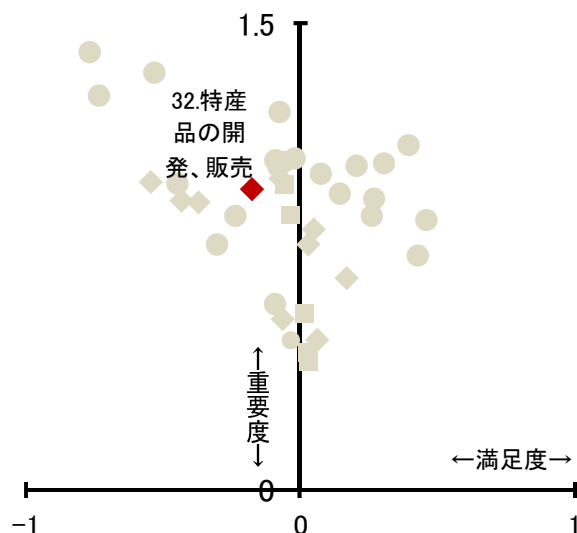
(1) 関連グラフなど

【問2】暮らしの満足度・重要度

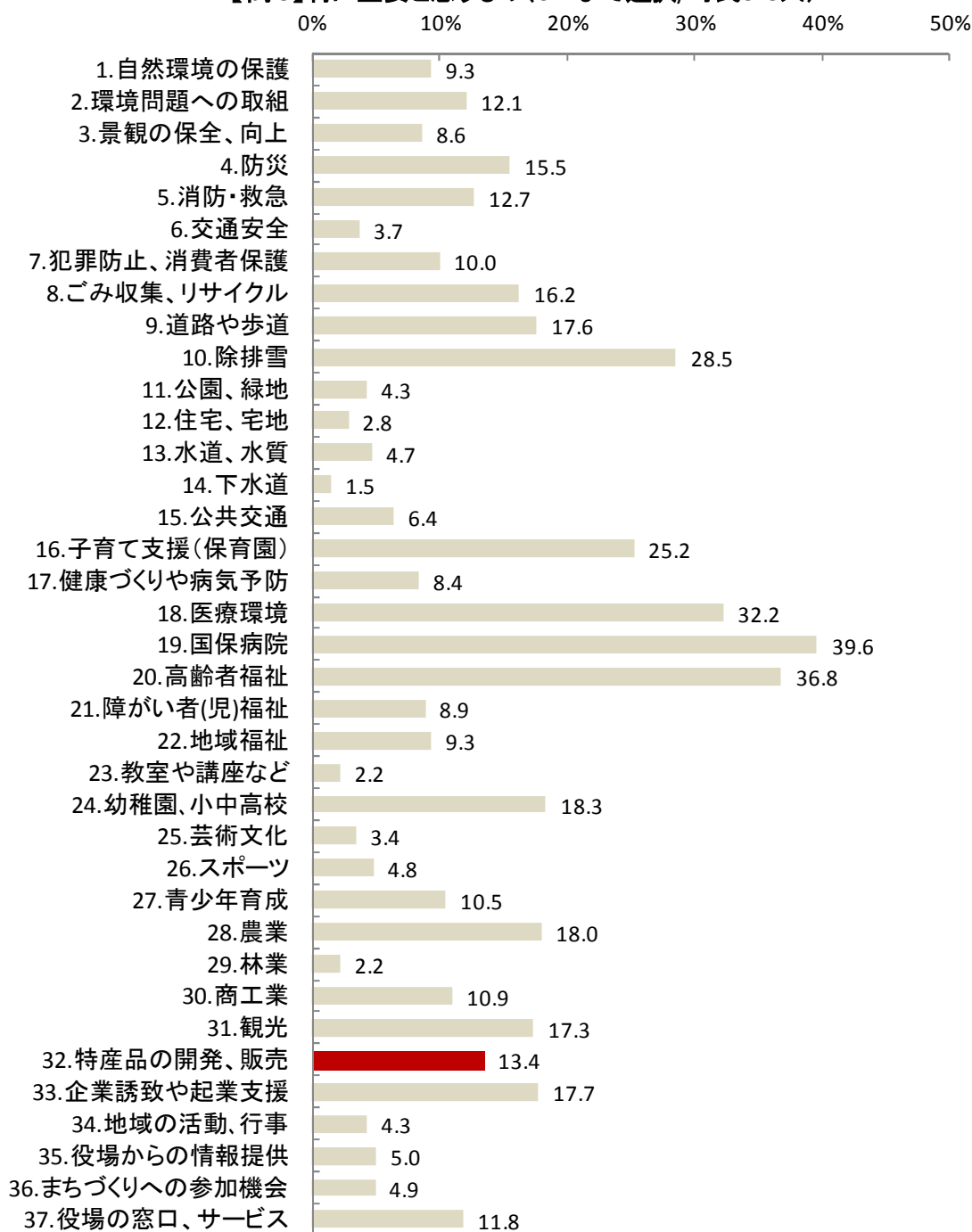
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問3】特に重要なもの

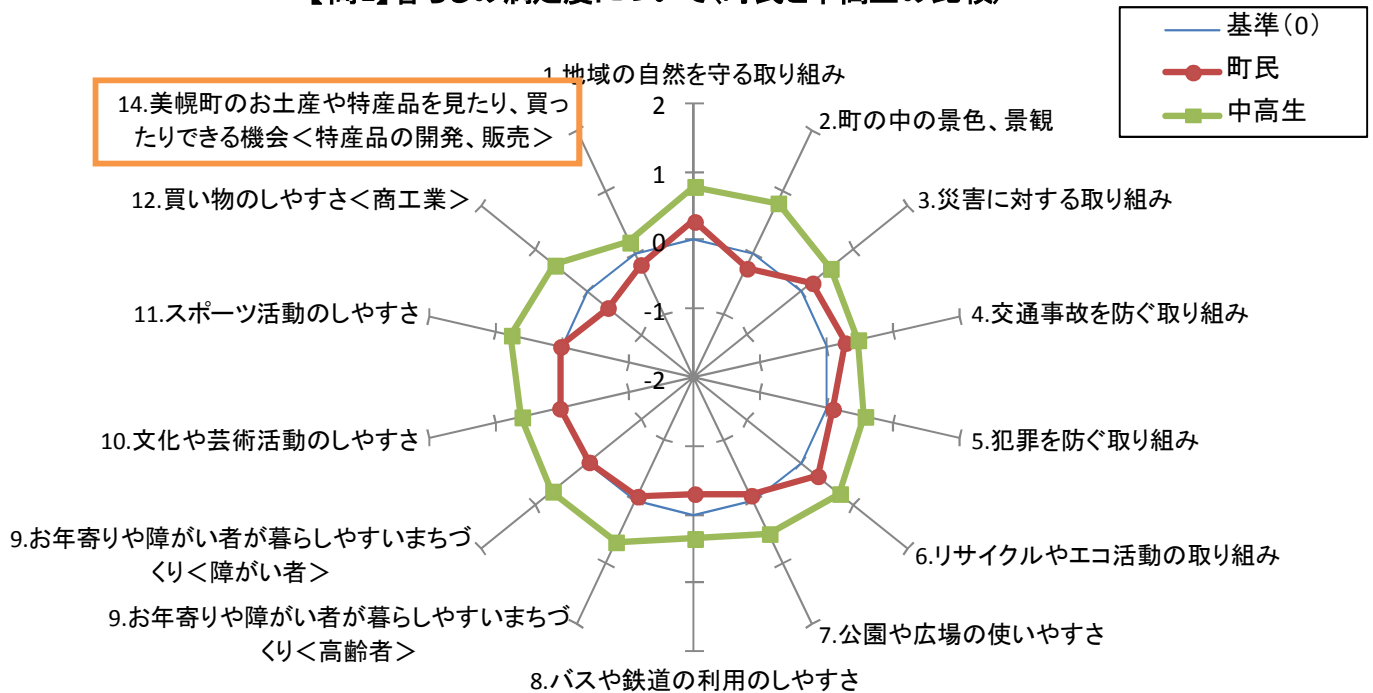
問2と同じ37項目の中から、
特に重要と思う項目を
5つ選んでもらった位置づけです。



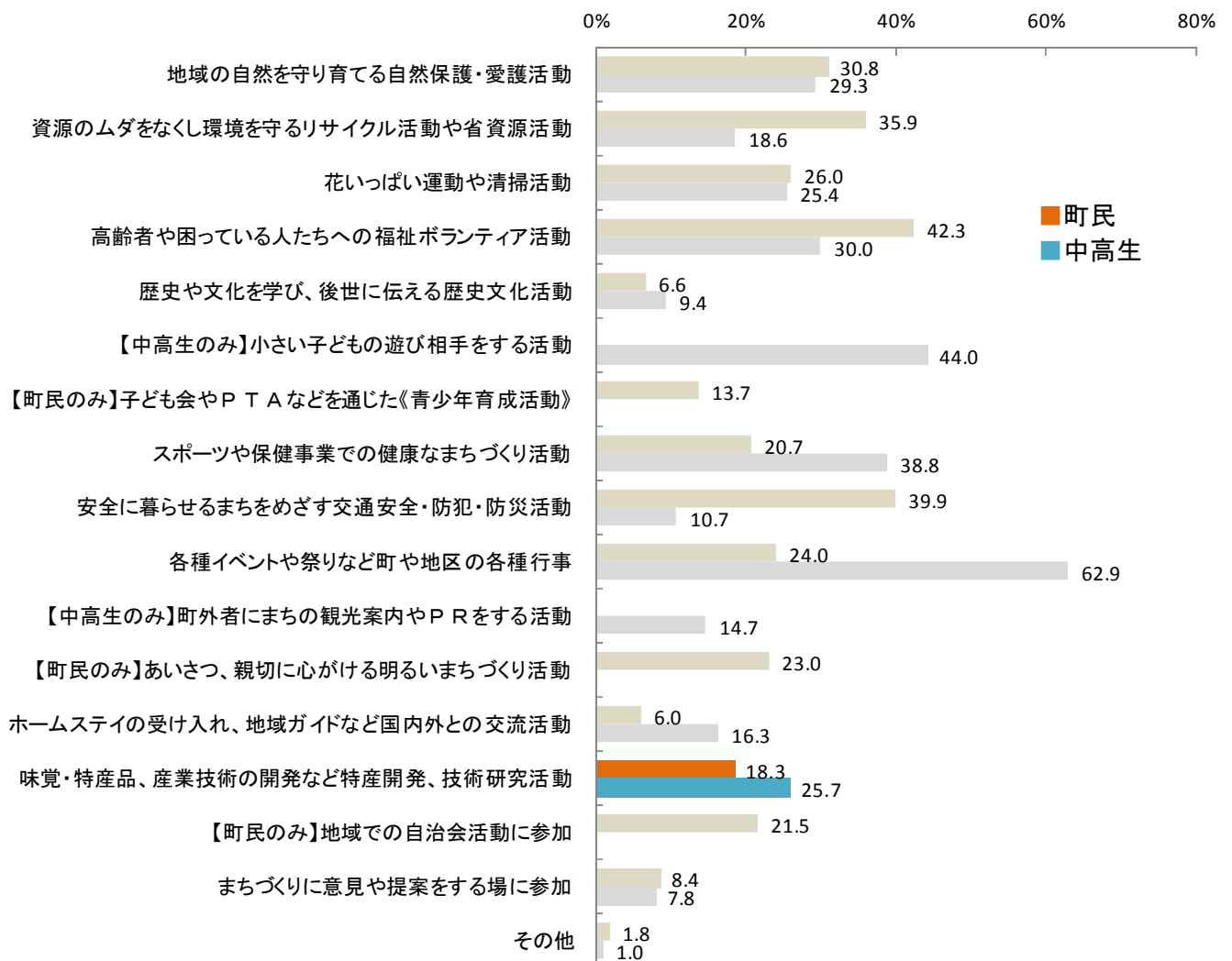
【問3】特に重要と思うもの(5つまで選択/町民813人)



【問2】暮らしの満足度について(町民と中高生の比較)

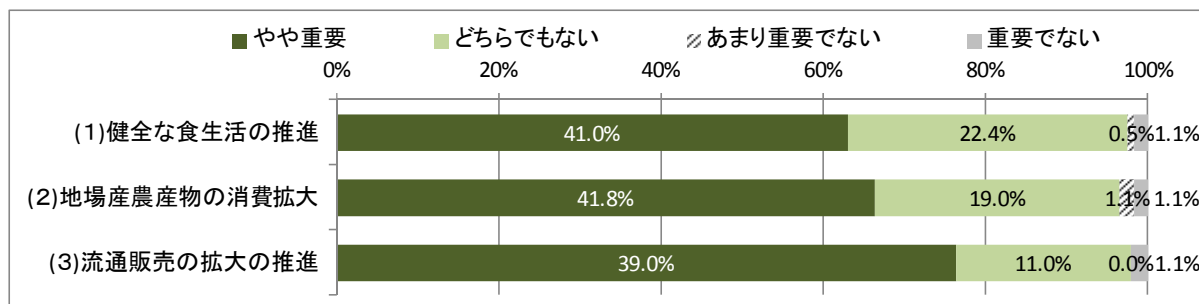


【問7】参加したい(できる)まちづくり活動(あてはまるものすべて選択(上段:町民、下段:中高生))

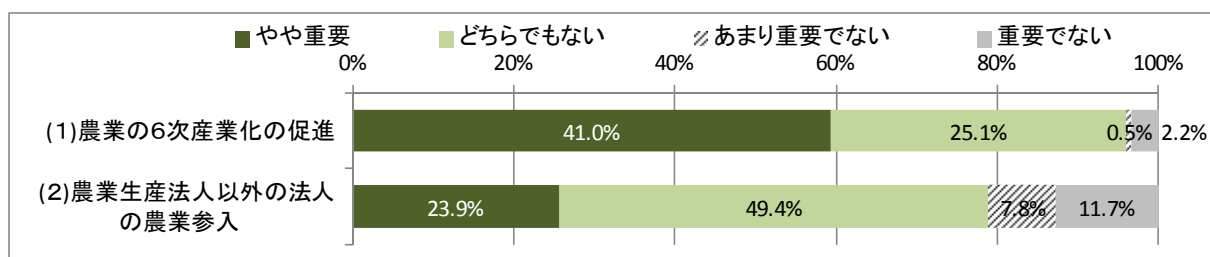


農業者へのアンケートより（H23.10）○これからの美幌町農業における取り組みの重要度

6 豊かな食生活への対応



7 農業を核とした新たな産業展開



（２）意見、提案

- ：町民 ○：職員 ☺：小学生 ♪：中高生 ☆：幼稚園・保育園利用者
 ☆：まちづくりフォーラム ※：『びほろ』みらいまちづくり会議
 ☺：子育てサークル ㊦：自衛隊美幌駐屯地
 ◆：子ども・子育て支援事業計画策定にかかるアンケート、農業者アンケート

【美幌町ですきなもの・こと】

- ☺ 食べ物がおいしい
 ☺ 美幌豚バーガー
 ☺ 肉がおいしい
 ☺ とうきび、じゃがいも、にんじん、ビートがすき
 ☺ レトルトカレー
 ☺ 野菜がいっぱいとれる（ビート、じゃがいも）
 ☺ 和牛
 ☺ まるまんましょうゆ

♪ 美幌町をもっとPRしてほしい。美幌町の名物料理をもっとつくってほしい

♪ 何か名産品を作るといいと思う

㊦ 美幌の高校生の活躍をもっとバックアップしてあげたらどうか。加賀屋さんではしょう油を使った料理を出したりしているが、町でももっとPRしたり、使うようにしては。道の駅で売っている弁当や、美幌の豚「美水豚」なども。

- ㊦ 美幌の特産の印象が薄い。ワインは町外の人から頼まれて買ったりするので知っているが。
- ㊦ 遠方の人には特産品としてアスパラやジャガイモを送る。
- 美幌は、肥沃な土地があるので、特産物を栽培して、利益を得て経済を豊かにし、本当に住みやすい町にして欲しい。(女性・70代以上)
- 特産品作りに、町ももっと関わってほしい。まるまんまは会議所、和牛カレーは農協、町は？と考えるとない気が…。(女性・10～20代)
- せっかくある特産品を、最近まで全く知りませんでした。町民が知らない特産品…アピール不足では？(女性・50代)
- 人を集めるための特産品やブランドの開発も必要になると思います。(男性・40代)
- 地域振興に取り組んでもらいたいと思います。私はそばを打ちますが、地元の立派なそば粉で、全国の有名店で美幌のそば粉が使用されています。是非、地元で提供出来る様に出来ないものでしょうか。以前はありました、そば祭を再開するとか？(60代)
- 特産品と言っても何があるのかわからない。美幌ブタとかブタしょう油とかあるけれど、高過ぎて一般では買う気になれない。(女性・50代)
- 美幌の特産品がわからないように思います。(女性・50代)
- 町ぐるみの、何十年も続く特産品を見い出す事です(女性・70代以上)
- 町の特産品の開発や町のPRをもっとするべきではないのでしょうか。今のままでは、人の集まらない、人の呼べない町になるのではないかと心配します。(男性・40代)
- 特産品を開発し、美幌町の知名度を上げる。(男性・50代)
- びほろ名産造りプロジェクト。びほろの有名・無名を10・20年後に名産にする。
- びほろ亜麻復刻計画。昔の特産品を利用して町の名産にする。工芸品(布)→食用油、オイル
- 北海道ブランドとしての美幌物産の取り組み
- 良いものがいろいろあるので、町と商工観光や農協などとうまく共同し宣伝PRしていく
- 美幌町では優れた農産物を生産しているものの、美幌と言えど問われた時に挙げられる農産物がないのでは。(例えば、北見と言えどタマネギ、夕張と言えどメロンのような)そこで、農産物に付加価値(より安全だとか、より美味しい、より栄養に富んでいるなど)が必要になってくると思います。また、このような農産物をいかに宣伝していくか。農産物の価値を上げることと、それ上手に宣伝していくことのバランスも重要と考えます。
- 新たな産業創設型「新商品」「新特産品」支援事業制度(一般公募型)の創設。新たな農産物、加工品、木工品等々の新商品開発から新たな生産体制(新商品開発に必要な資材、小規模設備や新たな製造工程、流通形態の導入)にいたる、新たな経済効果(集客力や特産品化)が期待できる取り組みに対し、数年間、数十万円規模で全額補助する一般公募型事業を新設すべき。(採択条件に「グループ化」や明確な「費用対効果の明記」「希少価値」、「美幌オリジナル性」等を盛り込み、条件を満たしたもののみを採択)新たな経済効果を生むチャレンジ精神をあおる
- 美幌マルシェ。美幌産の農畜産物の販売拠点として、PRを図る。美幌高校との連携
- ホワイト・紫・グリーンアスパラについて、町民向けのサービスがあれば役場と町民の距離が縮まる。道路植樹帯に自生しているアスパラも町民還元策として移植・集約し収穫時期に来庁された町民に配布するような身近な政策を。すずめやカラスの糞が種を運ぶ結果であり、博物館の展示や学校教育の理科の題材として身近な話題となるのでは。
- ホームページ等を利用した、美幌特産品版のアズユーライク的なカタログ販売、町長等が町外で美幌の売り込みに使用できる。町外で結婚式を挙げる町民が引き出物に使える等の

利用が見込まれる。

- 美幌町のPRする特産品をしっかり決め、ブランド化し、全国的にPRを図る。(たとえば、「豚しょうゆ」など) 現状では、和牛や豚など何を推しているか不透明。
- 地域で採れた食品を加工することで雇用を創出し町の施設で消費することで、町全体のフードマイレージを小さくし、エコタウンとなる。

8 観光、交流

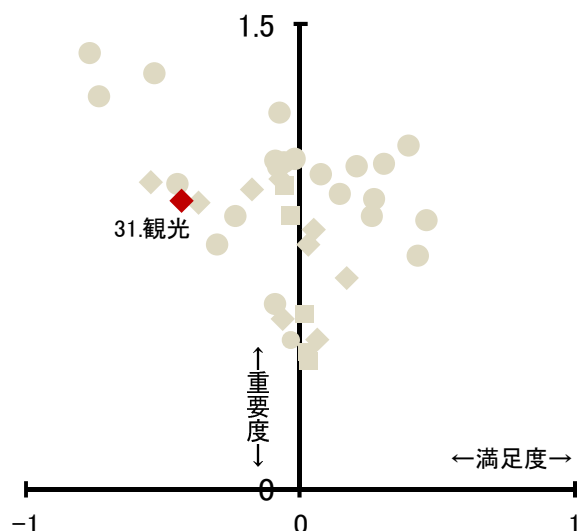
(1) 関連グラフなど

【問2】暮らしの満足度・重要度

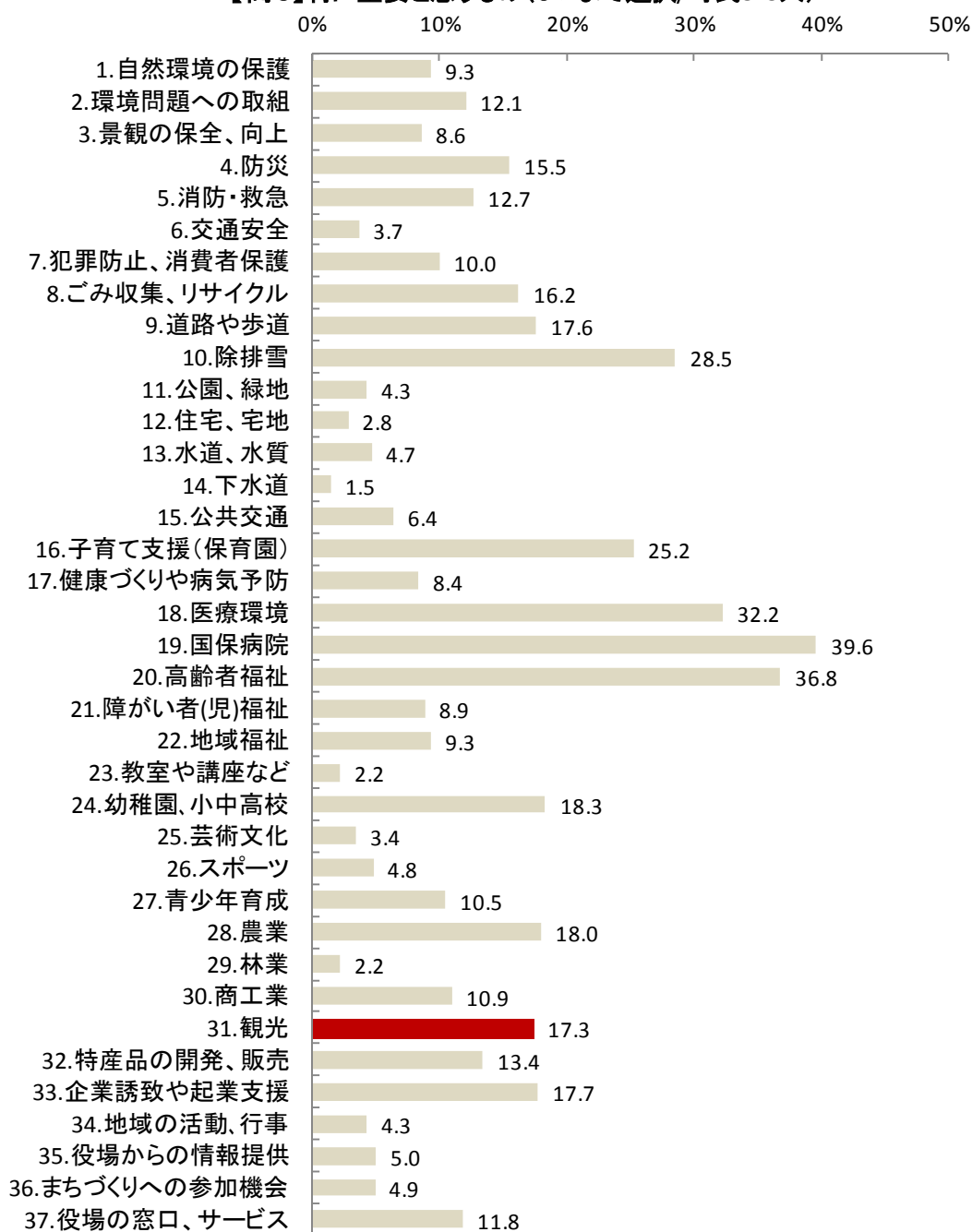
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問3】特に重要なもの

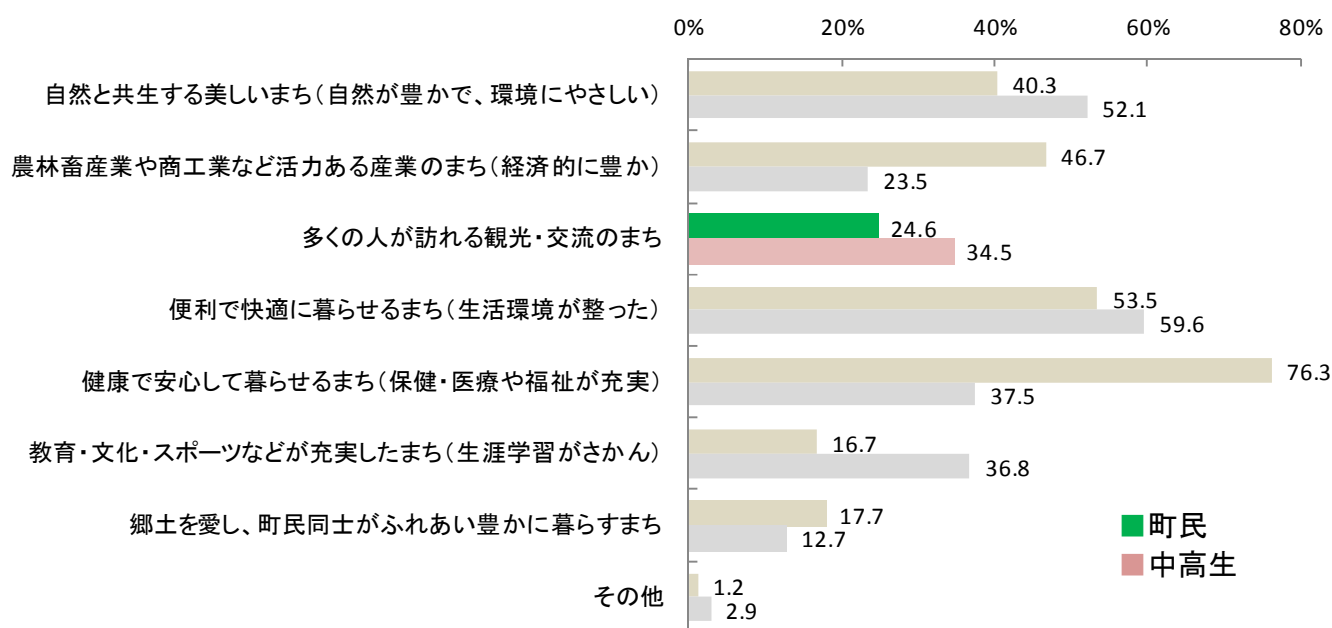
問2と同じ37項目の中から、
特に重要と思う項目を
5つ選んでもらった位置づけです。



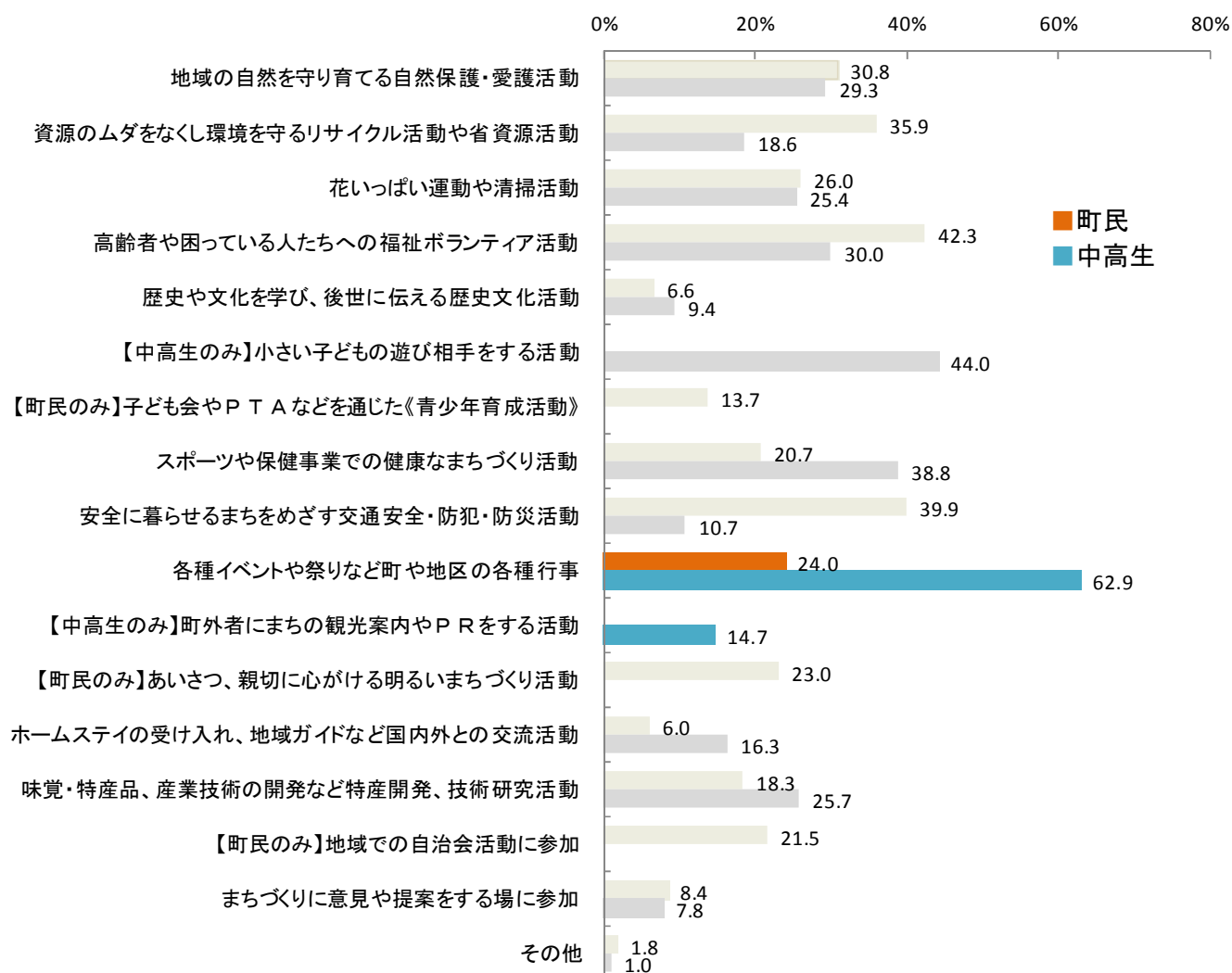
【問3】特に重要と思うもの(5つまで選択/町民813人)



【問6】将来の美幌町に望む姿(3つまで選択/上段:町民、下段:中高生)



【問7】参加したい(できる)まちづくり活動(あてはまるものすべて選択/上段:町民、下段:中高生)



(2) 意見、提案

- ：町民 ○：職員 ☺：小学生 ♪：中高生 ☆：幼稚園・保育園利用者
★：まちづくりフォーラム ⌘：『びほろ』みらいまちづくり会議
☼：子育てサークル ㊦：自衛隊美幌駐屯地
◆：子ども・子育て支援事業計画策定にかかるアンケート、農業者アンケート

【美幌町で好きなもの・こと】

- ☺ 美幌峠
- ☺ 美幌峠の道の駅
- ☺ 峠の湯
- ☺ 美幌峠のいももち
- ☺ 美幌峠からの景色
- ☺ リリー山からの景色
- ☺ 自衛隊の山から見た町の景色
- ☺ まつり（神社のまつり、ふるさとまつり）
- ☺ みどりの村（自然がいっぱい、遊び場がある）
- ☺ ふるさとまつり

【将来なってほしい美幌町の姿】

- ☺ ディズニーランドがある
- ☺ 動物園がある
- ☺ イベントが多い町（大人と子供が一緒に楽しめる）
- ☺ 自衛隊の冬祭りが今よりも大きくなっている
- ☺ おまつりがいっぱいある
- ☺ 外国人観光客が来る町
- ☺ 冬まつりがあるといい
- ☺ 夏祭りのほかに、春秋冬まつりがある

<観光の振興>

- ★ 観光に力を入れたらどうでしょうか。宿泊施設の充実、特産品の開発 PR。雇用の拡大、若者の町外流出の減少などにつながります。
- ♪ もっと観光できるところを増やして町外から来る人を増やすべき。マラソン大会の実施や空港からの近さを利用して最終便の人を美幌町の宿泊施設に泊まってもらえばいいと思う。空港から美幌へのバスがないからどんどん北見や網走に流れてしまう。何とか町外の客を美幌町に長い時間居てもらえるためにもっと PR すべき。JR 美幌駅をもっと新しくしてほしい。いつも特急から降りるのは5人くらい。留辺蘂は10人くらい降りるのに PR 不足。ファイターズのスポンサーになるとか。

- 観光客が立ち寄る工夫。(男性・60代)
- 他から観光に来る方に、何か贈り物をあげるとかクーポンを充実させるとか、特典をつけてはどうですか？(女性・40代)
- 観光客が来るまちづくり。(男性・70代以上)
- 観光客の誘致が必要。(男性・70代以上)
- 美幌は、観光ルートの通り街(通過地点)なので、これを何か観光的にできないか考えて欲しい。(女性・70代以上)
- 美幌に生まれ、町外に出て戻ってきた者です。昔に比べて町全体に活気がないのが残念です。観光や商店街等、人を呼び込む働きかけが少ない。イベントや文化事業を増やすといいと思う。町の魅力再発見として、リピーターしたくなるお店や観光地、イベント等を発掘し外へ伝えていくべき。(女性・40代)

<観光資源>

- 町全体がさびれているので、他の都市からも観光に来て、宿泊して、お金を町で使ってもらえるような行事、場所があればと思う。(女性・30代)
- 通過点になりがちなので名所をつくる。
- ♪ 遊べる川があったら楽しい
- ♪ 美幌川はとてもきれいなので、カヌーをしたらどうか。
- ♪ 観光スポットがもっとあれば、もっと人が集まるのでは。
- ☆ 観光ではグリーンツーリズム。
- 観光の目玉があれば。(男性・50代)
- 美幌名物が無く、名所も美幌峠だけ。観光で案内する所が無い。(60代)
- 観光に力を入れるならば、美幌峠に向う道路を整備して欲しい。峠の湯から峠に向う両側は、今の時期じゃがいもの花がきれいに咲き、広々とした畑の風景を旅人が写真に撮るので、部分的に白樺の木を切って欲しい。カントリーロードとしてももう少し見直しても良いのではないのでしょうか。(女性・70代以上)
- 見る、遊ぶ、泊まるという場所がなく、ただ美幌峠があるだけ。昔、有名になったというだけの場所になっている様な感じがする。札幌でタクシーに乗った時、「どこから来たんですか？」と聞かれ「美幌です」と答えると、「あ〜！」と言われ、「知ってます？」と聞くと「知っています。美幌峠のある所でしょ？別海へ行くのに通りました。」とだけの話でした。隣町に空港もあるのに行き先は網走・北見他と宿泊客も他へ行ってしまう。せっかく自然や環境・気候が良いのに、施設などが無いため損をしていると思います。他からの外貨が美幌町に落ちれば、豊になっていくのでは？美幌町好きですヨ！！(女性・40代)
- 東モコトは芝桜、上勇別はチューリップ、小清水はゆり…。美幌町は…？町外の人が、わざわざ美幌に足を止める何かがあるのでしょうか？10年以上前だと思いますが、みどりの村の桜、びっくりする程見事でした。ですが、今はどうでしょう。今年も見に行きましたが、とてもがっかりです。(女性・30代)
- 美幌は、おいしい食べ物がたくさんとれます。それなのに、観光への取り組みがなっていません。それを利用して、全国へ美幌町を知らせる事や観光客を呼び入れるなど、企画の立て方がなっていません。もっと考えてみたらいかがですか？そういう能力のある人に観光の手助けをしてもらうようにしてみたいかがですか？能力を持った人の意見を取り入れれば、美幌はあっという間に有名になるはずですよ。(女性・70代以上)
- 美幌町の観光施設について。花で観光客を呼べる施設を作るべきだと思います。大空町の

芝桜、湧別町のチューリップ、遠軽町のコスモス、紋別市のラベンダー、北見市温根湯のムラサキツツジ等がありますが、美幌町には何もありません。他の市町村の2番煎じではなく、他で植えていない花種にすることで、観光客を呼べる施設になる。(男性・60代)

- 地方の人が「美幌に〇〇があるから行こう」と心躍るものが未だに見つかりません。集客、宿泊もできる環境を。
- 施設や食べ物、その町独特の何かを見つけ出し、まずは美幌町の名前を知れ渡らせる。興味を持たせることを目的とする。
- 美幌町は他の町の人が「行ってみよう」と思う場所が無いので、正統派な名所だけでなく隠れた名所をPRして集客し活気ある町に変える
- オリンピックコーナーを峠の湯に設置し宣伝と物産促進につなげる(清里町のパパスランドの様に)
- 地元カフェの活用。外からの視点でいうと、美幌にはチェーン店ではない洒落た地元カフェが点在しているので、これらのカフェを「いなカフェ」みたいな感じで町のコミュニティとしてデザイン(コーディネート)してみると、ひとつの観光資源になるのではないかな。
- 根室市のエスカロップや帯広市の豚丼など代表的なご当地料理があるとPR活動も行いやすい。
- 観光レベルアップ事業。美幌町は観光資源に乏しいと思われるため、町民に対して「観光客に美幌町にきてもらうために」アンケートをとって参考にする。美幌観光和牛まつりに有名人を呼ぶ(今年の芋洗坂係長は人が結構きていました。)などもっと有名人がきてくれるようにする。まつりにレースなどを盛り込む。(昔は川下りをやっていました。)日本のマチュピチュ竹田城みたいに、人が押し寄せるくらいの観光スポットがないか探す。
- 道東観光の美幌町通過者がいかに町内でお金を落とさせるかを考える方が現実的。美幌和牛や美幌町生産の野菜を使ったメニュー及び土産物、スイーツを開発し、通過型観光者及び近隣市町村からの集客を目指す。
- 既存の基幹作物(芋、人参、アスパラ)による観光農園化。隣接する空港・観光名所の存在、国道が多数交差する交通の利便性など本町は立地条件的に観光農園事業が展開出来る条件下にある。JAによる観光農園事業(サクランボ、イチゴ、プラム狩り)は、現在、年間来客数で数千人、年間売上げで1~2千万円までに成長している。サクランボ狩りによる修学旅行生の受入時に横浜市の教頭より、「北海道の魅力が詰まった農業体験を取り入れたという強い要望があるにも関わらず受け皿がない」と聞いた。果樹観光農園化は本町では無理でも、既存の基幹作物(芋、人参、アスパラ)による観光農園化は図れる。それに絡めて修学旅行生のファームステイの受け入れ先となり、農村自体を売り物にすることも可能。フットパス(田園や牧草地帯を散策し景観を楽しむ)で農村地帯自体を売り物にする企画も本町でも実現可能。(峠牧場ウオーキングに参加したが、峠牧場もフットパスに最適)
- 市民農園を更に進化させ、クラインガルテン化。みらい農業センター開催する市民農園を更に進化させ、クラインガルテン化(滞在型市民農園)し、みどりの村とのコラボ等、様々な手法が考えられる。来客者=外貨獲得(町内での宿泊、飲食、購買による経済的波及効果)、農業への理解、関心が向上=地場特産品の需要増、知名度向上(芦別、増毛、仁木、深川など)などの効果がある。総合的に需要、実現性、手法等について検討に入るべき。
- 美幌峠牧場の観光牧場化。新たな観光地として、美幌峠との相乗効果を図る。
- 美幌峠を景観以外の観光名所にする。美幌峠からの眺めはきれいではあるが、他に勝る景観ではないので、みんなが大好きなお祭りのように露店をたくさん並べて、美幌の限定特産品や他にはない観光土産(定番のキーホルダーなど以外)を販売する。

<宿泊施設、宿泊促進>

㊦ 北見の駅前にはビジネスホテルが増えているが、美幌町内には宿泊施設が少ない。

★ 快適な宿泊先（ホテル）を整備、増やす。

★ 宿泊施設

★ 雄大な観光資源があるのに、外部から寄せる宿泊施設が充実されていない。スポーツ団体の誘致にも宿泊施設が少ないことが大きな要因となっていると思われる。人が集まると経済効果も生まれることから、その点も考えてほしい。

✂ 宿泊施設の誘致。

★ 町営のホテルを建設する。美幌町の魅力を多くの人に伝えられるし、雇用も生まれる。経済もまわるので。

★ 美幌は実際に住まないと魅力が伝わりません。宿泊施設の充実が重要です。

★ ホテルの誘致。そのための投資ファンドの作成。

★ 街中に宿泊施設が必要。改修も。

★ 観光戦略→宿泊施設の必要性、データ分析

★ 鶴雅と手を取り、高級宿泊施設をつくる。

● 宿泊施設がなく、峠の湯に宿泊施設（温泉付ホテル等）をつけて欲しい。→道外のお客様を、北見や女満別に宿泊させてしまっている現状です。（女性・30代）

● 峠の湯に宿泊施設（ホテル）があっても良いと思う。（男性・70代以上）

● 交通の要衝となっているのだから、他地域との交流拠点を整備し、人が滞在できるように宿泊施設を峠の湯などに併設する方法もあると思います。財産である美幌峠の景観を生かすためにも、交流、滞在の施設を整備して、人が立ち寄る、集まる場所として知ってもらえるようにしても良いと思います。（男性・40代）

● 町外から来た人がよく言います。「ホテルが町内にもう少しあってほしい。」（男性・60代）

● 観光の面で友達が美幌に立ち寄ってくれましたが、泊まる所が充実していないと言われました。ですから、誰でも立ち寄れる場所が欲しいです。地元の人でも気軽に利用できたらいいのですがー。（女性・50代）

● 観光客がたくさん来られる場所。一箇所に施設や遊び場所と泊まる所が並んでいる場所があると便利でいいなーと思います。（女性・50代）

● 大きなイベントに応えられる宿泊施設と、地元の多くの食材を利用できるホテル、飲食業への指導等、衰退する畜産業への取り組みによる地元飲食業の活力強化。（男性・60代）

○ 宿泊施設の充実。（まずは美幌を感じて貰うところから）

○ 北見、網走、阿寒で1泊しても美幌には泊まりません。エコハウスを有効活用し、宿泊型観光へ！時間と経済的に余裕ある網走農大生(本州から来ている)をターゲットに！そこから家族→知人と広がれば良いと思います。

○ 美幌を核として大雪、知床、釧路方面に日帰りできるため宿泊施設を美幌につくることで、美幌の便利さや良さを実感し、定住につながっていく。

○ “びほろ”に泊まると「いいことあるよ！」キャンペーン。美幌町周辺には有名観光地が存在し、観光客の宿泊数を増加させるのは難しいが、ビジネスマンの宿泊者数を増加させるのは実現可能。一方で大手旅行サイトへの登録がないこと、大手ビジネスホテルチェーン宿がないこと、夜の街の利便性から本町への宿泊を選択せず、網走市や北見市に宿泊する傾向が見られる。そこで、泊まると「いいことあるよ！」キャンペーンを実施し、飲食・旅館組合、町でタッグを組み、宿泊者には飲食店の割引クーポンが配布されたり、宿泊数の

スタンプカードを発行し、宿泊数に応じて特産品（ベタな芋、玉葱等）が当たる仕組みを作ったり、峠の湯入浴割引券が配布されたりすることで、各所、各々が来客者に対し美幌への宿泊を呼び掛けていくような仕組み作りが必要。

- 宿泊研修施設の設置。近隣ではネイパル北見（旧常呂少年自然の家）があるが世代に関わらず利用できる、食事を提供できる宿泊研修施設が欲しい。
- 峠の湯びほろに宿泊施設を設け宿泊者の取り込み、会議・宴会のできる施設
- 観光宿泊施設の充実。国道が 4 本も通っている町なのだから、観光にもっと力を入れるべきで、町が全てではなく民間企業が興味を持つようなアピールをするべき。
- 広い目で見れば美幌を中心に道東の観光地は点在しており、リーズナブルで質の高い宿泊施設街があれば可能性はあると思う。

<既存施設>

★ 峠の湯の充実。

☺ みどりの村のマッシュルームなどをきれしにしてほしい。

㊦ 博物館やみどりの村は郊外にあり遠い。内容もあまり PR されていない気がする。

㊦ みどりの村はみんなで宿泊して楽しめるので、とても良い。今年も利用する。

- みどりの村を中心に、あんずの木のエリスを作って、果実と花でたくさんの人々が訪れてくれればと夢を見ている。ハスカップなど…おいしいスイーツなどなど。（女性・60代）
- 観光施設の見直し。アクセスがもっと便利で、地元以外の人たちに多く活用してもらえるようにする。（女性・50代）
- 博物館をみどりの村と一体的に、こどもが遊ぶスペースとして再整備を図る。具体的には博物館を廃止（規模縮小）し屋内の子供の遊び場に変える。（網走や、中標津、紋別の道立公園や新さっぽろのファンタジーキッズリゾートのイメージ）企画展などのスペースは残し、展示は必要最小限にとどめる。
- 町外に通じる主要道路に商店街はあるが町外の人には寄りづらい所が多い。アンテナショップや特産物の直売所・ドライブ時に立ち寄れる魅力的な店舗やスペースなど設置し、PR に繋げていく。TV やインターネットなどで美幌町について PR をする。

<新たな施設>

✂ 美幌峠に次ぐ、観光施設の設置（アスレチックコース、プラネタリウム、ドッグランフィールド）。町民も観光客も寄れる「まちの駅」があると良いのでは。

- 道の駅は美幌峠にあるが、街中に置くことにより、町の活性化につながると考えます。美幌の特産物の商店温根湯のように世界一とまではなくとも、目玉となるもの（イメージ的には大きいオブジェ、ぎゅうたろのような）を設置すると、まち全体の活性化につながる。
- レジャー施設の建設。若者・家族連れが近隣市町村から集まってくる。夏期における屋内レジャープール施設等、特に、冬場の子供連れ家族が集まってくる屋内型レジャー施設。大規模なものでなければ、いけない。

<イベント>

☺ 大きなお祭りをふやしてほしい

☺ イベントの期間を長くしてほしい

♪ ジャニーズのコンサートをしてほしい

♪ 祭りやイベントを増やしてほしい

📅 昔あった「スターダストカーニバル」や「千人おどり」などのような、人が呼べるイベントが（再び）できないか。

☆ 新たなイベント

- 美幌町は各町内単位で祭りや行事を主催しているが、町を代表し、周辺市町村から客を呼べるイベントがない状況にある。よって、道外の出身者が多い自衛隊の特長を生かし、郷土の祭を大通りで披露するようなイベントを開催してはどうだろうか。置戸町の人間ばん馬や斜里町のねぶた祭のような行事が欲しいところである。（男性・60代）
- イベントを作る。道東一のウォーキングコースを作る。（男性・30代）
- 色々な所の道の駅に行くと、その町ではなく、他の町のイベントのポスターが貼っており、こんなことをやっているんだ、行ってみたいと思いますが、美幌町のポスター（和牛祭りとか）はまだ見たことがありません。PRしなくても人はたくさん来るとは思いますが、広く美幌町をPRして欲しいです。（女性・40代）
- 他市町村からも参加出来るイベントがあればよいと思う。（50代）
- 楽しくて他の町の人間が「美幌に行くべ！」って言うくらいの何かを考えませんか？正直、和牛まつりは昔と違って楽しくないですよ。牛の丸焼きとか、川下りとか、花火とか、どうしたんですか？ここ何年か行っていませんよ！まったく楽しくないからです。（40代）
- みんなが楽しめるイベント。（女性・30代）
- 夏まつりも今年は一日だけ。子供達に楽しいまちと印象づけるには、行事も長くやっていくことが大切ではないか。予算がないからと何でも縮小していったら楽しい町ではなくなり、昔は良かったとグチばかりで、つまらない町になる様な気がする。（女性・60代）
- 祭りが少ない。（男性・40代）
- 小さい子供から老人までみんな参加できる行事、場所が欲しい。町外から引っ越して来た人達が、美幌町民と交流できる場があればと思う。（女性・30代）
- 秋まつりのあと冬まつりまでの間に何かお祭りを増やしたら楽しいかも。（女性・40代）
- 町民全員でつくりあげるようなイベント。（男性・50代）
- 若い人にとったら本当につまらないし、結婚後も心配がある。もっとイベントとか増やして、町外からも人が集まるようにとか、予算が少ない中でも工夫できることがいっぱいある。（女性・10～20代）
- 年々祭典の規模がどんどん小さくなってきているので、人口が減少している中でも、お祭りや花火大会などの規模を大きくしたり、人の出入りを多くできるようなイベントを考え、美幌町の毎年恒例の行事などを作って美幌のPRに繋げる。札幌、旭川、函館など人が多く集まるところのイベントを参考にして、どのような魅力に多くの人達が関心を持って行くのかを考える。（例）期間を決めてグルメの祭典を作り、ビアガーデンを入れる。
- 美幌と言えば、〇〇と伝えても認識度は低く、あたりさわりのないような町という印象がある。そこで、印象を脱却すべく、和牛まつり・デュアスロンに並ぶ永く続くイベントを開基130周年に向けて取組み、開基イベントに合わせて第1回〇〇を開催する。（例えば、上記の100km歩こう大会とか）
- ナイナイのお見合い大作戦を美幌でやる。町のPRも出来るし、町外からの女性を呼び込める。人気テレビ番組であればあるほど良い。またフェイスブックにアップされた場所や食べ物はかなり広くまで拡散しますし影響力が強い。情報発信ツールとしては有効。（年齢層限られますが）
- 年齢に応じた出会いの場・イベントの企画。お祭りなどは近隣市町村の住民も楽しみにしているようなので、年齢に応じた新しい企画も行い、さらに美幌町をアピールしていく。

<広域での取り組み>

- 美幌や近隣の町の良さを知ってもらうために、旅行会社に協力をもらって格安でツアーを企画。他町村にも協力をもらってオホーツク全体のアピールができればうれしい。
- 近隣のイベント共催による集客と町のPR

<道の駅>

㊦ 美幌峠だけでなく、もっと近くに道の駅があれば。峠の湯に隣接していたら、観光客も利用するのではないかな。

⌘ (町の中心部に) 道の駅。美幌駅前倉庫群の活用で、働く場所の確保。

⊕ 道の駅を作ってはどうか。

- 景色を見に一年に何度か美幌峠に足を運んでいます。道の駅の二階が休憩所になっているのですが、団体客が食事している釜飯のような匂いがひどくて、場所も無くゆっくりできませんでした。これでは、家族連れなどの一般客が利用できないと思います。せっかく良い場所なのに、残念に思います。(女性・60代)
- 市街地に道の駅を。美幌峠は少し遠い。売店が大きくなった位ではダメ。(男性・50代)
- 町のまん中に道の駅を作ってほしいです。(女性・50代)
- ここ数年前より、地方の他県へ車旅を楽しんでいます。他県の行事、イベントは最高です。また、道の駅では、同年代の人と会う楽しみが広がり、見る物聞く物も、どんどん吸収して来ています。地元にもどると、何一つ自慢出来る物は無く、美幌峠にある道の駅の活用もお粗末です。なぜ山の上に？最近の道の駅は、町内の人達も集まる程の場所となっています。ぜひ美幌町内、特に峠の湯周辺の整理を復活し、温泉、キャンプサイト、キャンプ場など自慢できる場所を作して下さい。峠の湯に行った時はいつも思います。町作りに期待します。最下位の道の駅は、いません。(女性・60代)
- 美幌町に道の駅を作ったらどうでしょうか。美幌駅にあります観光物産(おみやげ品)などを道の駅に置けば、観光客の目玉になると思います。(女性・70代以上)

9 雇用、企業誘致、起業支援

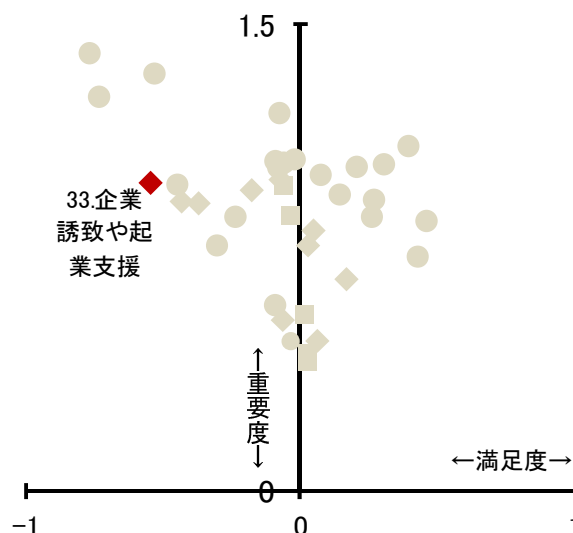
(1) 関連グラフなど

【問2】暮らしの満足度・重要度

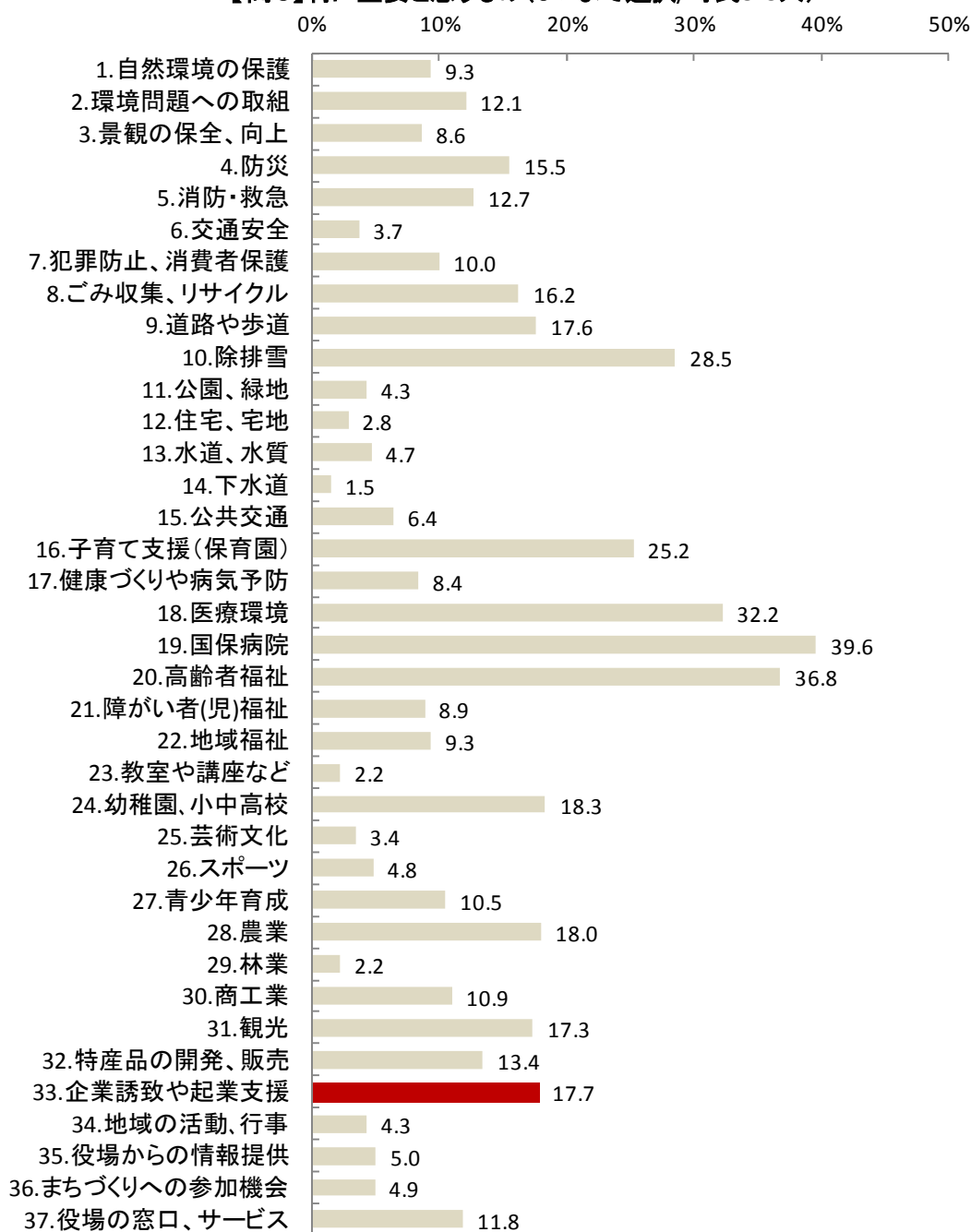
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問3】特に重要なもの

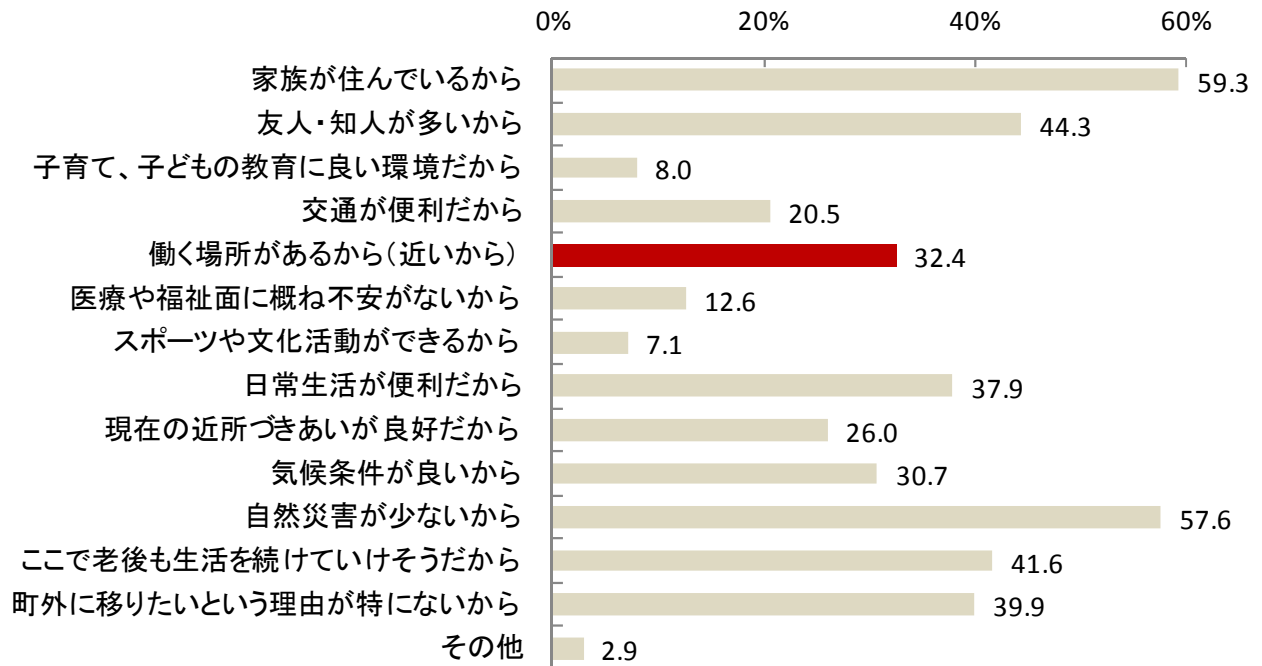
問2と同じ37項目の中から、
特に重要と思う項目を
5つ選んでもらった位置づけです。



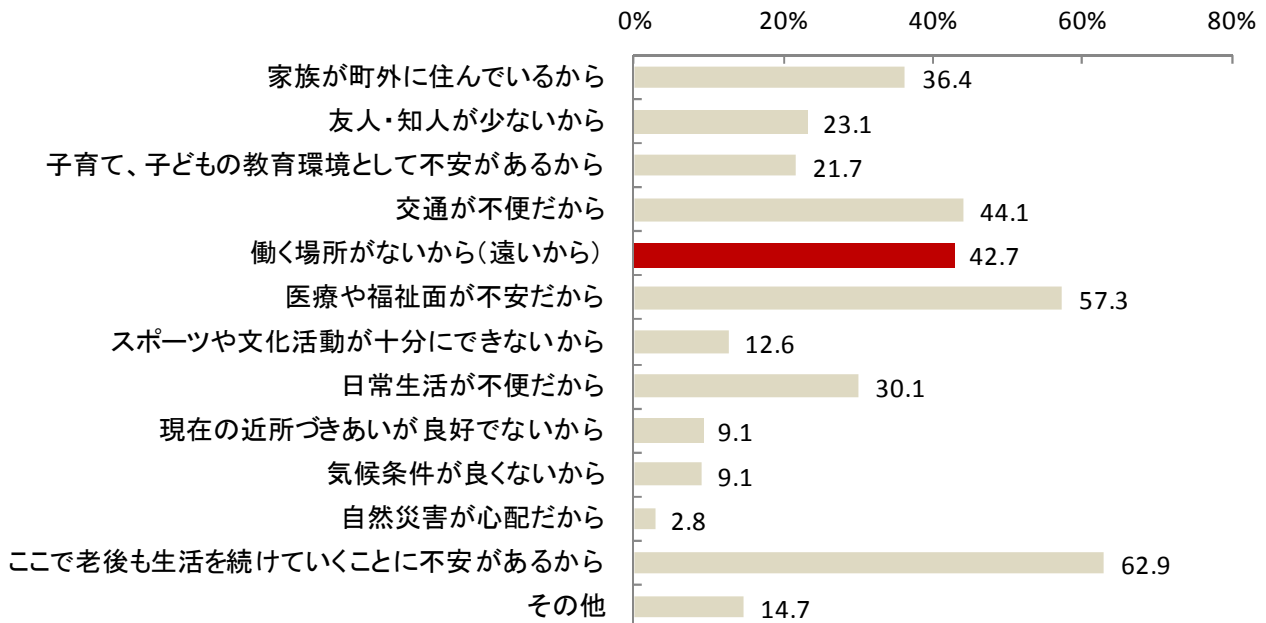
【問3】特に重要と思うもの(5つまで選択/町民813人)



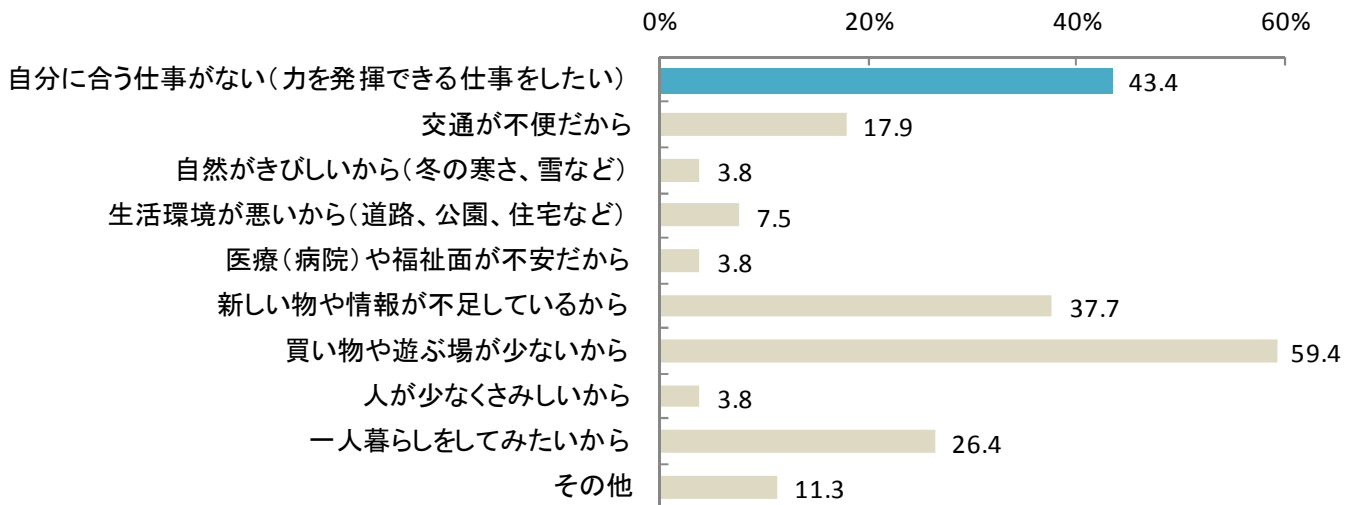
町民 【問4-①】町内に住み続けたい理由(すべて選択/589人)



町民 【問4-②】町外に移りたい理由(すべて選択/143人)



中高生 【問3-①】町外に住みたい理由(あてはまるものすべて選択)



(2) 意見、提案

- : 町民 ○ : 職員 ☺ : 小学生 ♪ : 中高生 ☆ : 幼稚園・保育園利用者
 ☆ : まちづくりフォーラム ⌘ : 『びほろ』みらいまちづくり会議
 ☺ : 子育てサークル 🏠 : 自衛隊美幌駐屯地
 ◆ : 子ども・子育て支援事業計画策定にかかるアンケート、農業者アンケート

<産業全般>

- ☺ サービス業の確立。
- ⌘ とにかく美幌の産業を元気にする。産業支援。
- ⌘ 地産地消を基本とした(企業)町づくり。農業、林業など。
- ⌘ 人口減→働き手が減→共働きを増やす。

<働く場、雇用>

- ⌘ 美幌地域での職場、仕事が少ない。報酬、所得も少ない。若い世代の雇用の確保対策が必要。若い世代が住みづらい。
- ⌘ 若い人が定着できる仕事・職場の充実。
- ⌘ 就職、転職に祝い金を出す。(美幌のご当地食材を毎月プレゼント)
- ⌘ 女性の働ける産業をつくる。若い女性が働く企業と起業を応援する。
- ⌘ 女性の働きやすい環境づくり。
- ⌘ 仕事と生活の両立。企業に対し休みがとれるように促す。(介護、孫の世話、ボランティア、子どもの用事)
- ⌘ 産休、育休をとりやすくする。企業への奨励金など。
- ⌘ 雇用促進のための企業、事務所への補助金。職員数増、女性の雇用のための施設整備。

⌘ 企業への人材育成の支援。

⌘ 子育て世代版の就労センター開設。(託児所を隣接し、農商工関連企業の求人に対応。パート対応含む。託児所は行政、企業および該当者の負担をもって運営する)

⌘ ハローワークに子どもを連れて行きづらい。「マザーズハローワーク・マザーズコーナー※」もあるので、そのような環境にならないか。

※マザーズハローワーク・マザーズコーナー：子育てをしながら就職を希望している方に対して、キッズコーナーの設置など子ども連れで来所しやすい環境を整備し、予約による担当者制の職業相談、地方公共団体等との連携による保育所等の情報提供、仕事と子育ての両立がしやすい求人情報の提供など、総合的かつ一貫した就職支援を行っている。(厚生労働省 HP より) 道内には 12 か所。

☆ 若年層の雇用の拡大、給与や待遇面のアップ

★ 雇用の確保、創出。

★ 若い人が働ける場所をつくる。

★ 若い人の仕事の間がない。

★ 進学などで町を出て行った若い町民が、卒業後町に戻ってきたいと思うような雇用の場所の確保をすることによって、人口減少がなくなり、定住意識が強くなると考える。

★ 若者が地元で働きやすい環境づくり

★ 人口減少については、若い人達の働ける会社など町外に出さないということで考えてもらえたら良いと思う。

★ 何より雇用の場の確保を！若者が定住できる町であることです。

★ 職人（大工など）、技術者の教育、支援。

★ 手間をいとわない、人手のかかる「仕事」を増やす。

★ 地元建設業支援（将来除雪事業者がいなくなる）。

★ 陸上自衛隊の大規模な誘致。

★ 巨大老人ホーム施設をつくって、地方から老人に来てもらい、雇用を増やす。

★ 道外企業を美幌にもって来て働く場所を設ける。

★ 働いていたら自慢できる会社（大手）の誘致。

★ しっかりした雇用がないと若い世代は定住できない。正社員を雇用する企業には何か優遇する。

★ 雇用の場が増えるような取り組みを考えては。(失敗覚悟でも大胆な政策を・・・企業進出に対してあらゆる面で優遇するなど)。

★ 雇用を支える地域産業の活性化が大事であると思われる。

★ 住み続けるための所得（生活を支える）＝雇用＝産業の充実。既存の企業の充実拡大→雇用増へ。

★ 他の市町村より優れている政策か、施設の充実度を高めれば、人口減少は食い止められるのでは。第 1 は仕事場の確保。

★ 地元の産業を利用する、または企業を誘致し、人口減少を食い止める。

● 北見市と網走市の谷間で、買い物をするにも隣町に引き寄せられる。美幌に本社がある企業を積極的に支援し、働く場所、生きがいを地元で満足できる様な、民間の活発な経済活動を後押しできる様な施策を講じるべきである。(男性・60 代)

● 送迎付きの働く場所を増やしてほしい。(女性・40 代)

● 働く場所がない。パートが多く正社員が少ないため、北見、網走に出て行く。(男性・50 代)

- 積極的に雇用の場を整えるために、町として特に情報面で支援を強めてほしい。(男性・60代)
- 若者の働く場所がほしい。(女性・60代)
- まずは、働く場所を多くつくる事が大切だと思う。働く所が増えれば、美幌町に住む人も多くなり、街もうるおうと思う。(男性・30代)
- 生活環境も重要ですが、それ以上に働く場所、働ける場所の確保が最も重要だと思います。(男性・50代)
- 若い人の職場がふえて、学校を卒業した子供達が地元で働ける様になったら…。企業誘致、特産品の開発。私は、おみやげは美幌のものを送るようにしています。(女性・60代)
- 中学生や高校生の様に、インターンシップの様な事が大人にもあれば嬉しい。ヘルパーなどの資格を持った主婦はたくさんいるが、子供が小さかったりと、すぐに仕事につけないまま年数が過ぎてしまい、違った仕事をしている人も多い。研修などがあれば良いと思う。美幌も老人が多いので。(女性・40代)
- 働く機会をもっと増やしていただけないだろうか。(男性・30代)
- もっと若い人達が働ける場を作ってもらいたい。美幌に居ても仕事が無いから、結局、高校を卒業したら皆地方に出て行かざるを得ないと思います。(女性・50代)
- 若年世代の永住を考慮した雇用環境の整備
- 一度美幌町から転出した後にそのまま町外に滞在する人が多い。帰りたくても帰れない人も多くいると思いますが、やはり戻るためには就職先が必要なので、雇用増加が必要
- 成人式での地元企業PRブースの設置
- 高収入を得ることができる産業を育てる
- 町内企業のPRや企業誘致など働く場所の確保に重点を置く。
- 町職員による美幌名物の発掘・発案により仕事を増やす
- 大規模国営事業への参加(誘致等)
- 美幌町に仕事場を提供してくれる企業(個人含む)等に条件(無償、建物・土地の無償提供)を提示してインターネットなどで全国公募する
- 生活に必要な賃金をかせげるまちづくり
- 労働者の給与の見直しと改善。将来的に生活費、教育費の捻出が出生率の低下に拍車をかけている
- 若者が就職先として選択するような魅力ある企業の誘致
- 町内・近隣市町村各事業所における職員採用の拡充により特に男性が就職し町内定住する
⇒将来家庭を持つ⇒子供を出産する⇒保育・預かり施設を充実させる⇒主婦も安心して働ける ⇒ 夫婦・家庭円満(びほろは居心地のいい街)⇒子供が成人し就職、町内定住し家庭を持つ
- 子育て世代の主婦が働ける雇用環境整備(現状の美幌の求人は、土日勤務の職場が多いが、主婦の希望は、平日午前中勤務で土日休み。賃金単価も最低賃金レベルの求人が多い。)

<企業誘致、起業支援>

- ✂ 大企業を美幌に呼び、若者の働く場所をつくる。
- ✂ IT化や国際化に向けた多言語情報の発信。その他地元の企業への発信支援。
- 若者の地元定着の促進。企業の誘致。(男性・50代)
- 空オフィスをネット上で簡単に検索できるデータベースを整備し、企業誘致の素地を作る。

- 若者には可能性がある。起業しやすいまち、起業する者に優しいまち、といった具合に、既存企業を誘致する方法以外にも新しく事業を始めて可能性のあるまちにならないか。美幌町の人が他の市町村に仕事を求めて出て行くよりも美幌町で仕事が見つかる環境が第一
- 大規模製造業の誘致
- 税の減免措置や土地の提供などにより大企業、テーマパークの誘致
- 東京から 2 時間（時間的には通勤圏内）のアクセスを生かし、オホーツクの大自然にローカルオフィスの設置を希望する企業、IT を活用して地方での起業を希望する移住者に対するきめ細かい柔軟なサポートを推進する。その前提となる素地造りに地域おこし協力隊を活用する
- 大小問わず、有名な企業（スターバックスとかドトールとか）の誘致と働く場所の確保
- お店を出す時にサポートする（補助金を出すなど）
- （町外から企業等と呼ぶために…）町外からの人を集める場所（昼と夜）を作る。美幌町の魅力リーフレット、魅力フォトギャラリーを作る。町外の人が町内で事業する場合、テナント料を無料にする。町民がオーナーになる店（オーナー多数制度）を作る。グランドホテルに月ごとにテナント（町外・道外から）を入れる。使わなくなった中学校などを施設やテナントとして使う。（土、日限定とか）（男性・30代）
- 若い人の企業（起業）を応援。（女性・30代）
- 若者の働ける企業誘致等。（60代）
- 5人でも10人でも働ける企業の誘致を図り、美幌町の人口増加に努力して下さい。（男性・70代以上）
- 活力あるまちづくりに欠かせないのは、企業の誘致が一番だと思います。（小清水町の閉校校舎の利用と企業の誘致）（女性・60代）
- 一般企業がもっと増えてほしいですが、公害の危険があるような誘致には反対です。（女性・40代）
- 企業誘致、起業しやすい環境を町で作らなければ金がまわらない。空き地、空きスペースを積極的に活性化させなければ、若者は第一次産業の跡継ぎ以外いなくなる。（男性・30代）
- 町への収入を増やすため、企業を持ってくる。（男性・30代）
- 道外の企業の積極的誘致等で、地場産業を活発にする。（女性・50代）
- 年間雇用の企業誘致を特に願う。（男性・70代以上）
- 若者が残ることができる企業誘致。オホーツクブランド、発電施設等。（男性・50代）
- 北海道銀行があったら良いなあ。（女性・30代）
- 若年層の雇用拡大を目的とし、特別工業地区工業地域に事業所等の新設(又は移設)する場合に、奨励金を支給するなど、優遇・奨励制度の確立。特別工業地区工業地域での、下水道などライフラインの充実(先行整備)が課題。
- 物流拠点施設の設置。交通の要衝としての地理的条件を活かす。
- 地理的要因(道東の中でも中心)や交通網(4本国道と飛行場や網走の港湾にも近い)の状況から、農業を例にしても、農家の生産や加工工場・肥料や農機など販売にしても物流の拠点条件にある。美幌を中心に1時間以内で、道東の主要地域を網羅できる近い場所。これを生かして大型倉庫、物流拠点を設け、他業種や中小起業の個々の物流を、一括の物として扱うことの仕組みを作り経費を抑える。土地を安く提供できることが課題。雇用も改善期待できる。電力供給面で美幌でも太陽光発電が増えてお倉庫の屋根に設置できれば、土地の有効活用にも。

- 有名な企業が町に1つ来るのは、結構目を引く気がする。雇用も生まれる。ただし、共存する姿勢の企業に限る。町を食うタイプの企業は美幌に馴染まない気がする。温泉宿を支えてもらうとか、小清水のほがじゃの工場のように、地元産品を有効活用してもらう企業とか。
- 民間の新たな事業活動を補佐するために、新規事業を興す際のノウハウ、活用できる制度・資源等を照会できるシステムを確立してはどうか。→行政主導ではない民間活力の有効活用
- 市民団体によるクラウドファンディングの活用に対する応援。不特定多数に人からインターネット経由で資金を集める行為。プロジェクトを実現したい市民や団体は、クラウドファンディング事業者のサイト上にプロジェクトの内容や目標金額、募集期間等を投稿し、ツイッターなどのソーシャルメディアを通じて全国の支援者に支持を呼びかけます。プロジェクトの内容に賛同した全国の支援者は、インターネットを通じて、クラウドファンディング事業者に支援金を振り込みます。支援金が目標金額に達した場合は、クラウドファンディング事業者からプロジェクトを実現したい市民団体に支援金が支払われ、プロジェクトが実行されます。このとき、支援者には振り込んだ支援金の額に応じた一定のものや体験、サービスがリターンされます。募集期間内に支援金が目標金額に至らなかった場合は、プロジェクトは不成立となり、プロジェクト実行者には支援金が支払われない制度です。
- 町内には大手チェーン店のファミレス、ファーストフード店がなく、外食をしたくても行く店が限られています。飲食店関係者及び飲食店開業予定者を対象としたメニュー開発や運営のセミナーを実施してはどうでしょうか？美幌独自の多種多様な飲食店が沢山出来れば、食を楽しめる町になり、町外からの集客も見込める。
- 専門学校等の誘致

<自衛隊>

⌘ 自衛隊の存続、拡大。

- 日甜と自衛隊は美幌の核だと思う。存続に尽くすと同時に、無くなった場合の影響を予測しておくことが必要。(男性・60代)
- 美幌町の人口維持を支えているのは駐屯地の存在が大です。人口増の施策を新たに設けることも必要ですが、国防、自衛隊の重要性は将来も変わらないと考えます。自衛隊駐屯地の存置活動の充実を第一に置きながら、「住みやすさ」を軸にした施策が必要と考えます。
- 美幌町は自衛隊の存続が大きく関係してくるので、削減反対を含み存続に力を注ぐ。
- 自衛隊の現状維持または拡充
- 自衛隊駐屯地の存続を強く求む。

・ 10 高校生ヒアリング

平成27年5月14日、北海道美幌高校の生徒会の皆さん（11名）を対象に
「学生が高校卒業後、美幌町に残る（若しくは帰ってくる）ためのアイデア」
と題したワークショップを開催。

①課題・問題 → ②解決するためのアイデア → ③スローガン
をとりまとめました。

